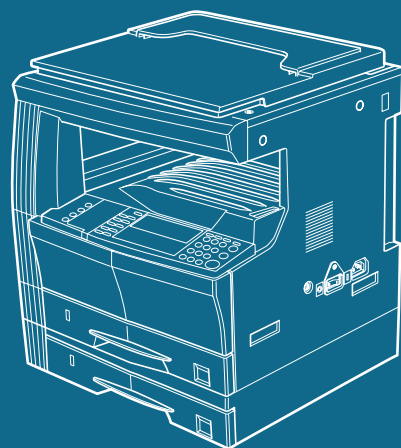


# 使用説明書

応用編

- ▶ **KM-1650**
- ▶ **KM-2050**
- ▶ **KM-2550**



表紙のイラストはKM-2050/KM-2550です。  
KM-1650では下段のカセットはオプションです。

この使用説明書では、KM-1650 を 16 枚機、KM-2050 を 20 枚機、KM-2550 を 25 枚機と記載しています。

---

## この使用説明書について

以下に使用説明書（本書）各章の内容をまとめていますので、本書をご利用になる際の参考にしてください。

### 1 コピー機能

コピーで利用できる詳細な機能について説明しています。

### 2 プリンタ設定

プリンタを使用するために必要な設定について説明しています。

### 3 システムメニュー

本機の全般に関わる設定について説明しています。

### 4 部門管理

部門管理の設定方法について説明しています。

### 付録

本機で利用できる用紙、仕様、機能と設定の組み合わせについての一覧表、本書で使われている用語を説明しています。

---

## 付属マニュアルの紹介

本製品には、以下のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

### 使用説明書 基本編

本製品の用紙の補給方法、接続方法、コピーや印刷の基本的な操作、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

### 使用説明書 応用編（本書）

本製品のコピー機能、プリンタ機能、各種の初期設定について説明しています。

### プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストール方法について説明しています。

### KX プリンタドライバ操作手順書

プリンタドライバのインストール方法とセットアップについて説明しています。

### プリスクライプコマンドリファレンスマニュアル

プリスクライプコマンドによって実現される各種機能や制御について、コマンドごとに説明しています。

本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

基本的な操作

低電力モード

1

メインスイッチがONのときでも【節電】キーを押すと、機械は休止状態（低電力モード）になります。操作パネル上の【節電表示】、電源表示、主電源表示が点灯し、他は消灯します。

2

コピーを再開するときは、もう一度【節電】キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は10秒以内です。

4

参考

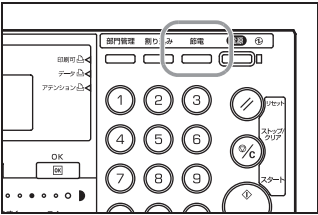
低電力モード中に印刷データやファクス受信データを感知すると自動的に復帰し、出力が開始されます。

本機は一定時間（1～240分）操作がないと自動的に低電力モードになる自動低電力機能を備えています。工場出荷時は1分に設定されています。

5

参考

自動低電力機能が働くまでの時間の変更は、【使用説明書 応用編】を参照してください。



コピー機能

給紙元の選択

給紙元のカセットまたは手差しを変更して、用紙サイズを選択します。

1


原稿をセットしてください。

3

メッセージ表示に【自動】が表示されている場合は、原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。

参考

- 自動的に用紙サイズを選択させないこともできます。（詳細は3-5ページの用紙選択を参照してください。）
- カセットに用紙サイズを設定しておくことができます。（詳細は3-14ページの用紙サイズ（カセット1～4）設定を参照してください。）
- カセットに用紙種類を設定しておくことができます。（詳細は3-14ページの用紙種類（カセット1～4）設定を参照してください。）



1

操作パネル上のキーは「」で示します。

2

操作パネル上の表示は太字で示します。

3

メッセージ表示中のメッセージは「」で示します。

4

参考とご注意は操作に関する重要な情報を記述しています。

5

他のページや説明書の参照先は太字で示します。

iii

---

---

## 目次

1	コピー機能 .....	1-1
	給紙元の選択 .....	1-2
	原稿サイズ選択 .....	1-3
	画質の選択 .....	1-5
	濃度調整 .....	1-6
	コピー枚数の設定 .....	1-7
	縮小 / 拡大コピー .....	1-8
	自動倍率選択モード .....	1-8
	ズームコピーモード .....	1-9
	固定変倍モード .....	1-9
	原稿セット向きの設定 .....	1-10
	割り込みモード .....	1-11
	両面コピー .....	1-13
	分割コピー .....	1-16
	ソートコピー .....	1-18
	仕分けコピー .....	1-19
	ステープルコピー .....	1-20
	集約コピー .....	1-21
	集約コピーモード .....	1-21
	境界線の種類 .....	1-25
	集約コピーの設定 .....	1-25
	とじしろコピー .....	1-27
	枠消しコピー .....	1-28
	連続読み込みコピー .....	1-29
	自動回転コピー .....	1-30
	エコプリント .....	1-31
	原稿サイズ混載コピー .....	1-32
	プログラムコピー .....	1-33
2	プリンタ設定 .....	2-1
	本機をネットワークプリンタとして使用するには .....	2-2
	メニュー階層図 .....	2-3
	ステータスページの印刷 .....	2-7
	e-MPS 機能の設定 .....	2-8
	クイックコピー / 試し刷り後、保留の印刷 .....	2-9
	クイックコピー / 試し刷り後、保留の削除 .....	2-9
	プライベートプリント / ジョブ保留の印刷 .....	2-10
	プライベートプリント / ジョブ保留の削除 .....	2-11
	バーチャルメールボックス蓄積データの印刷 .....	2-11
	バーチャルメールボックスリストの印刷 .....	2-12
	コードジョブリストの印刷 .....	2-12
	e-MPS 詳細設定 .....	2-13
	インタフェースの設定 .....	2-16
	パラレルインタフェースの設定 .....	2-16
	ネットワークの設定 .....	2-17

---

エミュレーションの設定 .....	2-22
エミュレーションモードの選択 .....	2-22
フォントの設定 .....	2-25
ANK フォントの設定 .....	2-26
ANK フォントのサイズ設定 .....	2-27
Courier/Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定 .....	2-27
Courier/Letter Gothic フォントの設定 .....	2-28
漢字フォントの設定 .....	2-29
漢字フォントのサイズ設定 .....	2-30
漢字フォントの文字ピッチの設定 .....	2-30
コードセットの選択 .....	2-31
フォントリストの印刷 .....	2-31
印刷環境の設定 .....	2-33
コピー枚数の設定 .....	2-34
縮小印刷の設定 .....	2-34
印刷の向きの設定 .....	2-35
ページ保護モードの設定 .....	2-35
LF（改行）動作の設定 .....	2-36
CR（復帰）動作の設定 .....	2-36
ワイド A4 の設定 .....	2-37
印刷品質の設定 .....	2-38
KIR モードの設定 .....	2-38
エコプリントの設定 .....	2-39
解像度の設定 .....	2-39
印刷濃度の設定 .....	2-40
メモ리카ードの操作 .....	2-41
フォントの読み込み .....	2-41
マクロデータの読み込み .....	2-42
データの読み込み .....	2-42
プログラムの読み込み .....	2-42
データの書き込み .....	2-43
データの削除 .....	2-43
フォントデータの削除 .....	2-44
プログラムデータの削除 .....	2-44
マクロデータの削除 .....	2-44
言語の削除 .....	2-45
メモ리카ードのフォーマット .....	2-45
パーティションリストの印刷 .....	2-46
ハードディスクの操作 .....	2-47
RAM ディスクの設定 .....	2-48
RAM ディスク機能 .....	2-48
RAM ディスクの操作 .....	2-49
RAM ディスクサイズの設定 .....	2-49



	用紙の設定 .....	2-51
	手差しモードの設定 .....	2-51
	給紙元の設定 .....	2-52
	両面印刷モードの設定 .....	2-52
	排紙先の設定 .....	2-53
	A4/Letter 共通使用の設定 .....	2-54
	その他の設定 .....	2-55
	改ページ待ち時間の設定 .....	2-55
	受信データダンプ設定 .....	2-56
	プリンタ機能のリセット .....	2-57
	リソース保護モードの設定 .....	2-57
	自動継続印刷の設定 .....	2-58
	両面印刷時のエラー検知設定 .....	2-59
	ステープル時のエラー検知設定 .....	2-60
	印刷範囲の補正 .....	2-60
	サービスステータスページの印刷 .....	2-61
3	システムメニュー .....	3-1
	初期設定モード .....	3-2
	コピー初期設定 .....	3-2
	マシン初期設定 .....	3-13
	手差し設定 .....	3-28
	用紙サイズの設定 .....	3-28
	用紙種類の設定 .....	3-30
	トータルカウンタの参照と印刷 .....	3-31
	レポート出力 .....	3-33
	言語設定 .....	3-35
	ユーザ調整 .....	3-36
	ドラムリフレッシュ .....	3-36
4	部門管理 .....	4-1
	部門管理モードについて .....	4-2
	部門編集 .....	4-4
	新規部門登録 .....	4-4
	使用制限の設定 .....	4-5
	部門削除 .....	4-8
	使用制限の変更 .....	4-9
	全部門集計 .....	4-11
	部門別集計 .....	4-13
	部門管理の設定 .....	4-14
	部門管理初期設定 .....	4-15
	コピー部門管理設定 .....	4-15
	プリンタ部門管理設定 .....	4-16
	スキャナ部門管理設定 .....	4-16
	ファクス部門管理設定 .....	4-17
	制限超過時設定 .....	4-18
	部門管理時の操作 .....	4-19

---

付録 .....	付録 -1
用紙について .....	付録 -2
用紙の基本仕様 .....	付録 -2
適正な用紙の選択 .....	付録 -3
特殊な用紙 .....	付録 -6
仕様 .....	付録 -11
機械本体 .....	付録 -11
コピー機能 .....	付録 -12
プリンタ機能 .....	付録 -13
原稿送り装置（オプション） .....	付録 -13
ペーパーフィーダ（オプション） .....	付録 -13
両面ユニット（オプション） .....	付録 -14
フィニッシャ（オプション） .....	付録 -14
ジョブセパレータ（オプション） .....	付録 -14
環境仕様 .....	付録 -14
コピー機能組み合わせ表 .....	付録 -15
用語集 .....	付録 -18
索引 .....	索引 -1

# 1 コピー機能

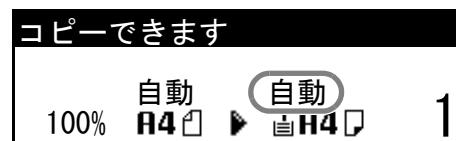
この章では次の内容を説明しています。

- 給紙元の選択
- 原稿サイズ選択
- 画質の選択
- 濃度調整
- コピー枚数の設定
- 縮小 / 拡大コピー
- 原稿セット向きの設定
- 割り込みモード
- 両面コピー
- 分割コピー
- ソートコピー
- 仕分けコピー
- ステープルコピー
- 集約コピー
- とじしろコピー
- 枠消しコピー
- 連続読み込みコピー
- 自動回転コピー
- エコプリント
- 原稿サイズ混載コピー
- プログラムコピー

## 給紙元の選択

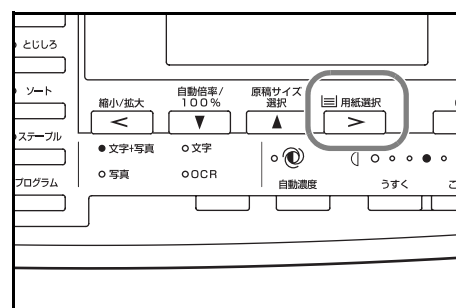
給紙元のカセットまたは手差しを変更して、用紙サイズを選択します。

- 1 原稿をセットしてください。  
メッセージ表示に「自動」が表示されている場合は、原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。



- 参考
- ・ 自動的に用紙サイズを選択させないこともできます。(詳細は 3-5 ページの[用紙選択](#)を参照してください。)
  - ・ カセットに用紙サイズを設定しておくことができます。(詳細は 3-14 ページの[用紙サイズ \(カセット 1～4\) 設定](#)を参照してください。)
  - ・ カセットに用紙種類を設定しておくことができます。(詳細は 3-15 ページの[用紙種類 \(カセット 1～4\) 設定](#)を参照してください。)

- 2 用紙サイズを変更する場合は、[用紙選択] キーを押して、給紙元を選択してください。



- 参考
- ・ 手差しを使用するときは、3-28 ページの[手差し設定](#)を参照して、用紙サイズと用紙種類を設定してください。
  - ・ 手差しを選択したときに、「手差しサイズ設定」画面が表示されるように設定することもできます。(3-16 ページの[手差し確認表示の設定](#)参照)
- 3 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

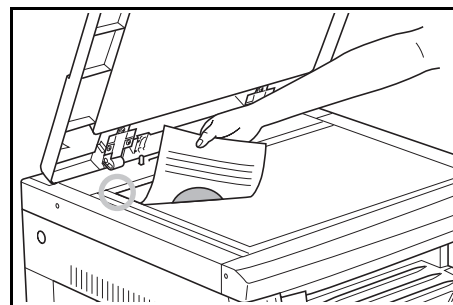
## 原稿サイズ選択

手動で原稿サイズを指定するときに、選択した原稿サイズ分のみ読み込み、コピーすることができます。

また、原稿サイズを入力すると、不定形サイズの原稿を使用することもできます。

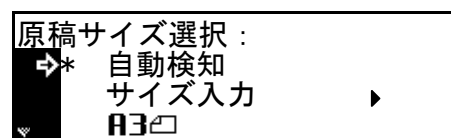
### 定形サイズから選択する場合

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [原稿サイズ選択] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、原稿のサイズを選択してください。

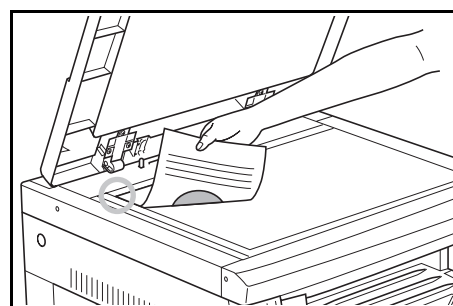


- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

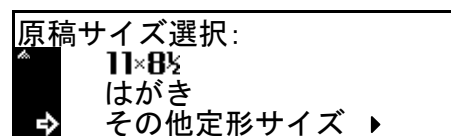
### その他の定形サイズから選択する場合

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [原稿サイズ選択] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「その他定形サイズ」を選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、原稿のサイズを選択してください。

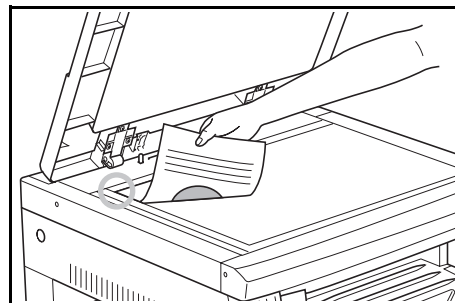
その他定形サイズ:  
⇒ 11×17  
8½×14  
8½×13

- 6 [OK] キーを押してください。

- 7 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

#### 原稿サイズを入力する場合

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [原稿サイズ選択] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「サイズ入力」を選択してください。

原稿サイズ選択:  
\* 自動検知  
⇒ サイズ入力 ▶  
A3

- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [<] キーまたは [>] キーを押して、縦のサイズを設定してください。50 ~ 297 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。

サイズ入力:  
⇒ 50mm 50mm ◀▶

- 6 [▼] キーを押して、横のサイズを選択してください。

- 7 [<] キーまたは [>] キーを押して、横のサイズを設定してください。50 ~ 432 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。

サイズ入力:  
⇒ 50mm 50mm ◀▶

- 8 [OK] キーを押してください。

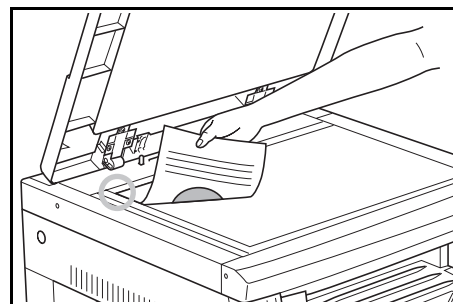
- 9 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

## 画質の選択

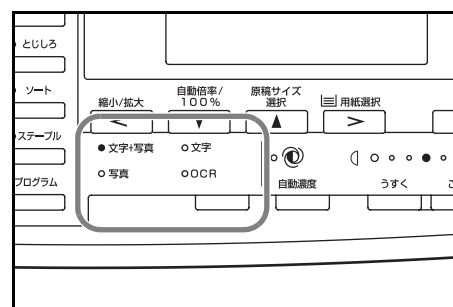
原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。

画質モード	説明
文字 + 写真	文字と写真が混在する原稿をコピーする時に選択します。
文字	書類など文字が多い原稿をコピーする時に選択します。
写真	写真などの原稿をコピーする時に選択します。

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 画質モード選択キーを押して、画質モードを選択してください。



- 3 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

- 参考
- それぞれの画質モードで濃度調整をすることができます。(3-8 ページの[文字 + 写真原稿濃度調整](#)、3-8 ページの[文字原稿濃度調整](#)、3-9 ページの[写真原稿濃度調整](#)参照)
  - 写真を選択した場合は手動濃度モードになります。(1-6 ページの[濃度調整](#)参照)

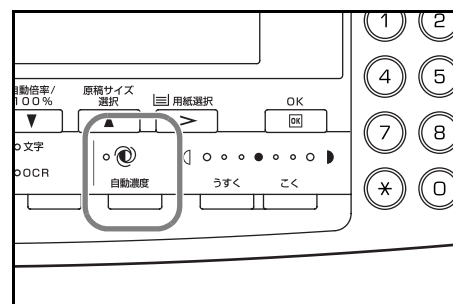
## 濃度調整

濃度を調整します。濃度調整には次のモードがあります。

モード	説明
自動濃度モード	原稿の濃度を検知して最適の濃度をセットします。
手動濃度モード	「うすく」キーと「こく」キーを押して、濃度を調整します。

### 自動濃度モード

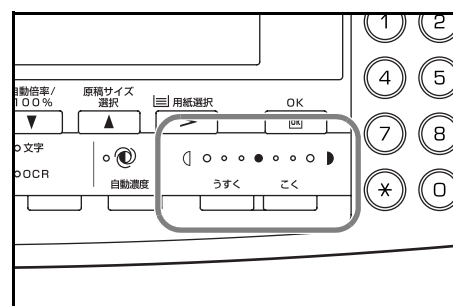
「自動濃度」キーを押してください。原稿の濃度を検知して最適の濃度をセットします。



- 参考
- 自動濃度モードで全体的に濃度が薄いときや濃いときは、濃度調整をすることができます。(3-7 ページの [自動濃度調整参照](#))
  - 画質の選択で写真を選択した場合は、自動濃度モードは設定できません。

### 手動濃度モード

「うすく」キーと「こく」キーを押して、濃度を調整してください。濃度表示が現在の濃度を示します。



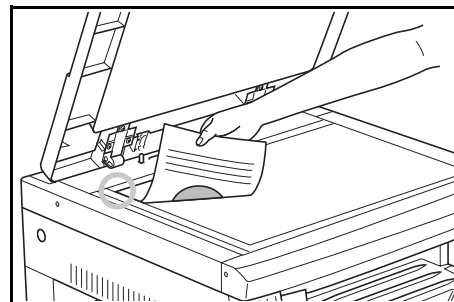
- 参考
- 濃度調整の初期設定を自動濃度モードにすることができます。(3-3 ページの [濃度モード設定参照](#))



## コピー枚数の設定

コピーの枚数を設定します。1 回のコピーで 999 枚まで設定できます。

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 テンキーを使って、希望のコピー枚数を設定してください。



**参考** 設定したコピー枚数を取り消す場合は、[ストップ/クリア] キーを押してください。コピー枚数は 1 枚に戻ります。

- 3 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

## 縮小 / 拡大コピー

倍率を変更して、コピーを縮小 / 拡大します。縮小 / 拡大コピーには次のモードがあります。

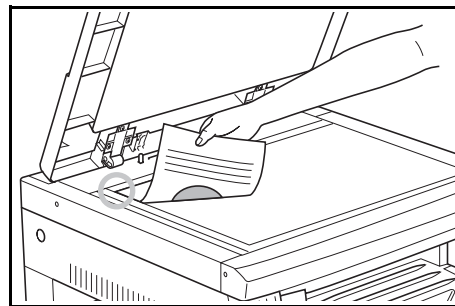
モード	説明
自動倍率選択モード	選択した用紙サイズに合わせて縮小 / 拡大します。
ズームコピーモード	25 ～ 200 % の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。
固定変倍モード	あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小 / 拡大コピーができます。  200 % (A5 → A3)、141 % (A4 → A3、B5 → B4)、122 % (A4 → B4、A5 → B5)、115 % (B4 → A3、B5 → A4)、86 % (A3 → B4、A4 → B5)、81 % (B4 → A4、B5 → A5)、70 % (A3 → A4、B4 → B5)、50 % (A3 → A5)

### 自動倍率選択モード

選択した用紙サイズに合わせて縮小 / 拡大します。

**参考** 任意の給紙段を選択した場合は自動倍率選択モードになるように、設定することができます。(3-6 ページの[優先倍率設定参照](#))

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [自動倍率 / 100%] キーを押してください。メッセージ表示に「自動倍率」が表示されます。



- 3 [用紙選択] キーを押してください。メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。

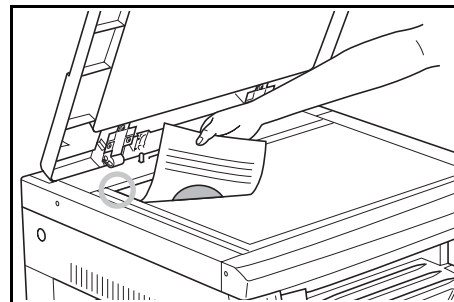


- 4 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

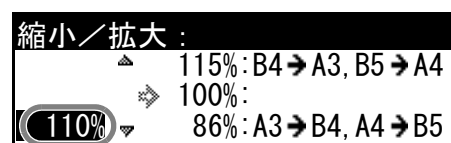
## ズームコピーモード

25 ～ 200 % の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [縮小 / 拡大] キーを押してください。
- 3 テンキーで倍率を入力してください。メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。  
(表示例は、1、1、0 と入力した場合です。)

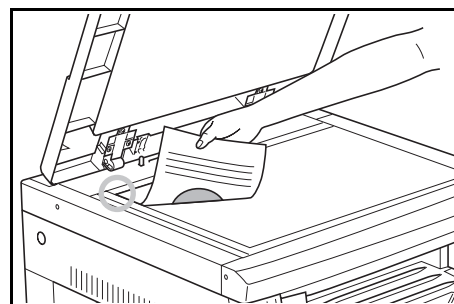


- 4 [OK] キーを押してください。
- 5 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

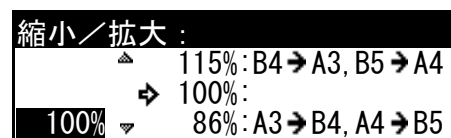
## 固定変倍モード

あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小 / 拡大コピーができます。

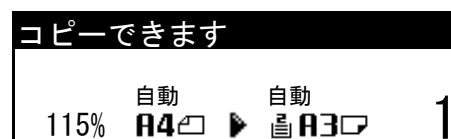
- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [縮小 / 拡大] キーを押してください。
- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、倍率を選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。

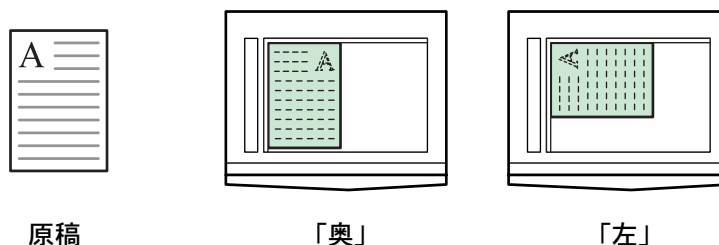


- 5 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

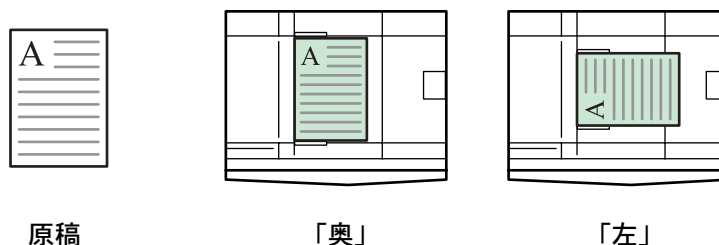
## 原稿セット向きの設定

両面コピー、分割コピー（両面原稿からの分割コピー）、とじしろコピー、枠消しコピー、集約コピー、原稿サイズ混載コピー（オプション）、ステープルコピー（オプション）を使用する場合は、原稿の向きを指定する必要があります。

### コンタクトガラスに原稿をセットする場合

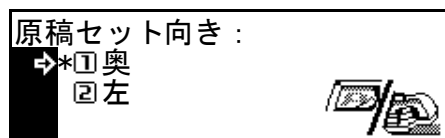
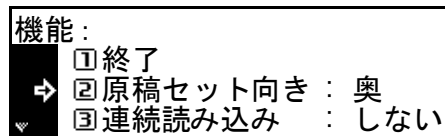


### 原稿送り装置に原稿をセットする場合



参考 原稿セット向きの初期値を変更することができます。（3-19 ページの[原稿セット向きの設定参照](#)）

- 1 [機能] キーを押してください。
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「原稿セット向き」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「奥」または「左」を選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。



## 割り込みモード

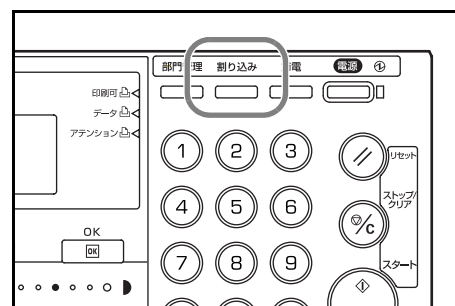
コピー作業や出力をいったん中止して、緊急のコピーや印刷データ、ファクス受信データを出力することができます。割り込み終了後は、中断した作業を再開できます。

割り込みモードの種類は次のとおりです。

モード	説明
割り込みコピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピーの途中で、別の原稿を異なった設定でコピーできます。割り込みコピー後は、中断されたコピーを元の設定で再開できます。</li> <li>出力中のジョブを中断して、別のコピーができます。割り込みコピー後は、元の出力が再開されます。</li> </ul>
優先出力	<p>出力中のジョブを中断して、印刷データやファクス受信データの優先出力ができます。優先出力終了後は、元の出力が再開されます。</p> <p><b>参考</b> ファクス機能を使用するためには、オプションのファクスキットが必要です。</p>

### コピー作業中の場合

- 1 「[割り込み] キーを押してください。『割り込みコピーできます』が表示されます。



- 2 コピー中の原稿をいったん保管しておいてください。
- 3 割り込みコピーする原稿をセットして、コピーを行ってください。
- 4 割り込みコピーが終了したら、[割り込み] キーを押してください。元の設定に戻ります。
- 5 保管していた原稿に替えてください。[スタート] キーを押すとコピーが再開されます。

### 出力中の場合

- 1 出力中に [割り込み] キーを押すと、「割り込みモードを選んで下さい」が表示されます。

**参考** 本機に印刷データやファクス受信データがない場合は、「割り込みコピーできます」が表示されます。手順 4 に進んでください。

- 2   【▲】キーまたは【▼】キーを押して、割り込みモードを選択してください。

割り込みモードを選んで下さい	
➡	① 割り込みコピー
	② プリンタ優先出力
	③ ファクス優先出力

- 参考   ・ 「プリンタ優先出力」は、本機に印刷データがある場合に表示されます。
- ・ 「ファクス優先出力」は、本機にファクス受信データがある場合に表示されます。

- 3   【OK】キーを押してください。

「割り込みコピー」を選択した場合は、「割り込みコピーできます」が表示されます。次の手順に進んでください。

「プリンタ優先出力」、「ファクス優先出力」を選択した場合は、出力が開始されます。手順5に進んでください。

- 4   割り込みコピーする原稿をセットして、コピーを行ってください。
- 5   割り込みが終了したら、【割り込み】キーを押してください。元の出力が再開されます。

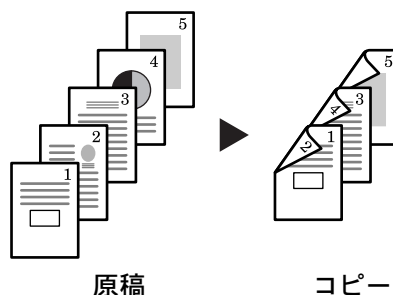
## 両面コピー

見開き原稿や両面原稿などいろんな原稿から両面コピーがとれます。

**参考** オプションの両面ユニットが必要です。

両面コピーには次のモードがあります。

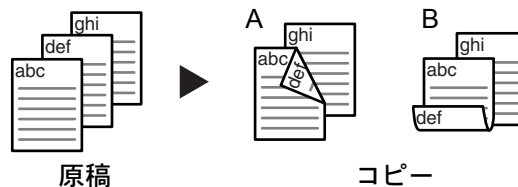
モード	説明
片面→両面（片面原稿からの両面コピー）	片面原稿を裏表に両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページの裏面が白紙になります。



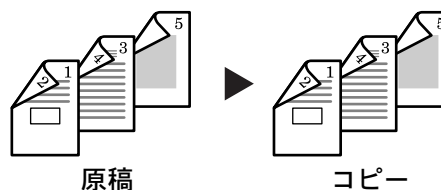
### 参考

片面→両面では以下の設定を選択できます。

- 原稿左 / 右とじ→仕上がり左とじ：裏面のコピーをそのままの方向でコピーします。... A
- 原稿左 / 右とじ→仕上がり上とじ：裏面のコピーを 180 度回転させてコピーします。仕上がったコピーを上で綴じると、各見開きのページが同じ方向になります。... B



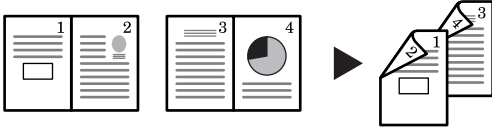
両面→両面（両面原稿からの両面コピー） 裏表両面の原稿を同じように両面コピーします。



### 参考

使用できる用紙サイズは A3 ～ A5R、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 11"、11" × 8 1/2"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、16KR、16K です。

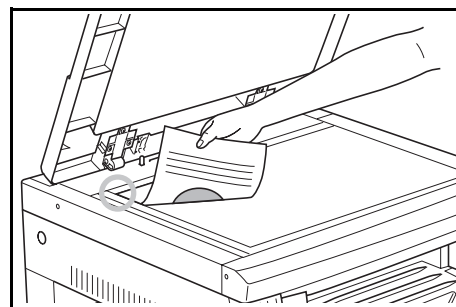
モード	説明
見開き→両面（見開き原稿からの両面コピー）	雑誌や本などの見開き 2 ページを 1 回の [スタート] キー操作で用紙の両面にコピーを行います。



原稿
コピー

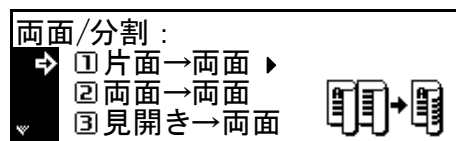
**参考**  
 使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 11"、8K、用紙サイズは A4、B5、16K に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [両面 / 分割] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「片面→両面」、「両面→両面」、「見開き→両面」から両面コピーのモードを選択してください。

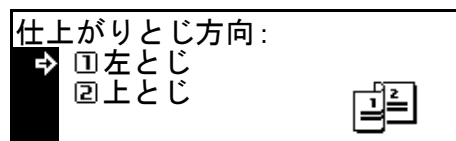


- 4 [OK] キーを押してください。

「片面→両面」を選択した場合は、次の手順に進んでください。

「両面→両面」、「見開き→両面」を選択した場合は、手順 7 に進んでください。

- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、仕上がりのとじ方向を選択してください。



- 6 [OK] キーを押してください。

- 7 [スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

- 8 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。



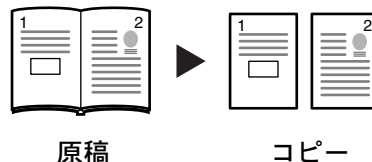
- 9 次の原稿がなければ、[OK] キーを押してください。コピーが開始されます。

## 分割コピー

2 ページの原稿を 1 ページずつコピーします。

分割コピーには次のモードがあります。

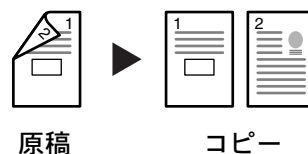
モード	説明
見開き→片面（見開き原稿からの分割コピー）	雑誌・本などの見開き 2 ページの原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。



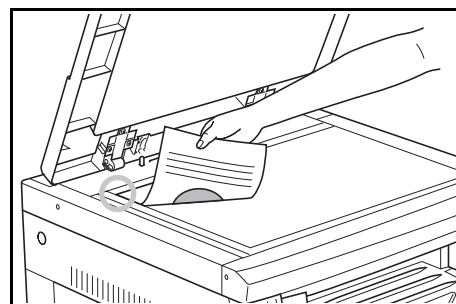
### 参考

使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 11"、8K、用紙サイズは A4、B5、16K に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

両面→片面（両面原稿からの分割コピー）	両面原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。
---------------------	-------------------------

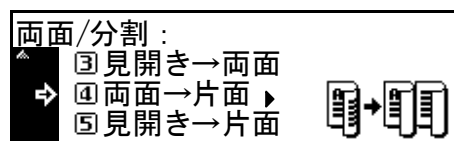


- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [両面 / 分割] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「両面→片面」、「見開き→片面」から分割コピーのモードを選択してください。

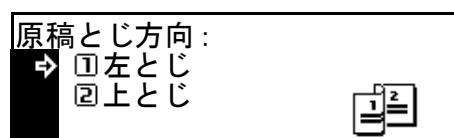


- 4 [OK] キーを押してください。

「両面→片面」を選択した場合は、次の手順に進んでください。

「見開き→片面」を選択した場合は、手順 7 に進んでください。

- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、原稿のと同じ方向を選択してください。



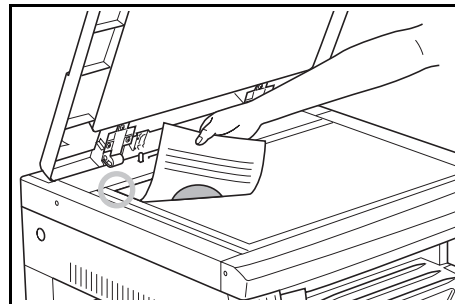
- 6 [OK] キーを押してください。
- 7 [スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。  
オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。  
コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。
- 8 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。
- 9 次の原稿がなければ、[OK] キーを押してください。コピーが開始されます。

## ソートコピー

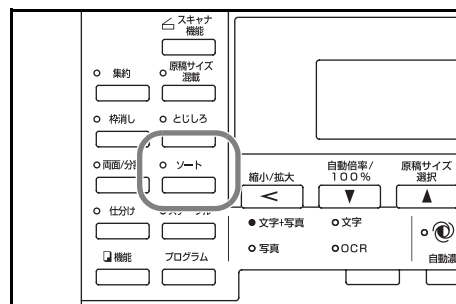
複数枚の原稿をいったんメモリに入れてコピーを行うため、1部ずつに並べ替えられたコピーを必要部数作成できます。

参考 オプションの原稿送り装置を装着している場合は、初期モードでソートコピーするか、しないかを変更することができます。(3-9 ページの[ソートコピー設定参照](#))

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [ソート] キーを押してください。



- 3 コピー部数を入力して[スタート]キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

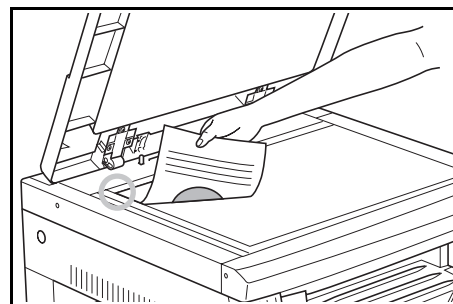
- 4 原稿を入れ替えて、[スタート]キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。
- 5 次の原稿がなければ、[OK]キーを押してください。コピーが開始されます。

## 仕分けコピー

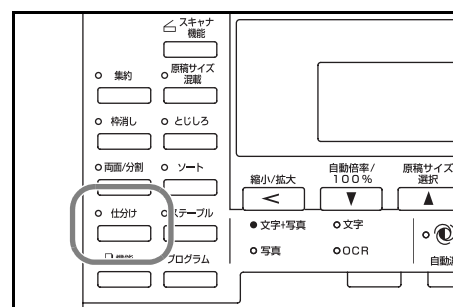
1部ずつコピーの方向を変えて排紙し、仕分けしやすくします。

- 参考
- オプションの原稿送り装置またはフィニッシャを装着していない場合は、ソートコピーと組み合わせて使用してください。
  - 初期モードで仕分けコピーするか、しないかを変更することができます。(3-10ページの[仕分けコピー設定参照](#))
  - 仕分けコピーを設定するときは、自動回転コピーを「する」に設定してください。(1-30ページの[自動回転コピー参照](#))
  - 仕分けコピーできる用紙サイズは、A4、B5、11" × 8 1/2"、16Kに限られます。

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [仕分け] キーを押してください。



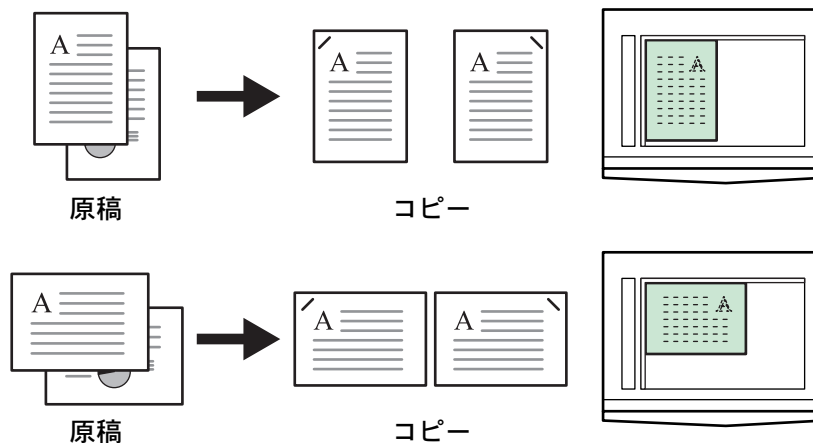
- 3 [ソート] キーを押してください。
- 4 コピー部数を入力して[スタート]キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。
- オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。
- コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。
- 5 原稿を入れ替えて、[スタート]キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。
- 6 次の原稿がなければ、[OK]キーを押してください。コピーが開始されます。

## ステープルコピー

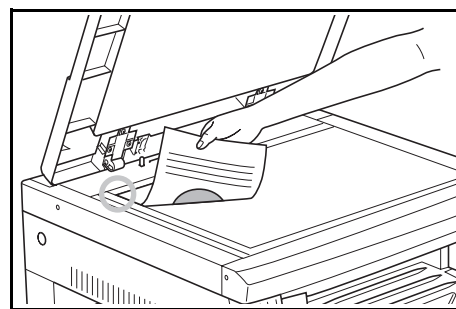
コピーの左上または右上にステープルします。

**参考** オプションのフィニッシャが必要です。

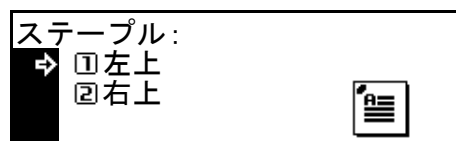
原稿のセット方向とコピーにステープルされる位置は次のとおりです。



- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [ステープル] キーを押してください。
- 3 [▲] キーまたは[▼] キーを押して、ステープルの位置を選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。
- 5 [スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。  
オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。  
コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。
- 6 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りを行います。
- 7 次の原稿がなければ、[OK] キーを押してください。コピーが開始されます。

## 集約コピー

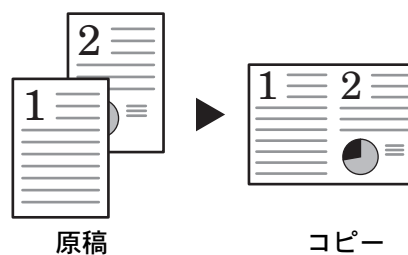
2 枚または 4 枚の原稿を縮小し、1 枚のコピーに集約することができます。また、各原稿の境界線を実線、点線で区切ることもできます。

**参考** 原稿サイズ、用紙サイズは定形サイズのみ使用できます。

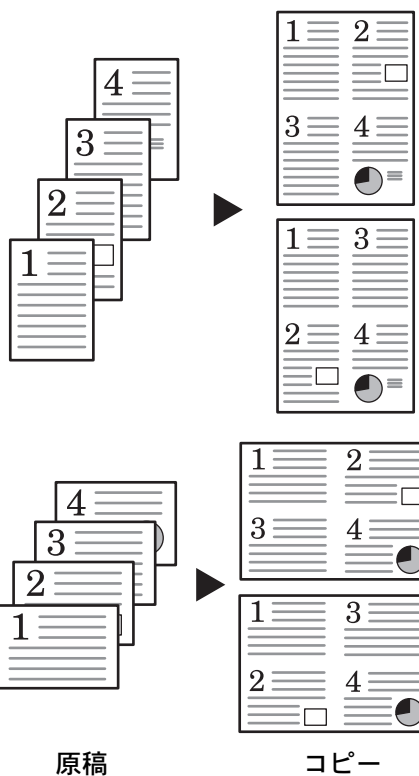
## 集約コピーモード

集約コピーには次のモードがあります。

モード	説明
2in1	2 枚の原稿を 1 枚のコピーにします。両面コピーと併用すると 4 枚の原稿を 1 枚の両面コピーにすることができます。



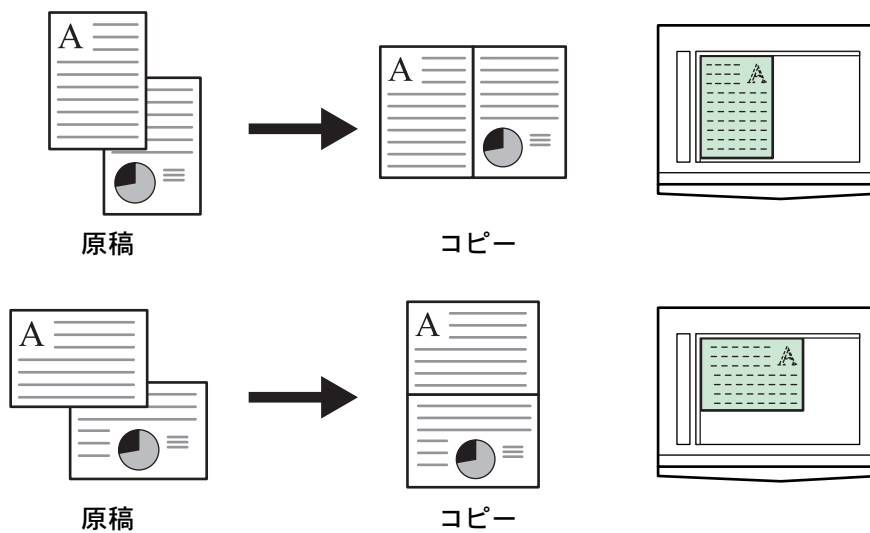
4in1 (左→右)	4 枚の原稿を 1 枚のコピーにします。両面コピーと併用すると 8 枚の原稿を 1 枚の両面コピーにすることができます。
4in1 (左→下)	



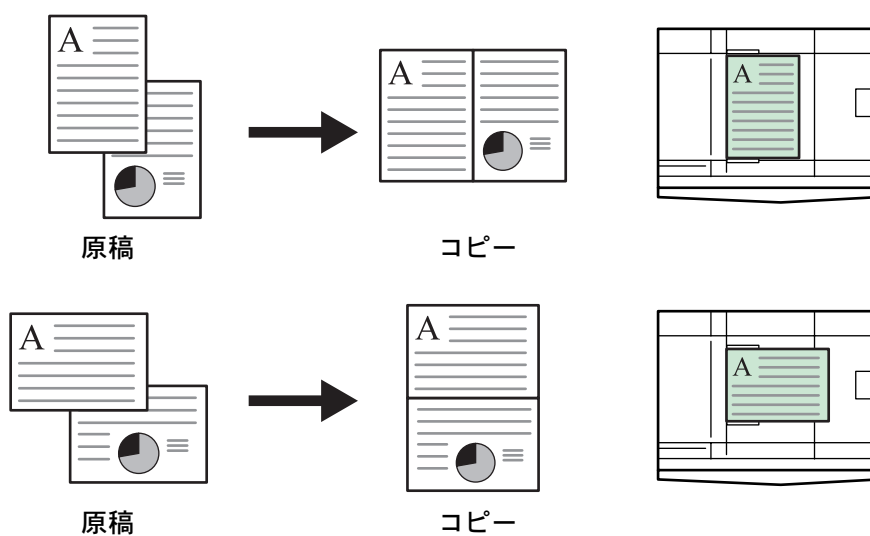
## 2in1 コピー

原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

### コンタクトガラスに原稿をセットする場合



### 原稿送り装置に原稿をセットする場合

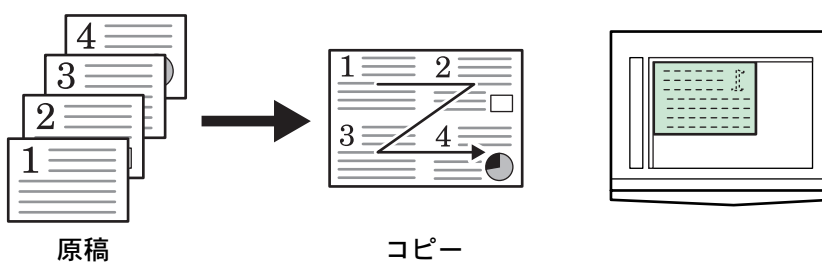
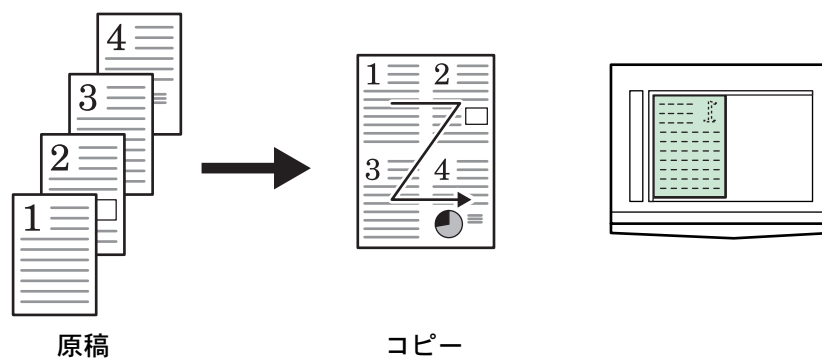




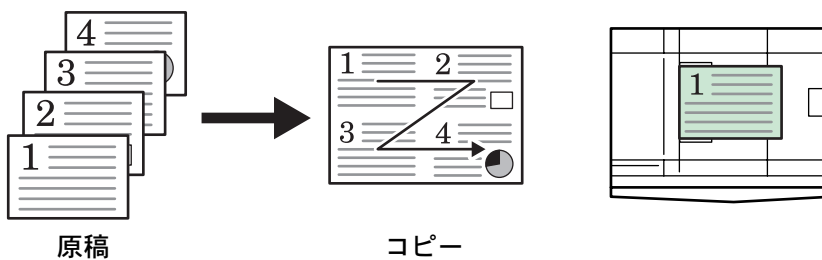
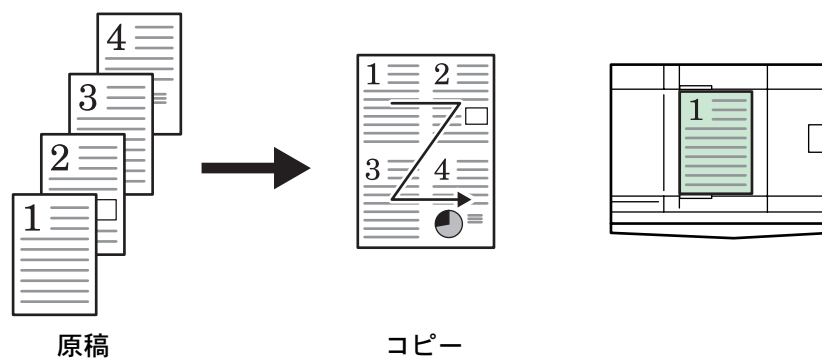
# 4in1（左→右）コピー

原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

## コンタクトガラスに原稿をセットする場合



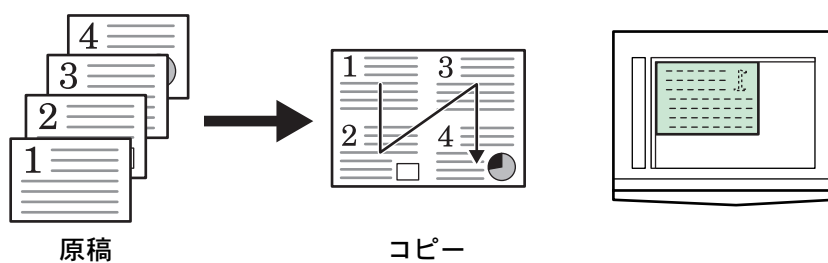
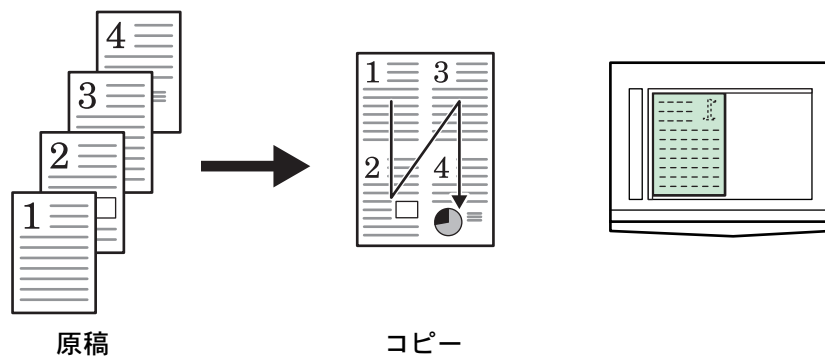
## 原稿送り装置に原稿をセットする場合



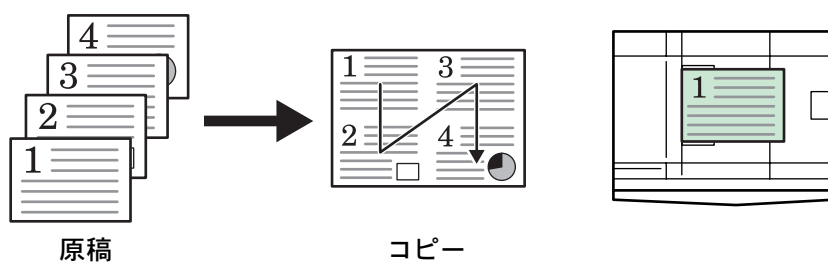
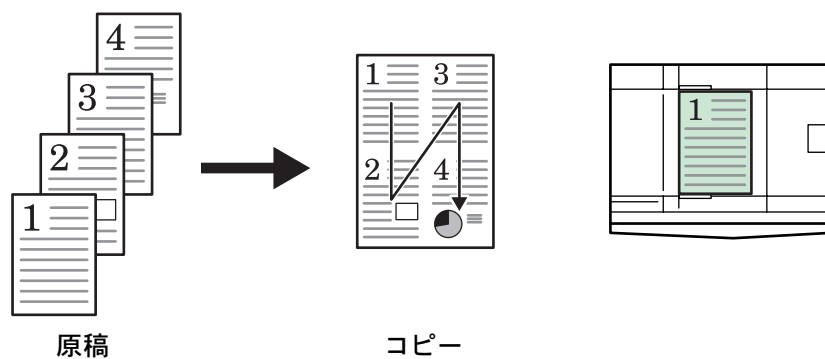
# 4in1（左→下）コピー

原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

## コンタクトガラスに原稿をセットする場合

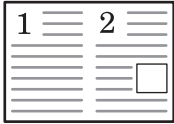
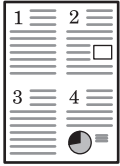
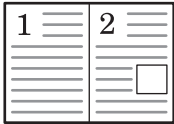

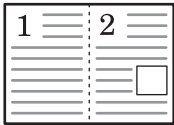
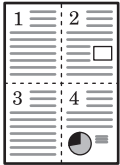
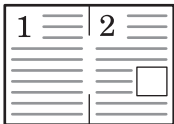
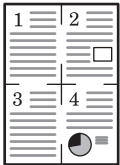


## 原稿送り装置に原稿をセットする場合



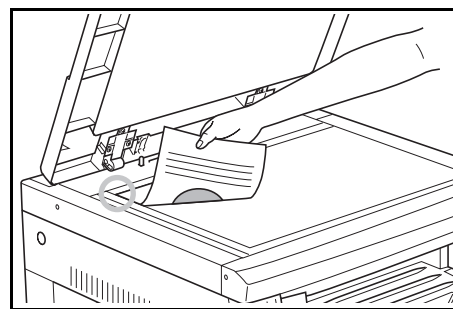
## 境界線の種類

境界線の種類は次のとおりです。

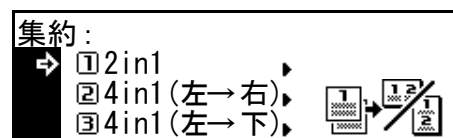
境界線の種類	コピー	
	2in1	4in1 (左→右) / 4in1 (左→下)
なし		
実線		
点線		
マーク		

## 集約コピーの設定

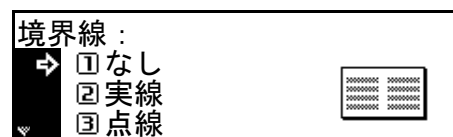
- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [集約] キーを押してください。
- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、集約コピーモードを選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。
- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、境界線の種類を選択してください。



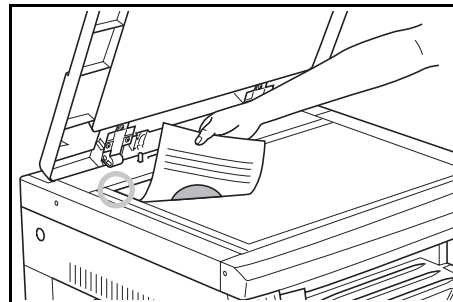
- 6 [OK] キーを押してください。
- 7 [スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。  
オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。  
コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。
- 8 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。
- 9 次の原稿がなければ、[OK] キーを押してください。コピーが開始されます。

## とじしろコピー

原稿の画像の位置をずらしてコピーし、左側または上側にとじしろ（余白）を作ります。とじしろ幅は 1 mm ～ 18 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。

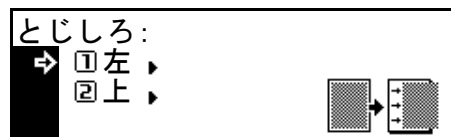
**参考** とじしろ幅の初期値を設定することができます。（3-11 ページの[とじしろ幅初期値の設定参照](#)）

- 1 原稿をセットしてください。



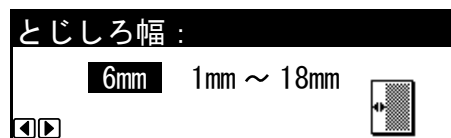
- 2 [とじしろ] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「左」または「上」を選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [<] キーまたは [>] キーを押してとじしろ幅を設定してください。1 mm ～ 18 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。



- 6 [OK] キーを押してください。

- 7 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

## 枠消しコピー

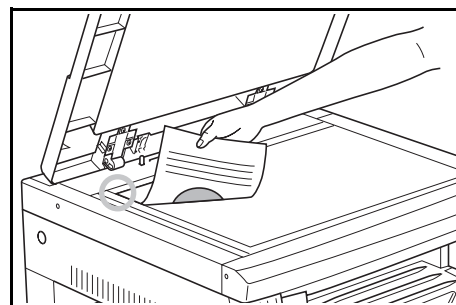
原稿のまわりにできた黒い陰を消去してコピーします。

枠消しコピーには次のモードがあります。

モード	説明
シート枠消し	シート原稿のまわりにできた黒い影を消すときに使用してください。枠消し幅は 1 mm ～ 18 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。
ブック枠消し	分厚い本をきれいにコピーするときに使用してください。枠消し幅は 1 mm ～ 18 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。

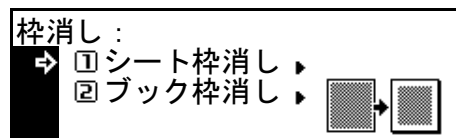
参考 枠消し幅の初期値を設定することができます。（3-11 ページの[枠消し幅初期値の設定参照](#)）

- 1 原稿をセットしてください。



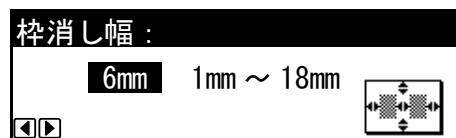
- 2 [枠消し] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「シート枠消し」または「ブック枠消し」を選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [<] キーまたは [>] キーを押して枠消し幅を設定してください。1 mm ～ 18 mm（1 mm 単位）で設定できます。



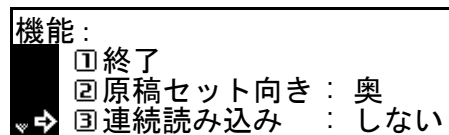
- 6 [OK] キーを押してください。

- 7 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

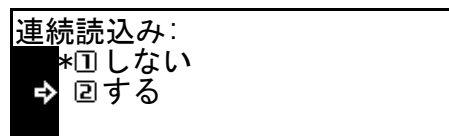
## 連続読み込みコピー

連続読み込みコピーは原稿を複数回に分けて読み込みを行い、一括してコピーすることができる機能です。同一の種類の原稿をひとつのステップとして読み込み、ステップを蓄積していくことで、大量の原稿を一括してコピーすることができます。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能] キーを押してください。
- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「連続読み込み」を選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。
- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」を選択してください。



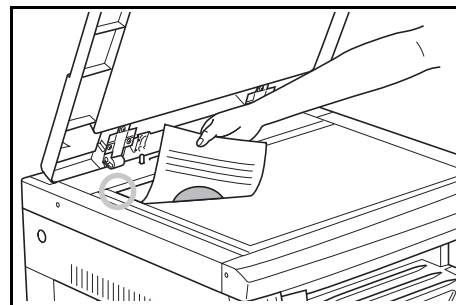
- 6 [OK] キーを押してください。
- 7 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。
- 8 [OK] キーを押してください。
- 9 [スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。
- 10 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。次のステップの読み取りが開始されます。
- 11 次の原稿がなければ、[OK] キーを押してください。コピーが開始されます。

## 自動回転コピー

セットした原稿の向きとカセットの中の用紙の向きが異なる場合でも、画像を反時計回りに 90 度回転してコピーします。

- 参考
- 自動回転コピーで使える用紙サイズは A4/11" × 8 1/2" 以下です。A3、B4、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8K は自動回転コピーできません。
  - 初期モードで自動回転コピーするか、しないかを変更することができます。(3-10 ページの [自動回転コピー設定参照](#))

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [機能] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動回転」を選択してください。

機能:	
② 原稿セット向き	: 奥
③ 連続読み込み	: しない
④ 自動回転	: する

- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。

自動回転:	
①	しない
⇒*②	する

- 6 [OK] キーを押してください。

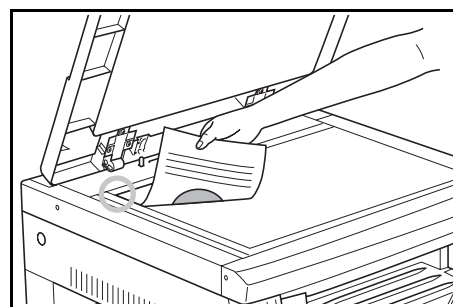


## エコプリント

エコプリントを設定するとトナーの消費量が節約できます。試しコピーなど高品質なコピーが必要でないときに使用してください。

- 参考
- 画像がやや薄くなります。
  - 初期モードでエコプリントするか、しないかを変更することができます。(3-4 ページの[エコプリント設定参照](#))

- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [機能] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「エコプリント」を選択してください。

機能:		
③	連続読み込み	: しない
④	自動回転	: する
⇒ ⑤	エコプリント	: しない

- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。

エコプリント:		
*①	しない	
⇒ ②	する	

- 6 [OK] キーを押してください。

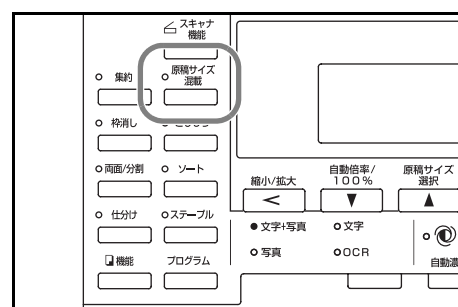
## 原稿サイズ混載コピー

オプションの原稿送り装置を使用しているときに、[用紙選択] キーでサイズを指定しない場合は、原稿のサイズを1枚ずつ検知して、それぞれの原稿と同じサイズ of 用紙に自動的にコピーすることができます。

- 参考
- このモードで原稿送り装置にセットできる枚数は、最大 30 枚です。
  - このモードで使用できる原稿は A3 と A4、Folio と A4R あるいは B4 と B5 で、原稿幅が同じサイズのものに限られます。

1 原稿送り装置に原稿をセットしてください。

2 [原稿サイズ混載] キーを押してください。



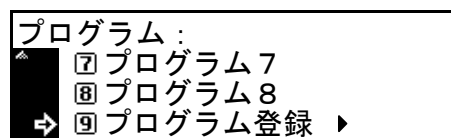
3 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

## プログラムコピー

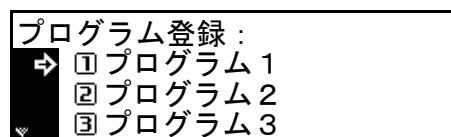
操作パネルに表示しているモードおよび機能の組み合わせを 8 種類まで登録できます。

### プログラム登録のしかた

- 1 登録したいコピーモードを設定してください。
- 2 [プログラム] キーを押してください。
- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「プログラム登録」を選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。
- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、登録するプログラム番号 (1 ~ 8) を選択してください。

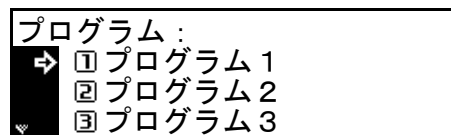


参考 プログラム番号はテンキーを使って選択することもできます。

- 6 [OK] キーを押してください。プログラムが登録されます。

### プログラムを使ったコピー

- 1 [プログラム] キーを押してください。
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、呼び出すプログラム番号を選択してください。



参考 プログラム番号はテンキーを使って選択することもできます。

- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。設定したプログラムでコピーされます。



## 2 プリンタ設定

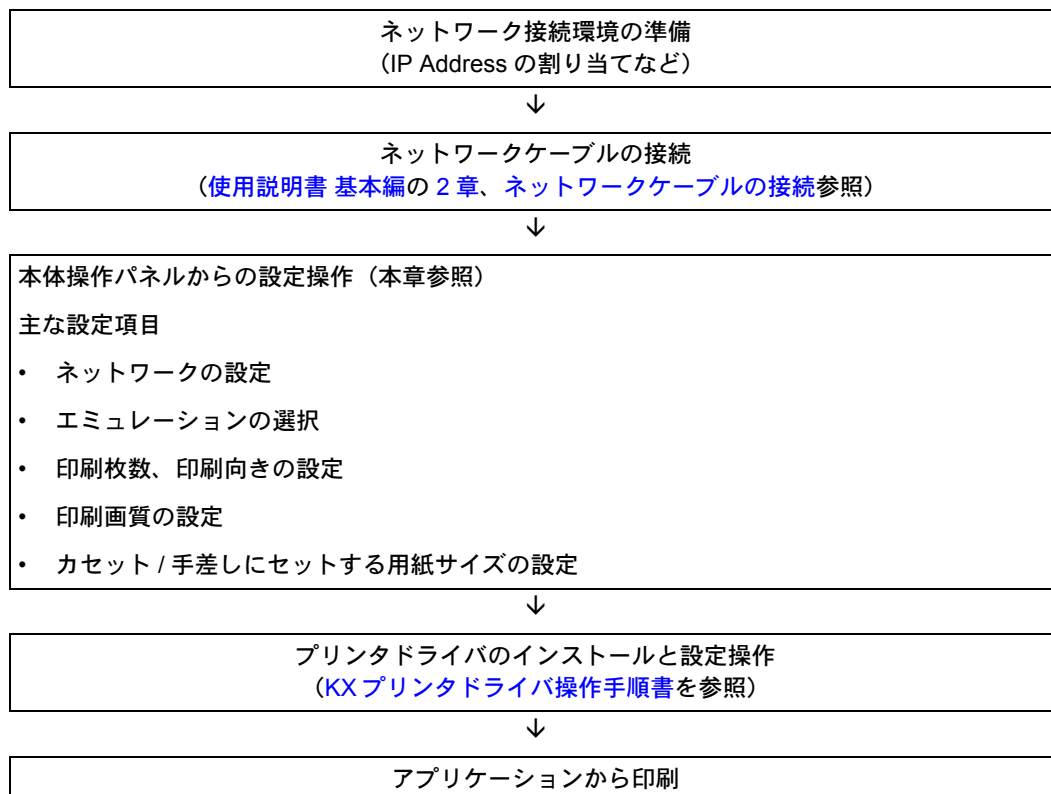
この章では、プリンタ機能を使用するために必要な設定を行います。ネットワークプリンタとして使用するために必要な設定操作は、操作パネルから行います。

設定できる主な内容は次のとおりです。

- 本機をネットワークプリンタとして使用するには
- メニュー階層図
- ステータスページの印刷
- e-MPS 機能の設定
- インタフェースの設定
- エミュレーションの設定
- フォントの設定
- 印刷環境の設定
- 印刷品質の設定
- メモリカードの操作
- ハードディスクの操作
- RAM ディスクの設定
- 用紙の設定
- その他の設定

## 本機をネットワークプリンタとして使用するには

本機をネットワークプリンタとして使用するには、次の手順で設定を行います。



## メニュー階層図

参考 各設定画面で表示される > は現在の設定を示します。

ステータス・ページの印刷 ▶	No、Print				
e-MPS ▶	クイックコピージョブ ▶	ユーザー名を選択して下さい ▶	ジョブ名を選択して下さい ▶	コピー部数：### 削除	
	個人 / 保存ジョブ ▶	ユーザー名を選択して下さい ▶	ジョブ名を選択して下さい ▶	コピー部数：### 削除	ユーザー ID を入力して下さい
	VMB データの印刷 ▶	トレイ ### ▶	ユーザー ID を入力して下さい		
	VMB リストの印刷 ▶	No、Print			
	コードジョブリストの印刷 ▶	No、Print			
	e-MPS の詳細設定 ▶	クイックコピージョブの個数 ▶	0 ～ 50		
		一時保存コードジョブサイズ ▶	0 ～ 9999 MByte		
		保存コードジョブサイズ ▶	0 ～ 9999 MByte		
		VMB のサイズ ▶	0 ～ 9999 MByte		
	インタフェース ▶	パラレル ▶	自動、ノーマル、高速、ニブル（高速）		
ネットワーク ▶		NetWare ▶	オン、オフ		
			設定値変更 ▶	自動、802.3、Ethernet II、802.2、802.3 SNAP	
		TCP/IP ▶	オン、オフ		
			設定値変更 ▶	DHCP ▶	オン、オフ
			IP Address ▶	###.###.###.###	
			Subnet Mask ▶	###.###.###.###	
		Gateway ▶	###.###.###.###		
EtherTalk ▶		オン、オフ			
ネットワークステータスの印刷 ▶		オン、オフ			
USB					
オプション ▶		NetWare ▶	オン、オフ		
			設定値変更 ▶	自動、802.3、Ethernet II、802.2、802.3 SNAP	
		TCP/IP ▶	オン、オフ		
			設定値変更 ▶	DHCP ▶	オン、オフ
			IP Address ▶	###.###.###.###	
			Subnet Mask ▶	###.###.###.###	
		Gateway ▶	###.###.###.###		
EtherTalk ▶		オン、オフ			
オプションステータスの印刷 ▶		オン、オフ			

# プリンタ設定

エミュレーション▶	PCL 6				
	KC-GL ▶	ペンの設定 ▶	ペン (1 ～ 8) ▶	01 ～ 99 dot (s)	
		ページセット ▶	A2、A1、A0、B3、B2、B1、B0、SPSZ		
	KPDL ▶	KPDL エラーの印字 ▶	オン、オフ		
	KPDL (自動) ▶	代替えエミュレーション ▶	PCL6、KC-GL、FMPR-359F1、EPSON VP-1000、IBM5577、PCPR201/65A		
		KPDL エラーの印字 ▶	オン、オフ		
	FMPR-359F1				
	EPSON VP-1000				
	IBM5577				
	PCPR201/65A				
フォント ▶	ANK フォント ▶	標準フォント ▶	I### ▶	I###	
			Detail ▶	4 ～ 999.75 ポイント 0.44 ～ 99.99 CPI	
			Courier フォントの設定 ▶	太い、普通	
			Letter Gothic の設定 ▶	太い、普通	
		オプションフォント ▶	#### ▶	SO####、MO####、HO####	
			Detail ▶	4 ～ 999.75 ポイント 0.44 ～ 99.99 cpi	
	漢字フォント ▶	標準フォント ▶	IJ### ▶	IJ###	
			Detail ▶	4 ～ 999.75 ポイント 0.44 ～ 99.99 cpi	
		オプションフォント ▶	#J### ▶	SJ###、MJ###、HJ###	
			Detail ▶	4 ～ 999.75 ポイント 0.44 ～ 99.99 cpi	
	コードセット ▶		#####		
	標準フォントサンプルの印刷 ▶		No、Print		
	オプションフォントサンプルの印刷▶		No、Print		
	印刷環境 ▶	コピー枚数 ▶	1 ～ 999		
		縮小 ▶	用紙サイズ ###、出力サイズ ###		
		印刷の向き ▶	縦、横		
ページ保護モード▶		自動、保護			
LF (改行) 動作 ▶		LF only、CR and LF、Ignore LF			
CR (復帰) 動作 ▶		CR only、CR and LF、Ignore CR			
ワイド A4 ▶		オン、オフ			
印刷品質 ▶	KIR モード ▶	オン、オフ			
	エコプリント ▶	オン、オフ			
	解像度 ▶	FAST1200 mode、600 dpi、300 dpi			
	印刷濃度 ▶	1 ～ 5			



ハードディスク ▶	データ読み込み			
	プログラム読み込み			
	データ書き込み ▶	OK		
	データ削除			
	フォント削除			
	プログラム削除			
	マクロ削除			
	言語削除			
	フォーマット ▶	No、OK		
	パーティションリストのプリント ▶	No、Print		
	RAM ディスクモード ▶	オン、オフ		
設定値変更 ▶		RAM ディスクサイズ ▶	1 ~ 1024 Mbyte	
		データ読み込み		
		プログラム読み込み		
		データ書き込み ▶	OK	
		データ削除		
		フォント削除		
		プログラム削除		
		マクロ削除		
		言語削除		
		パーティションリストのプリント ▶	No、Print	
メモ리카ード ▶	フォント読み込み ▶	OK		
	マクロデータ読み込み ▶	OK		
	データ読み込み			
	プログラム読み込み			
	データ書き込み ▶	OK		
	データ削除			
	フォント削除			
	プログラム削除			
	マクロ削除			
	言語削除			
	メモ리카ードフォーマット ▶	OK		
	パーティションリストのプリント ▶	No、Print		
	用紙設定 ▶	手差しモード ▶	カセット、優先	
		給紙元 ▶	手差し、カセット 1 ~ 4	
両面印刷モード ▶		なし、短辺とじ、長辺とじ		
排紙先 ▶		上トレイ、フィニッシャ、ジョブセパレータ		
A4/Letter 共通使用 ▶		オン、オフ		

## プリンタ設定

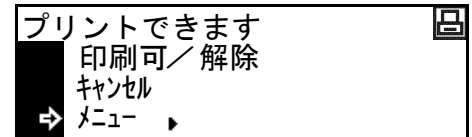
その他	▶ 改ページ待ち時間 ▶	0 ～ 495 秒	
	受信データのダン プ ▶	OK	
	プリンタのリセッ ト ▶	OK	
	リソース保護 ▶	オフ、保護、自動	
	自動継続 ▶	オン、オフ	
		設定値変更 ▶	0 ～ 495 秒
	後処理検知 ▶	両面印刷処理 ▶	オン、オフ
		ステープルの設定 ▶	オン、オフ
	印刷範囲補正 ▶	横補正 ▶	-76 ～ +76 mm
		縦補正 ▶	-76 ～ +76 mm
	サービス ▶	ステータスページ の印刷 ▶	No、Print
		給紙動作 ▶	普通、特殊

## ステータスページの印刷

プリンタ初期設定やメモリ容量などを一覧で印刷します。

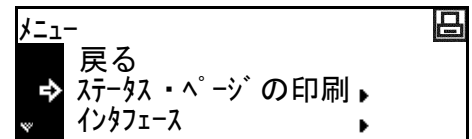
- 1 [プリンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



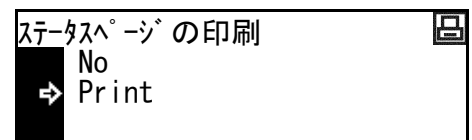
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ステータス・ページの印刷」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Print」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。ステータスページが印刷されます。

## e-MPS 機能の設定

e-MPS 機能の設定では次の項目の設定ができます。

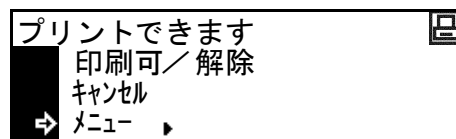
- クイックコピー / 試し刷り後、保留の印刷
- クイックコピー / 試し刷り後、保留の削除
- プライベートプリント / ジョブ保留の印刷
- プライベートプリント / ジョブ保留の削除
- バーチャルメールボックス蓄積データの印刷
- バーチャルメールボックスリストの印刷
- コードジョブリストの印刷
- e-MPS 詳細設定

- 参考
- e-MPS 機能を使う場合は、オプションのハードディスクが必要です。e-MPS についての詳しい説明は、[KX プリンタドライバ操作手順書](#)を参照してください。
  - [RAM ディスクの設定](#)（2-48 ページ参照）を「オン」にしたときも e-MPS 機能を使用できます。このとき使用できる e-MPS 機能は、試し刷り後、保留とプライベートプリントです。

### 「e-MPS」画面の表示方法

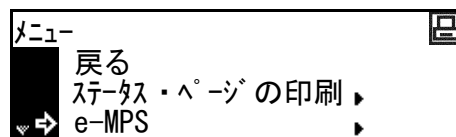
- 1 [プリンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「e-MPS」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。「e-MPS」画面が表示されます。

以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

## クイックコピー / 試し刷り後、保留の印刷

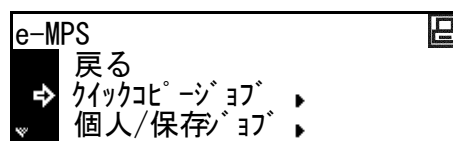
プリンタドライバでクイックコピーを設定して文書を印刷すると、同時にハードディスクに保存します。印刷が必要になったときに操作パネルから必要な枚数を再印刷することができます。

プリンタドライバで試し刷り後、保留を設定し、必要な部数を設定して印刷すると、1部だけを出し、文書データをハードディスクに保存します。残りの部数を印刷するときは操作パネルから印刷します。その際、印刷枚数を変更することもできます。

プリンタドライバでの設定方法は [KX プリンタドライバ操作手順書](#) を参照してください。

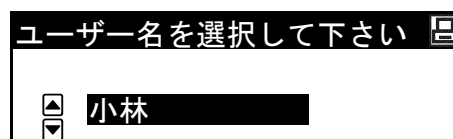
- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（[「e-MPS」画面の表示方法](#)参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「クイックコピージョブ」を選択してください。



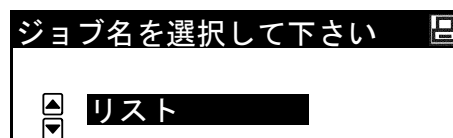
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、ユーザ名を選択してください。ここで表示されるユーザ名は、プリンタドライバで設定された名称です。



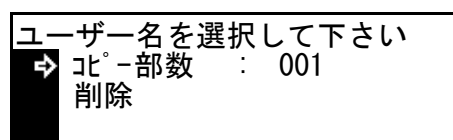
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、ジョブ名を選択してください。ここで表示されるジョブ名は、プリンタドライバで設定された名称です。



- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 テンキーを使って、印刷部数を入力してください。



- 9 [OK] キーを押してください。印刷が開始されます。

## クイックコピー / 試し刷り後、保留の削除

クイックコピー / 試し刷り後、保留で保存されているジョブは、本体の電源を切ると自動的に消去されますが、以下の手順で個別に消去できます。

- 1 [クイックコピー / 試し刷り後、保留の印刷](#)の手順 1 ～ 7 を参照して、削除するジョブを選択してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「削除」を選択してください。

ユーザー名を選択して下さい  
 コピー部数 : 001  
 → 削除

- 3 [OK] キーを押してください。

## プライベートプリント/ジョブ保留の印刷

プライベートプリントは、印刷の際にプリンタドライバから設定したアクセスコードと同じ4桁の数字を、操作パネルから入力して印刷出力を可能にする機能です。データは印刷後に消去されます。

ジョブ保留モードはアクセスコードは使用せず、印刷出力後は印刷データをハードディスクに保存します。それぞれのプリンタドライバでの設定方法は、[KXプリンタドライバ操作手順書](#)を参照してください。

- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。(2-8 ページの「e-MPS」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「個人/保存ジョブ」を選択してください。

e-MPS  
 戻る  
 クイックコピージョブ ▶  
 → 個人/保存ジョブ ▶

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、ユーザー名を選択してください。ここで表示されるユーザー名は、プリンタドライバで設定された名称です。

ユーザー名を選択して下さい  
 ▲ 小林 ▼

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、ジョブ名を選択してください。ここで表示されるジョブ名は、プリンタドライバで設定された名称です。

ジョブ名を選択して下さい  
 ▲ リスト ▼

- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 テンキーを使って、4桁のアクセスコードを入力してください。アクセスコードはプリンタドライバで設定されています。

リスト  
 ユーザーIDを入力して下さい  
 □ □ □ □

- 9 [OK] キーを押してください。

- 10 テンキーを使って、印刷部数を入力してください。

ユーザー名を選択して下さい  
 → コピー部数 : 001  
 削除

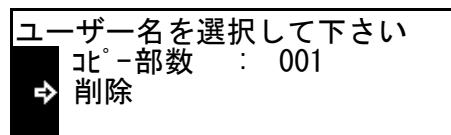
- 11 [OK] キーを押してください。印刷が開始されます。

## プライベートプリント / ジョブ保留の削除

保存されているジョブは、以下の手順で個別に消去できます。また、プライベートプリントモードで保存されているジョブは、印刷後や電源を切ると自動的に消去されますが、ジョブ保留モードで保存したジョブは消去されません。

- 1 プライベートプリント / ジョブ保留の印刷の手順 1 ～ 7 を参照して、削除するジョブを選択してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「削除」を選択してください。



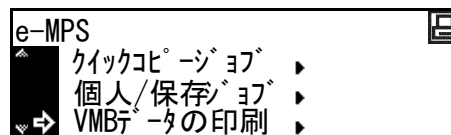
- 3 [OK] キーを押してください。

## バーチャルメールボックス蓄積データの印刷

バーチャルメールボックス機能は、ジョブを仮想のメールボックスに保存する機能です。プリンタドライバでバーチャルメールボックス機能を使用して文書を印刷すると、ジョブは保存され、操作パネルを使用して出力するまでは印刷されません。プリンタドライバでの設定方法は、[KX プリンタドライバ操作手順書](#)を参照してください。

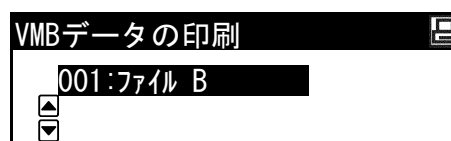
- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。(2-8 ページの「[e-MPS](#)」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「VMBデータの印刷」を選択してください。



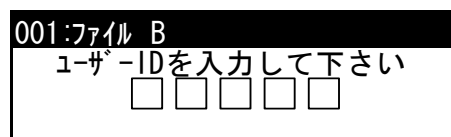
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、印刷するメールボックスを選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 テンキーを使って、5桁のアクセスコードを入力してください。アクセスコードは KM-NET Printer Disk Manager で設定できます。



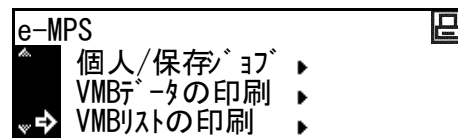
- 7 [OK] キーを押してください。印刷が開始されます。一度印刷されるとメールボックス内の文書データは消去されます。

## バーチャルメールボックスリストの印刷

現在設定されているバーチャルメールボックスのトレイ番号（メールボックス番号）、蓄積データの有無、データサイズなどのリストを印刷します。

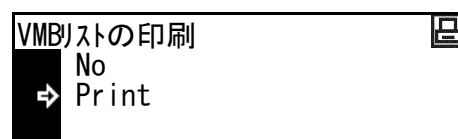
- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（2-8 ページの「[e-MPS](#)」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「VMB リストの印刷」を選択してください。

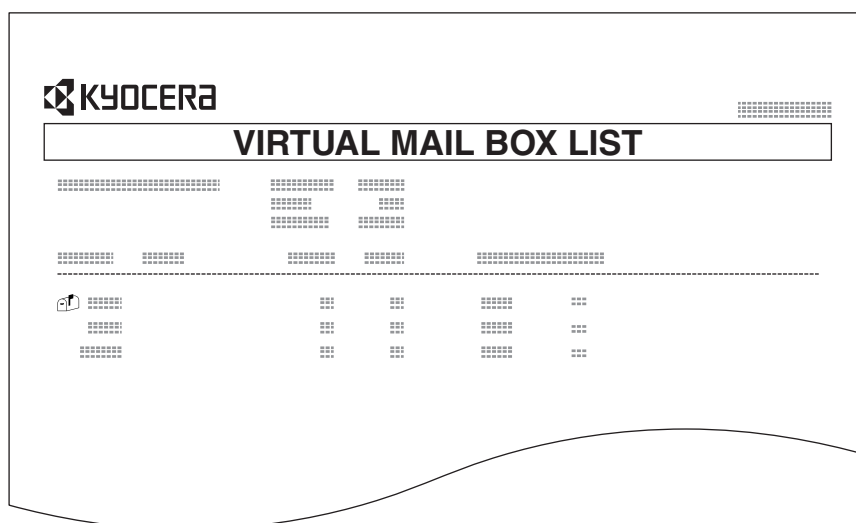


- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Print」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。バーチャルメールボックスリストが印刷されます。

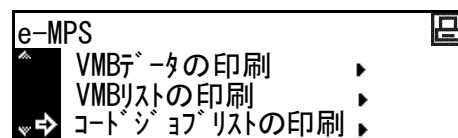


## コードジョブリストの印刷

ハードディスクに保存されている（恒久）保存コードジョブを印刷することができます。

- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（2-8 ページの「[e-MPS](#)」画面の表示方法参照）

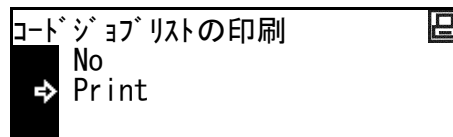
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「コードジョブリストの印刷」を選択してください。



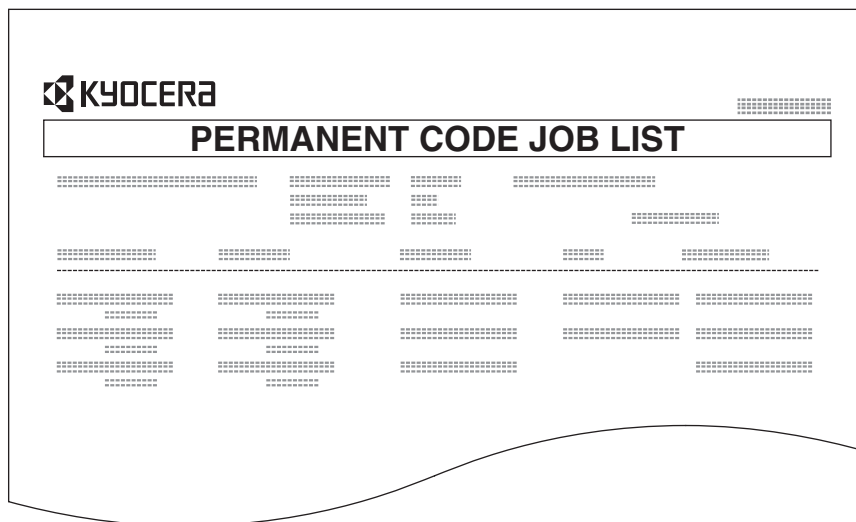
- 3 [OK] キーを押してください。



- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Print」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。コードジョブリストが印刷されます。



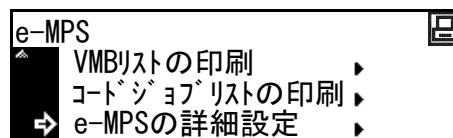
## e-MPS 詳細設定

ハードディスクに保存できる最大文書件数や、機能ごとに割り当てる容量を変更することができます。

### クイックコピーの最大登録可能数の設定

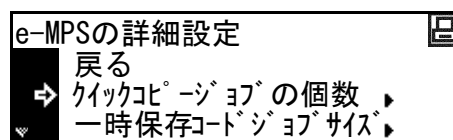
- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。(2-8 ページの「[e-MPS](#)」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「e-MPSの詳細設定」を選択してください。



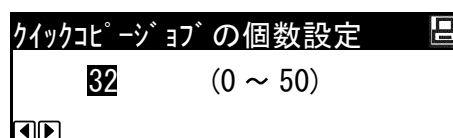
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「クイックコピージョブの個数」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、最大保存件数を入力してください。0 ～ 50 個の範囲で設定できます。



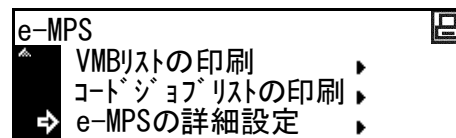
- 7 [OK] キーを押してください。

### 一時コードジョブの保存容量の設定

ハードディスクに保存する一時コードジョブの合計容量（上限）を設定します。ただし、実際に使用できる容量は、ハードディスクの空き容量までとなります。

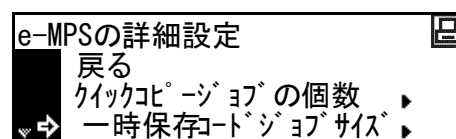
- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（2-8 ページの「[e-MPS](#)」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「e-MPS の詳細設定」を選択してください。



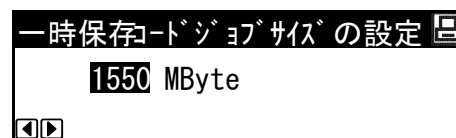
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「一時保存コードジョブサイズ」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、一時コードジョブの保存容量を入力してください。0 ～ 9999 MB の範囲で設定できます。



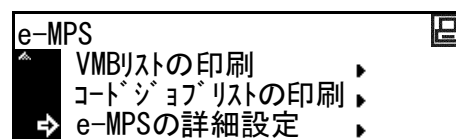
- 7 [OK] キーを押してください。

### 保存コードジョブの合計保存容量設定

ハードディスクに保存する保存（恒久保存）コードジョブの合計容量（上限）を設定します。ただし、実際に使用できる容量は、ハードディスクの空き容量までとなります。

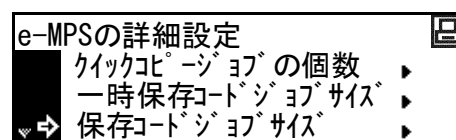
- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（2-8 ページの「[e-MPS](#)」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「e-MPS の詳細設定」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「保存コードジョブサイズ」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [＜] キーまたは [＞] キーを押して、保存コードジョブの合計保存容量を入力してください。0 ～ 9999 MB の範囲で設定できます。



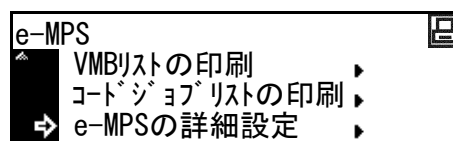
- 7 [OK] キーを押してください。

#### バーチャルメールボックスの合計保存容量設定

ハードディスクに保存するバーチャルメールボックスの合計容量（上限）を設定します。ただし、実際に使用できる容量は、ハードディスクの空き容量までとなります。

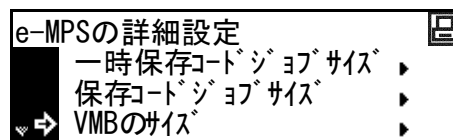
- 1 「e-MPS」画面を表示させてください。（2-8 ページの「[e-MPS](#)」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「e-MPS の詳細設定」を選択してください。



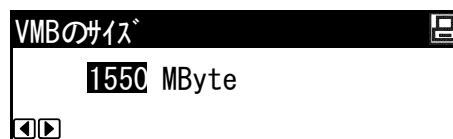
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「VMB のサイズ」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [＜] キーまたは [＞] キーを押して、バーチャルメールボックス（VMB）の使用領域を入力してください。0 ～ 9999 MB の範囲で設定できます。



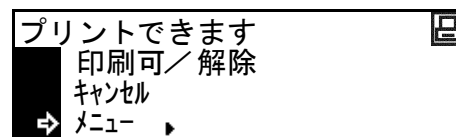
- 7 [OK] キーを押してください。

## インタフェースの設定

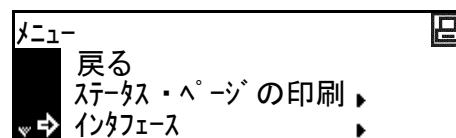
本機はパラレルインタフェース、USB インタフェース、およびネットワークインタフェースを標準装備しています。

### 「インタフェースの設定」画面の表示方法

- 1 「[プリンタ]」キーを押してください。
- 2 「[▲]」キーまたは「[▼]」キーを押して、「メニュー」を選択してください。



- 3 「[OK]」キーを押してください。
- 4 「[▲]」キーまたは「[▼]」キーを押して、「インタフェース」を選択してください。



- 5 「[OK]」キーを押してください。「インタフェースの設定」画面が表示されます。以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

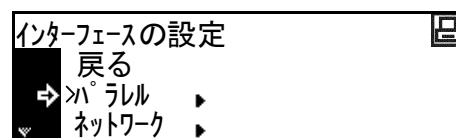
## パラレルインタフェースの設定

本機のパラレルインタフェースは双方向および高速モードに対応しています。本体操作部から設定できるパラレルインタフェースの送受信モードは、次のとおりです。

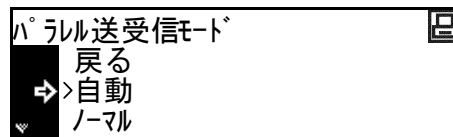
モード	説明
自動	接続したコンピュータによって自動的にモードを切り替えます。通常はこの設定のまま変更する必要はありません。
ノーマル	セントロニクスインタフェースによって標準の通信方法を行います。
高速	本機とコンピュータの間を高速データ転送することが可能です。(本機をワークステーションに接続した時に正しく印刷できない場合は、このモードを選択してください)
ニブル (高速)	IEEE1284 規格に準拠した高速転送スピードで、データの送受信を行います。

参考 IEEE1284 規格に準拠したパラレルプリンタケーブルをお使いください。

- 1 「インタフェースの設定」画面を表示させてください。(2-16 ページの「[インタフェースの設定](#)」画面の表示方法参照)
- 2 「[▲]」キーまたは「[▼]」キーを押して、「パラレル」を選択してください。
- 3 「[OK]」キーを押してください。



- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、パラレル  
インタフェースの送受信モードを選択してくだ  
さい。



- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## ネットワークの設定

ネットワーク印刷を行うためには、ネットワークの設定が必要です。ここでは、ネット  
ワーク機能を使用するために必要な設定について説明します。

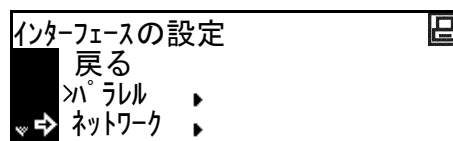
**参考** IP Address を設定する前に、ネットワーク管理者に取得を依頼して、あらかじめ準備し  
ておいてください。

### NetWare Frame の設定

NetWare ネットワークに接続する場合に「オン」にします。

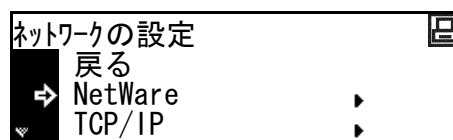
- 1 「インタフェースの設定」画面を表示させてください。(2-16 ページの「[インタフェース  
の設定](#)」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ネット  
ワーク」を選択してください。



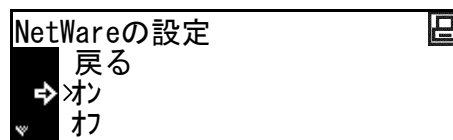
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、  
「NetWare」を選択してください。



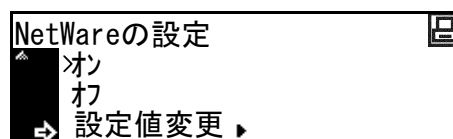
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」  
または「オフ」を選択してください。



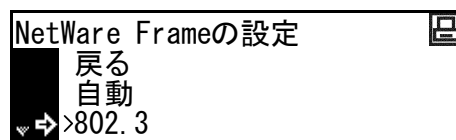
- 7 [OK] キーを押してください。「オン」を選択した場合は「設定値変更」が表示されま  
す。

- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「設定値  
変更」を選択してください。



- 9 [OK] キーを押してください。

- 10 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、フレームモードを選択してください。



- 11 [OK] キーを押してください。

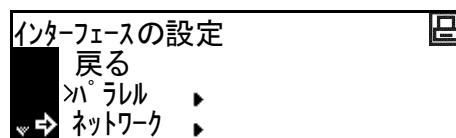
- 12 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

#### EtherTalk の設定

本機を Apple Macintosh に接続して使用する場合は、EtherTalk を「オン」に設定します。

- 1 「インタフェースの設定」画面を表示させてください。(2-16 ページの「[インタフェースの設定](#)」[画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ネットワーク」を選択してください。



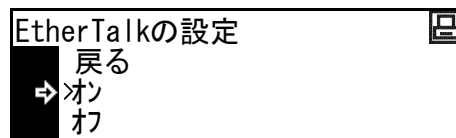
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「EtherTalk」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

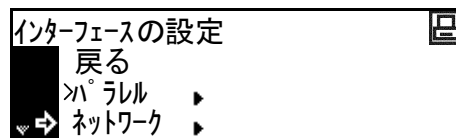
- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

#### TCP/IP の設定

TCP/IP で Windows ネットワークなどに接続する場合、TCP/IP を「オン」に設定します。

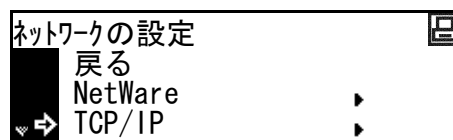
- 1 「インタフェースの設定」画面を表示させてください。(2-16 ページの「[インタフェースの設定](#)」[画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ネットワーク」を選択してください。



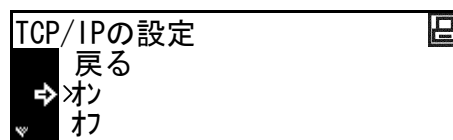
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「TCP/IP」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

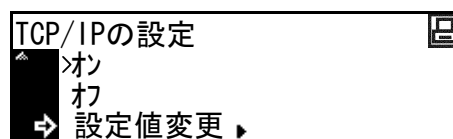
### DHCP の設定

本機は DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) に対応しています。

DHCP を使用する場合は DHCP を「オン」に設定します。

- 1 **TCP/IP の設定** の手順 1 ～ 5 を参照して「TCP/IP の設定」画面を表示させてください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「設定値変更」を選択してください。



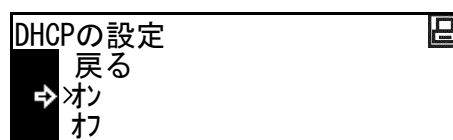
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「DHCP」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

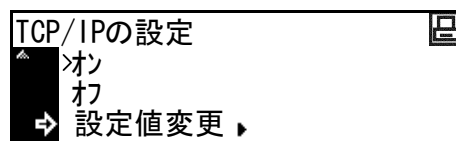
### IP Address の設定

本機の IP Address を設定します。

- 参考
- 設定する IP Address は、運用される環境によって異なります。あらかじめネットワーク管理者にご確認ください。
  - 以下の手順で IP Address を手動で設定する場合は、DHCP の設定を「オフ」、TCP/IP の設定を「オン」に設定してください。

- 1 TCP/IP の設定の手順 1 ～ 5 を参照して「TCP/IP の設定」画面を表示させてください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「設定値変更」を選択してください。



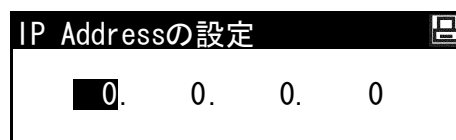
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「IP Address」を選択してください。

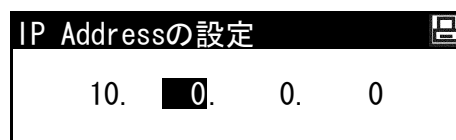


- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 テンキーを使って IP Address を入力します。反転表示されている最初の 3 桁のアドレスを入力してください。



- 7 [>] キーを押してください。反転表示されている次の 3 桁のアドレスを入力してください。



- 8 同様に残りのアドレスを入力してください。

- 9 [OK] キーを押してください。

続けて、Subnet Mask を設定します。

#### Subnet Mask の設定

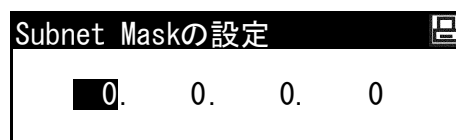
上記手順 9 の続きから Subnet Mask を設定します。

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Subnet Mask」を選択してください。



- 2 [OK] キーを押してください。

- 3 IP Address の設定の手順 6 ～ 8 と同様に、アドレスを入力してください。



- 4 [OK] キーを押してください。

続けて、Default Gateway を設定します。



## Default Gateway の設定

上記手順 4 の続きから Default Gateway を設定します。

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Gateway」を選択してください。



- 2 [OK] キーを押してください。

- 3 IP Address の設定の手順 6 ～ 8 と同様に、アドレスを入力してください。



- 4 [OK] キーを押してください。

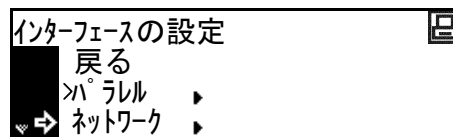
- 5 すべての設定が完了したら、[リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## ネットワークステータスページの印刷

ステータスページを印刷した際に、続けてネットワークステータスページも印刷することができます。

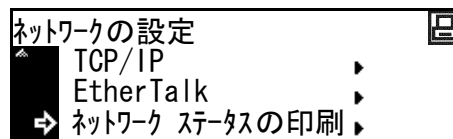
- 1 「インタフェース」画面を表示させてください。(2-16 ページの「[インタフェースの設定](#)」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ネットワーク」を選択してください。



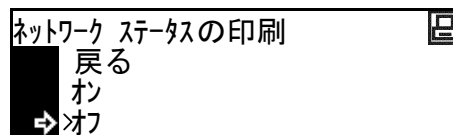
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ネットワークステータスの印刷」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## エミュレーションの設定

参考 エミュレーションはインタフェースごとに設定できます。

### エミュレーションモードの選択

設定できるエミュレーション：PCL6、KC-GL、KPD L、KPD L（自動）、FMPR-359F1、EPSON VP-1000、IBM5577、PCPR201/65A

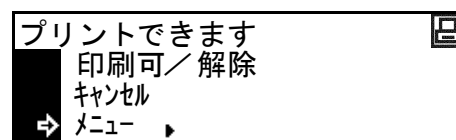
「KC-GL」を設定すると、ペンの太さとページのサイズを設定できます。

「KPD L（自動）」を設定すると、印刷するデータに応じて KPD L と代替エミュレーションを自動的に切り替えます。

「KPD L」、「KPD L（自動）」を設定すると、印刷中にエラーが発生した際にその内容を印刷することができます。

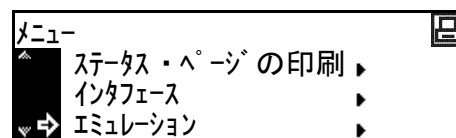
1 [プリンタ] キーを押してください。

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



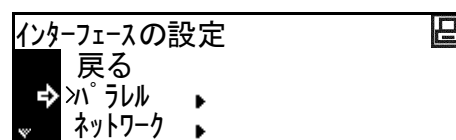
3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「エミュレーション」を選択してください。



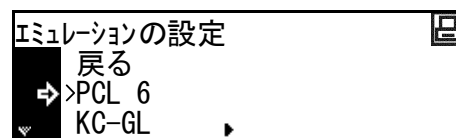
5 [OK] キーを押してください。

6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するインタフェースを選択してください。



7 [OK] キーを押してください。

8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するエミュレーションを選択してください。



9 [OK] キーを押してください。

「KC-GL」を設定した場合は、[KC-GL のペンの太さの設定](#)の設定を行ってください。

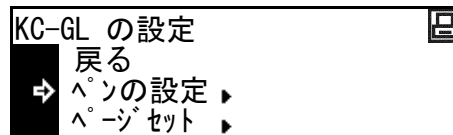
「KPD L」または「KPD L（自動）」を設定した場合は、[KPD L エラーの印刷設定](#)を行ってください。

「KPD L（自動）」を設定した場合は、[KPD L（自動）の代替エミュレーションの選択](#)を行ってください。

## KC-GL のペンの太さの設定

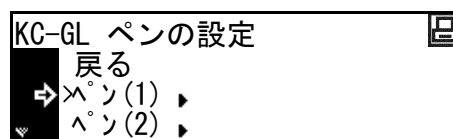
KC-GL エミュレーションを選択すると、8種類のペンの太さとページのサイズを設定できます。[エミュレーションモードの選択](#)の手順9の続きから、以下の手順で設定してください。

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ペンの設定」を選択してください。



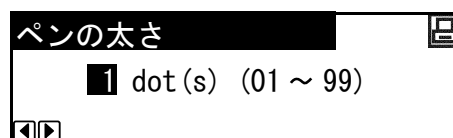
- 2 [OK] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するペンを選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [<] キーまたは [>] キーを押して、太さ (dot) を入力してください。

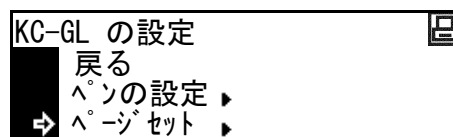


- 6 [OK] キーを押してください。

- 7 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「戻る」を選択してください。

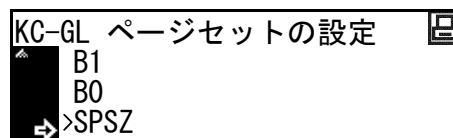
- 8 [OK] キーを押してください。

- 9 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ページセット」を選択してください。



- 10 [OK] キーを押してください。

- 11 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、ページのサイズを選択してください。



**参考** 「SPSZ」はプリスクライブ SPSZ コマンドで指定されたサイズです。プリスクライブコマンドの詳細は[プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル](#)を参照してください。

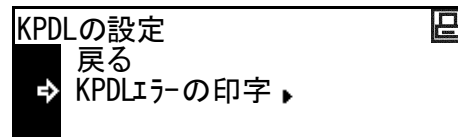
- 12 [OK] キーを押してください。

- 13 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## KPDL エラーの印刷設定

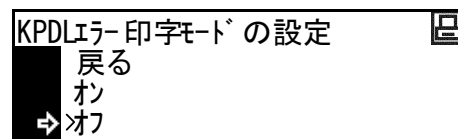
KPDL エミュレーションモードで印刷中にエラーが発生した際、その内容を印刷することができます。[エミュレーションモードの選択](#)の手順9の続きから、以下の手順で設定してください。

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「KPDL エラー印字モードの設定」を選択してください。



- 2 [OK] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。「オン」を設定すると、エラー発生時にその内容を印刷します。



- 4 [OK] キーを押してください。

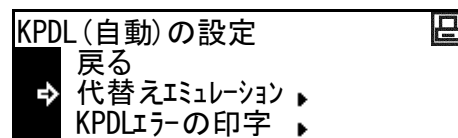
- 5 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## KPDL（自動）の代替エミュレーションの選択

KPDL（自動）エミュレーションを選択すると、印刷するデータに応じて KPDL と代替エミュレーションを自動的に切り替えます。[エミュレーションモードの選択](#)の手順9の続きから、以下の手順で設定してください。

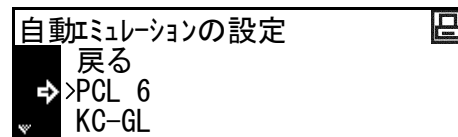
設定できるエミュレーション：PCL6、KC-GL、FMPR-359F1、EPSON VP-1000、IBM5577、PCPR201/65A

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「代替エミュレーション」を選択してください。



- 2 [OK] キーを押してください。

- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するエミュレーションを選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。

- 5 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## フォントの設定

現在選択されているインタフェースの初期フォント（ANK フォント・漢字フォント）を選択することができます。内蔵フォント以外にもオプションのメモ리카ードにあるフォントなどを選択することもできます。

フォントの設定では次の項目の設定ができます。

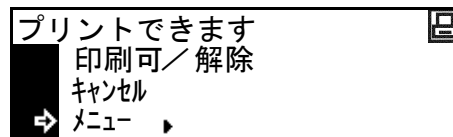
- ANK フォントの設定
- ANK フォントのサイズ設定
- Courier/Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定
- Courier/Letter Gothic フォントの設定
- 漢字フォントの設定
- 漢字フォントのサイズ設定
- 漢字フォントの文字ピッチの設定
- コードセットの選択
- フォントリストの印刷

**参考** フォントはインタフェースごとに設定できます。

### 「フォントの設定」画面の表示方法

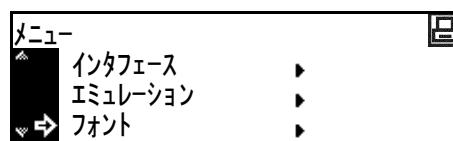
1 [プリンタ] キーを押してください。

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



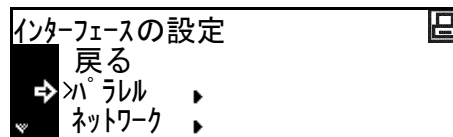
3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「フォント」を選択してください。



5 [OK] キーを押してください。

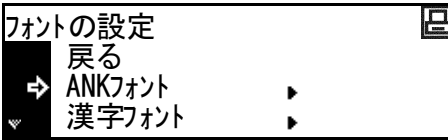

6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するインタフェースを選択してください。



7 [OK] キーを押してください。「フォントの設定」画面が表示されます。

以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

## ANK フォントの設定

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)
  - 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ANK フォント」を選択してください。
 
  - 3 [OK] キーを押してください。
- 参考 内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するフォントを選択してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、フォントの ID を選択してください。
 
  - 5 [OK] キーを押してください。フォント番号が表示されます。
 

フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類によって次のように表示されます。

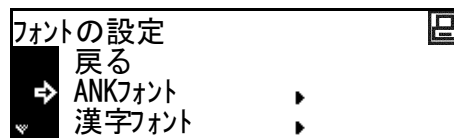
表示	説明
I	内蔵欧文フォント
S	欧文ダウンロードフォント
M	メモ리카ード内の欧文フォント
H	RAM ディスクまたはオプションのハードディスク内の欧文フォント
  - 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、フォント番号を入力してください。内蔵フォントの番号は 2-31 ページの[フォントリストの印刷](#)を参照してください。
  - 7 [OK] キーを押してください。
  - 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## ANK フォントのサイズ設定

初期フォントに設定した ANK フォントのサイズを設定します。初期フォントを Courier フォントまたは Letter Gothic フォントに設定している場合は、このメニューは表示されずに文字ピッチの設定が表示されます。

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

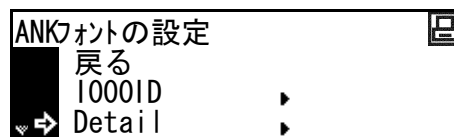
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ANK フォント」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

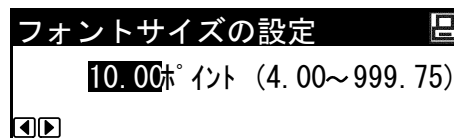
**参考** 内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するフォントを選択してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Detail」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、文字のサイズを入力してください。4 ~ 999.75 ポイントの範囲で設定できます。



- 7 [OK] キーを押してください。

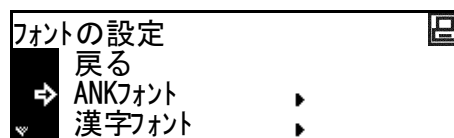
- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## Courier/Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定

Courier または Letter Gothic フォントの文字ピッチの設定ができます。

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

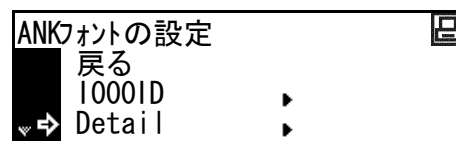
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ANK フォント」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

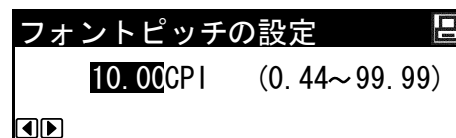
参考 内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するフォントを選択してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Detail」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、文字のピッチを入力してください。0.44 ~ 99.99 cpi の範囲で設定できます。



- 7 [OK] キーを押してください。

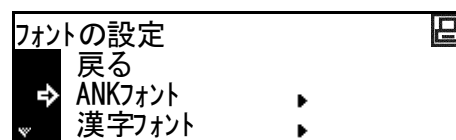
- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

### Courier/Letter Gothic フォントの設定

Courier/Letter Gothic フォントの太さを、2 種類から選択できます。ここでは、Courier フォントの太さを変える例を説明します。

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

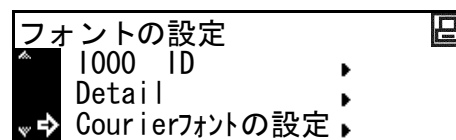
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ANK フォント」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

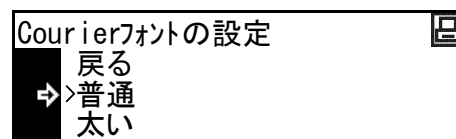
参考 内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「標準フォント」を選択してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Courier フォントの設定」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「普通」または「太い」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

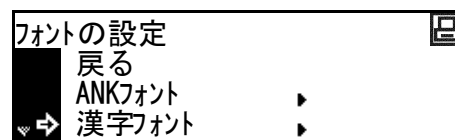


- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 漢字フォントの設定

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「漢字フォント」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

**参考** 内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するフォントを選択してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、フォントの ID を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。フォント番号が表示されます。

フォント番号の前に表示されるアルファベットは、フォントの種類によって次のように表示されます。

表示	説明
IJ	内蔵日本語フォント
SJ	日本語ダウンロードフォント
MJ	メモ리카ード内の日本語フォント
HJ	RAM ディスクまたはオプションのハードディスク内の日本語フォント

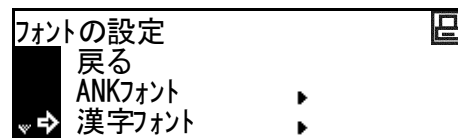
- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、フォント番号を入力してください。内蔵フォントの番号は 2-31 ページの [フォントリストの印刷](#) を参照してください。
- 7 [OK] キーを押してください。
- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 漢字フォントのサイズ設定

初期フォントに設定した漢字フォントのサイズを設定します。初期フォントを等幅フォントに設定している場合は、このメニューは表示されずに文字ピッチの設定が表示されます。

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「漢字フォント」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

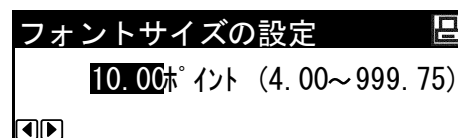
参考 内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するフォントを選択してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Detail」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、文字のサイズを入力してください。4 ~ 999.75 ポイントの範囲で設定できます。



- 7 [OK] キーを押してください。

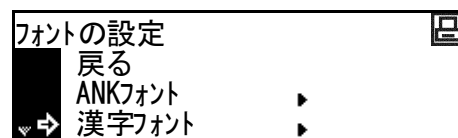
- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 漢字フォントの文字ピッチの設定

初期フォントに設定した等幅の漢字フォントの文字ピッチを設定します。

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「漢字フォント」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

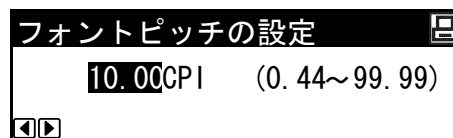
参考 内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「標準フォント」または「オプションフォント」を選択する画面が表示されます。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するフォントを選択してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Detail」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、文字のピッチを入力してください。0.44 ~ 99.99 cpi の範囲で設定できます。



- 7 [OK] キーを押してください。

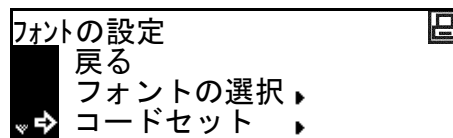
- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## コードセットの選択

エミュレーションが PCL 6 の場合、コードセットを選択できます。

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「コードセット」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するコードセットを選択してください。



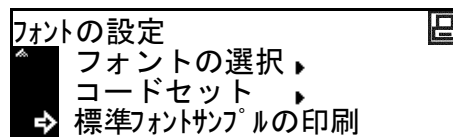
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## フォントリストの印刷

- 1 「フォントの設定」画面を表示させてください。(2-25 ページの「フォントの設定」画面の表示方法参照)

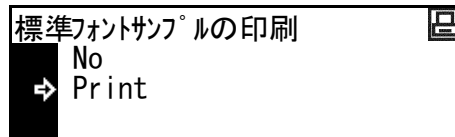
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「標準フォントサンプルの印刷」を選択してください。



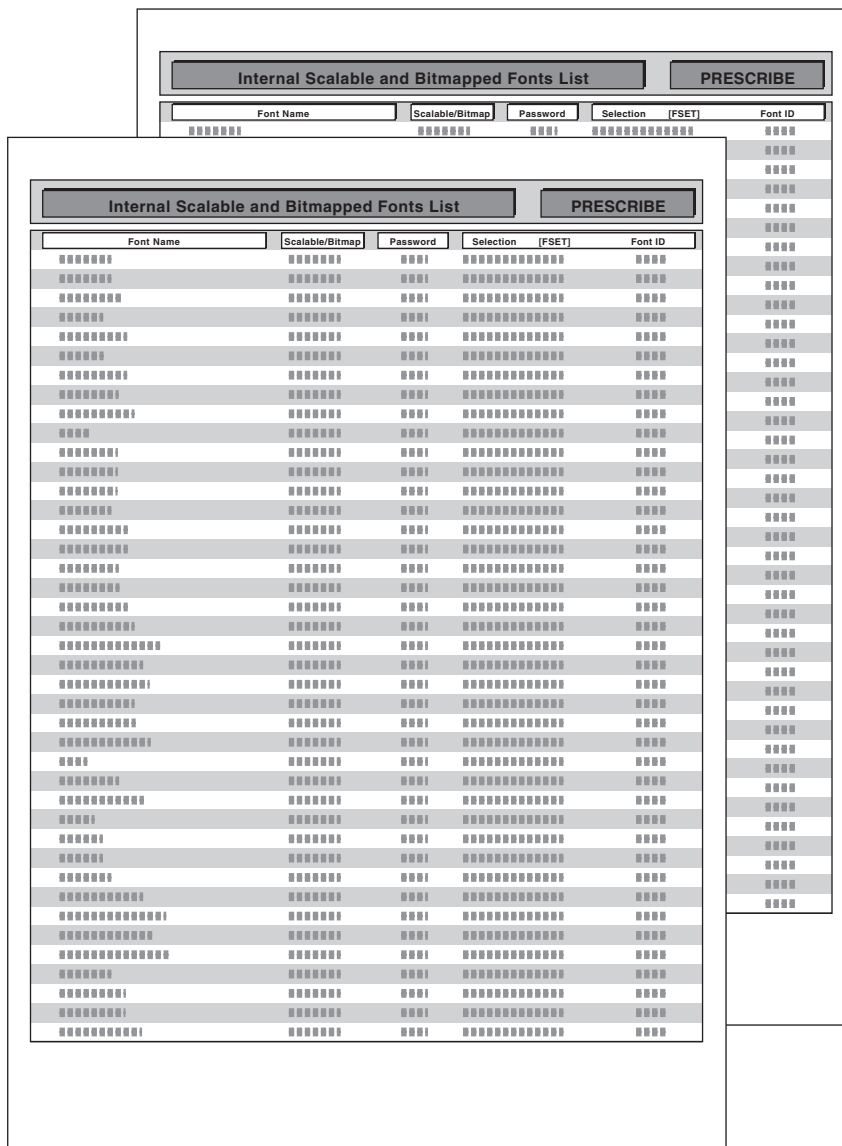
参考 内蔵フォント以外のオプションフォントが本機にある場合は、「オプションフォントサンプルの印刷」も選択できます。

3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Print」を選択してください。



5 [OK] キーを押してください。フォントリストの印刷が開始されます。



## 印刷環境の設定

印刷環境では次の項目の設定ができます。

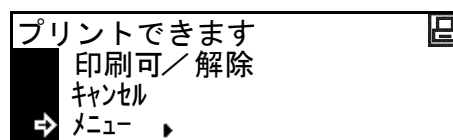
- コピー枚数の設定
- 縮小印刷の設定
- 印刷の向きの設定
- ページ保護モードの設定
- LF（改行）動作の設定
- CR（復帰）動作の設定
- ワイド A4 の設定

**参考** 印刷環境はインタフェースごとに設定できます。

「印刷環境の設定」画面の表示方法

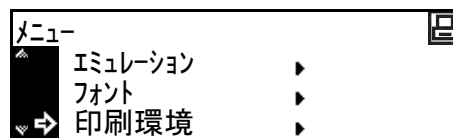
**1** [プリンタ] キーを押してください。

**2** [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



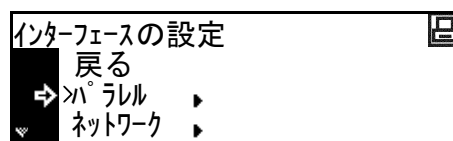
**3** [OK] キーを押してください。

**4** [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「印刷環境」を選択してください。



**5** [OK] キーを押してください。

**6** [▲] キーまたは [▼] キーを押して、設定するインタフェースを選択してください。



**7** [OK] キーを押してください。「印刷環境の設定」画面が表示されます。

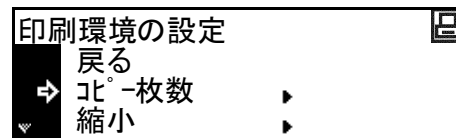
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

## コピー枚数の設定

現在選択しているインタフェースから印刷する枚数を設定できます。1 ～ 999 枚まで設定できます。

- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。(2-33 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「コピー枚数」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、コピー枚数を入力してください。1 ～ 999 枚の範囲で設定できます。



- 5 [OK] キーを押してください。

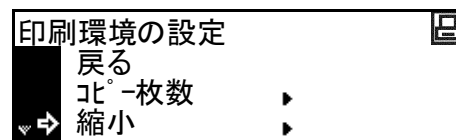
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 縮小印刷の設定

用紙サイズ（原稿サイズ）と出力サイズを指定すると、固定倍率で縮小して、指定した出力サイズの用紙に印刷します。

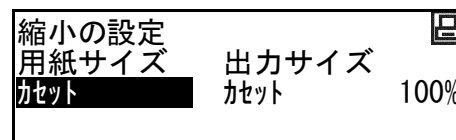
- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。(2-33 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「縮小」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙サイズを選択してください。



- 5 [>] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、出力サイズを選択してください。縮小倍率を自動設定し、表示します。



- 7 [OK] キーを押してください。

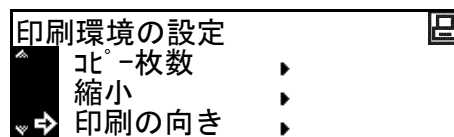
- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 印刷の向きの設定

印刷方向をポートレート（タテ）またはランドスケープ（ヨコ）のどちらか選択できます。

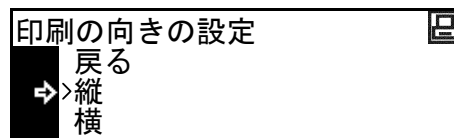
- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。（2-33 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「印刷の向き」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「縦」または「横」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

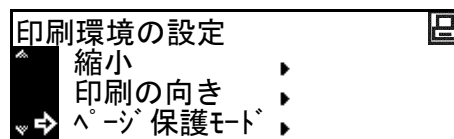
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## ページ保護モードの設定

プリンタのメモリを効率よく保持するため、初期設定では「自動」に設定されています。通常このメニューは表示されません。プリンタのメモリ不足に起因してプリントオーバーランエラーが発生すると、「ページ保護モード」が強制的に「保護」になります。プリントオーバーランエラーが発生した後は、この設定を必ず「自動」に戻しておいてください。

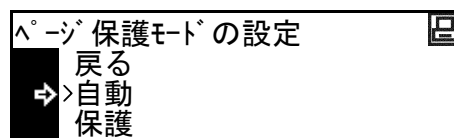
- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。（2-33 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ページ保護モード」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

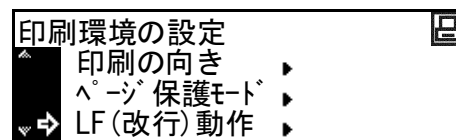
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## LF（改行）動作の設定

改行コード（文字コード 0AH）を受信したときの動作を設定します。

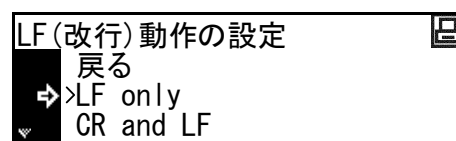
- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。（2-33 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「LF（改行）動作」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「LF only」、「CR and LF」または「Ignore LF」を選択してください。



「LF only」：改行を行います。

「CR and LF」：改行および復帰を行います。

「Ignore LF」：改行を行いません。

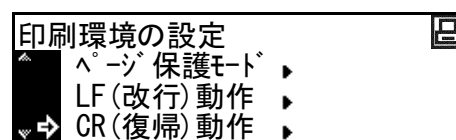
- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## CR（復帰）動作の設定

復帰コード（文字コード 0DH）を受信したときの動作を設定します。

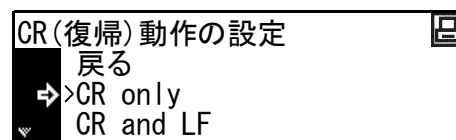
- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。（2-33 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「CR（復帰）動作」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「CR only」、「CR and LF」または「Ignore CR」を選択してください。



「CR only」：復帰を行います。

「CR and LF」：復帰および改行を行います。

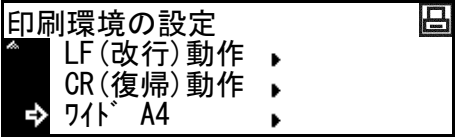

「Ignore CR」：復帰を行いません。

- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。



## ワイド A4 の設定

A4 サイズの印刷領域を拡大します。

- 1 「印刷環境の設定」画面を表示させてください。(2-33 ページの「印刷環境の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ワイド A4」を選択してください。
 
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。
 
- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 印刷品質の設定

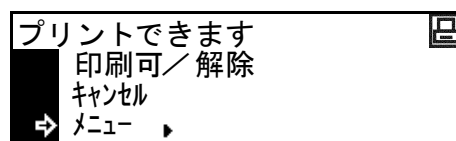
印刷品質の設定では次の項目が設定できます。

- KIR モードの設定
- エコプリントの設定
- 解像度の設定
- 印刷濃度の設定

### 「プリント品質の設定」画面の表示方法

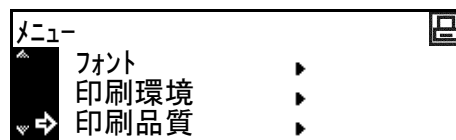
- 1 「[プリンタ] キーを押してください。

- 2 「[▲] キーまたは[▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



- 3 「[OK] キーを押してください。

- 4 「[▲] キーまたは[▼] キーを押して、「印刷品質」を選択してください。



- 5 「[OK] キーを押してください。「プリント品質の設定」画面が表示されます。

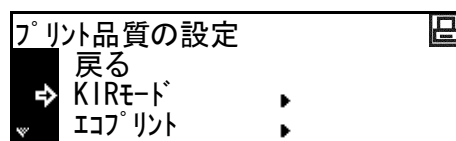
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

## KIR モードの設定

スムージング処理により 2400 dpi 相当 × 600 dpi の印刷品質を実現します。

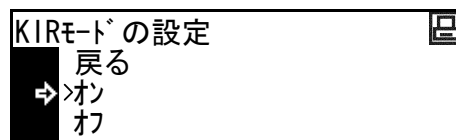
- 1 「プリント品質の設定」画面を表示させてください。(2-38 ページの「[プリント品質の設定](#)」画面の表示方法参照)

- 2 「[▲] キーまたは[▼] キーを押して、「KIR モード」を選択してください。



- 3 「[OK] キーを押してください。

- 4 「[▲] キーまたは[▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。



- 5 「[OK] キーを押してください。

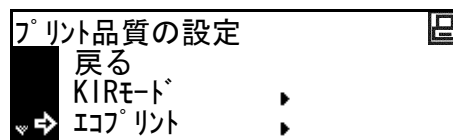
- 6 「[リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## エコプリントの設定

トナーを節約して印刷できます。高品質な印刷を必要としない試し印刷のときなどに設定してください。

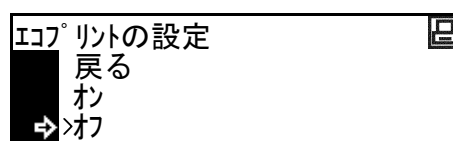
- 1 「プリント品質の設定」画面を表示させてください。(2-38 ページの「[プリント品質の設定](#)」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「エコプリントモード」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

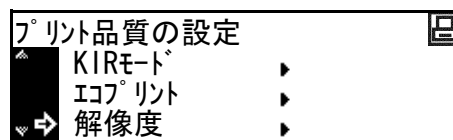
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 解像度の設定

本機は 300 dpi、600 dpi、FAST1200 mode の 3 種類の解像度を設定できます。

- 1 「プリント品質の設定」画面を表示させてください。(2-38 ページの「[プリント品質の設定](#)」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「解像度」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「FAST1200 mode」、「600 dpi」または「300 dpi」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

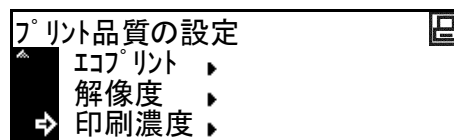
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

### 印刷濃度の設定

印刷濃度は 1（薄い）～ 5（濃い）までの 5 段階の調整ができます。

- 1 「プリント品質の設定」画面を表示させてください。（2-38 ページの「[プリント品質の設定](#)」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「印刷濃度」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、印刷濃度を設定してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## メモ리카ードの操作

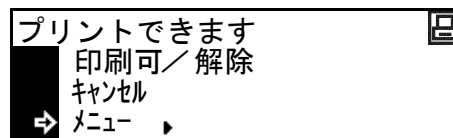
本機はオプションのメモ리카ードを使用して、以下の操作が可能です。

- フォントの読み込み
- マクロデータの読み込み
- データの読み込み
- プログラムの読み込み
- データの書き込み
- データの削除
- フォントデータの削除
- プログラムデータの削除
- マクロデータの削除
- 言語の削除
- メモ리카ードのフォーマット
- パーティションリストの印刷

### 「メモ리카ードの設定」画面の表示方法

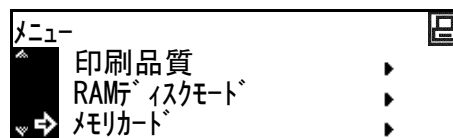
1 「[プリンタ]」キーを押してください。

2 「[▲]」キーまたは「[▼]」キーを押して、「メニュー」を選択してください。



3 「[OK]」キーを押してください。

4 「[▲]」キーまたは「[▼]」キーを押して、「メモ리카ード」を選択してください。



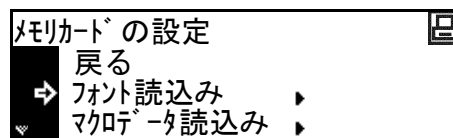
5 「[OK]」キーを押してください。「メモ리카ードの設定」画面が表示されます。

以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

## フォントの読み込み

1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)

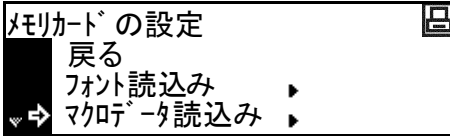
2 「[▲]」キーまたは「[▼]」キーを押して、「フォント読み込み」を選択してください。



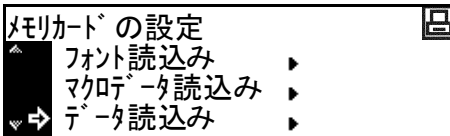
3 「[OK]」キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「OK」を選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。メモリカードからフォントが読み込まれます。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

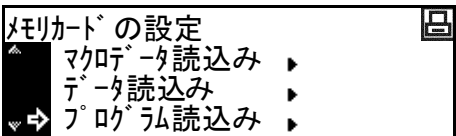
### マクロデータの読み込み

- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「メモリカードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「マクロデータ読み込み」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「OK」を選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。メモリカードからマクロデータが読み込まれます。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

### データの読み込み

- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「メモリカードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「データ読み込み」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、読み込むデータを選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。メモリカードからデータが読み込まれます。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

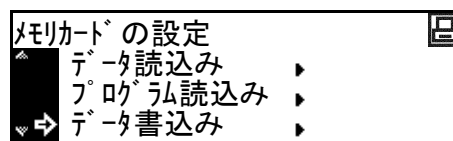
### プログラムの読み込み

- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「メモリカードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「プログラム読み込み」を選択してください。

- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、読み込むプログラムを選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。メモ리카ードからプログラムが読み込まれます。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## データの書き込み

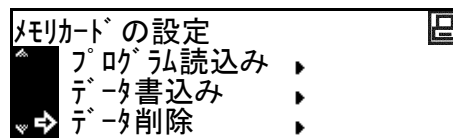
- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「[メモ리카ードの設定](#)」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「データ書き込み」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「OK」を選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。「印刷可 / 解除」と「キャンセル」が表示されます。



- 参考 このときに、「キャンセル」を選択して [OK] キーを押すと、データの書き込みは行われません。
- 6 この状態で、コンピュータから本機にデータを送ってください。  
データを受信するとメッセージ表示のメッセージが「データ処理中です」に変わり、受信が終了すると「ページが残っています」に変わります。
  - 7 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「印刷可 / 解除」を選択してください。
  - 8 [OK] キーを押してください。メモ리카ードにデータが書き込まれます。

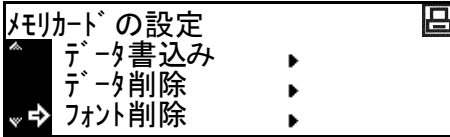
## データの削除

- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「[メモ리카ードの設定](#)」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「データ削除」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、削除するデータを選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。メモ리카ードからデータが削除されます。

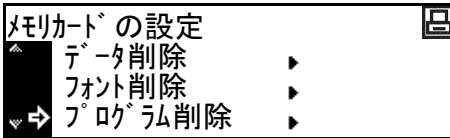


- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

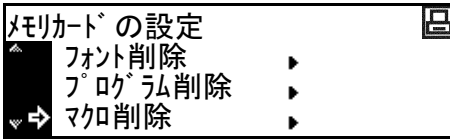
#### フォントデータの削除

- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「フォント削除」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、削除するフォントを選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。メモ리카ードからフォントが削除されます。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

#### プログラムデータの削除

- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「プログラム削除」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、削除するプログラムを選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。メモ리카ードからプログラムが削除されます。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

#### マクロデータの削除

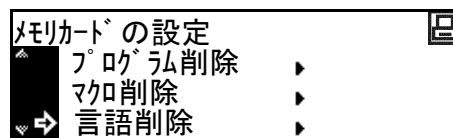
- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「マクロ削除」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、削除するマクロデータを選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。メモリカードからマクロデータが削除されます。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 言語の削除

- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「[メモリカードの設定](#)」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「言語削除」を選択してください。

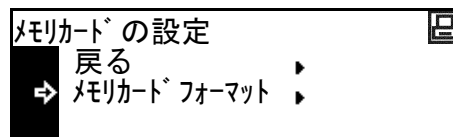


- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、削除する言語データを選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。メモリカードから言語データが削除されます。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## メモリカードのフォーマット

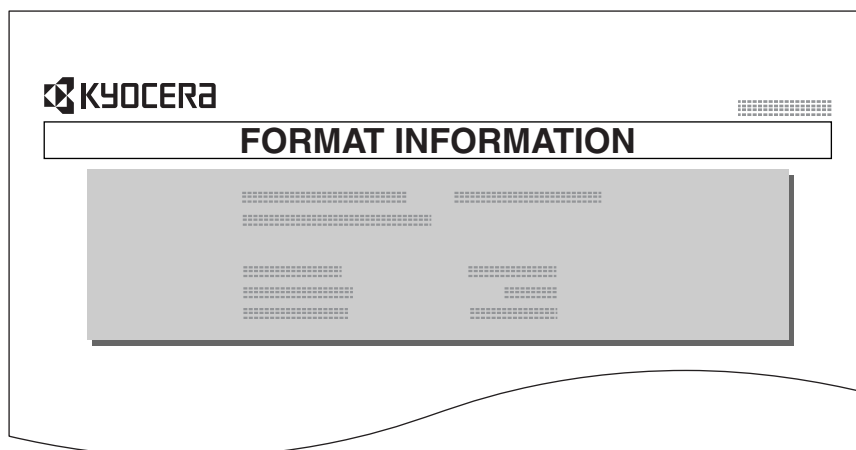
**参考** メモリカードのフォーマットをする場合は必ず本機で行ってください。他の機器でフォーマットされたメモリカードは使用できません

- 1 「メモリカードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「[メモリカードの設定](#)」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メモリカードフォーマット」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「OK」を選択してください。

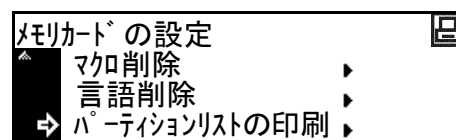
- 5 [OK] キーを押してください。メモ리카ードのフォーマットを開始します。フォーマットが終了すると、フォーマットインフォメーションが出力されます。



### パーティションリストの印刷

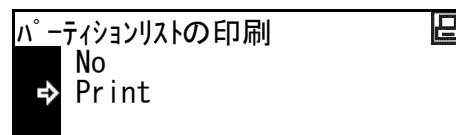
- 1 「メモ리카ードの設定」画面を表示させてください。(2-41 ページの「メモ리카ードの設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「パーティションリストの印刷」を選択してください。

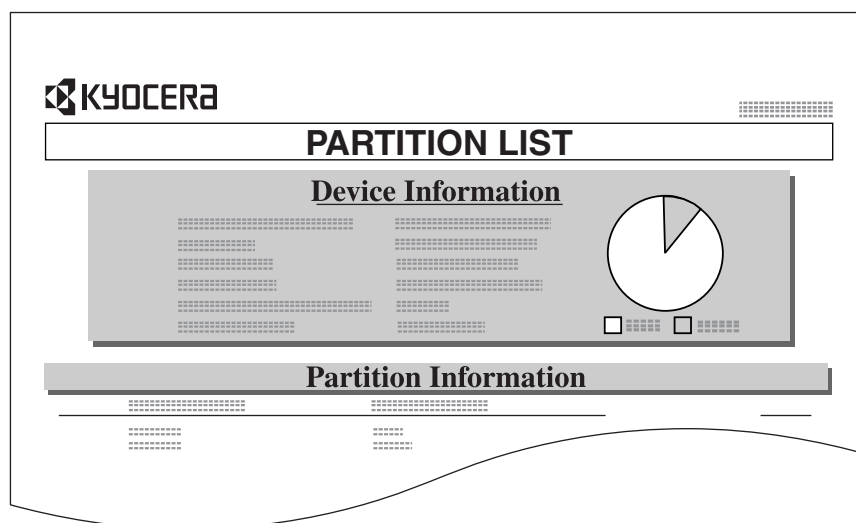


- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Print」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。パーティションリストが印刷されます。



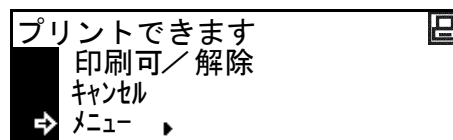
## ハードディスクの操作

本機はオプションのハードディスクを使用して、以下の操作が可能です。

- データの読み込み
- プログラムの読み込み
- データの書き込み
- データの削除
- フォントデータの削除
- プログラムデータの削除
- マクロデータの削除
- 言語の削除
- ハードディスクのフォーマット
- パーティションリストの印刷

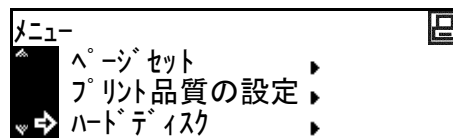
1 [プリンタ] キーを押してください。

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ハードディスク」を選択してください。



5 [OK] キーを押してください。

各項目の操作手順はメモリカードの操作手順と同様です。2-41 ページの[メモリカードの操作](#)を参照してください。

## RAM ディスクの設定

### RAM ディスク機能

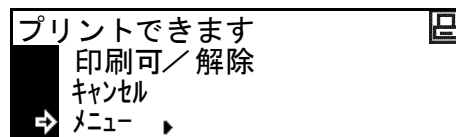
本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクとはメモリの一部を利用したバーチャルディスク装置で、プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷に要する全体時間の短縮）、データの保存や読み出しが行えます。また、e-MPS 機能（2-8 ページ参照）が使用できます。

- ご注意
- RAM ディスクに書き込まれたデータは、本機をリセットしたりメインスイッチを OFF（○）にした場合には消去されますのでご注意ください。
  - RAM ディスクは、ユーザ使用可能メモリの中から設定されます。したがって RAM ディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリ不足が発生したりする場合がありますのでご注意ください。

RAM ディスク機能は、初期設定では無効になっています。RAM ディスク機能を使用する場合は、以降の設定を行ってください。

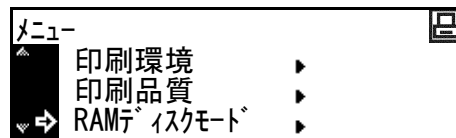
- 1 [プリンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



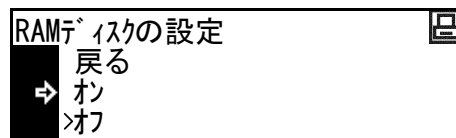
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「RAM ディスクモード」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

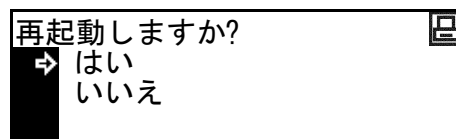
- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。「設定値変更」が表示されます。

- 8 [リセット] キーを押してください。

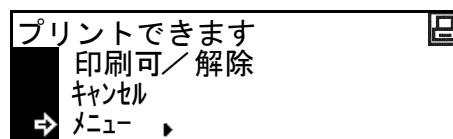
- 9 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「はい」を選択してください。



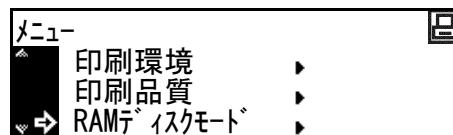
- 10 [OK] キーを押してください。再起動を行います。

## RAM ディスクの操作

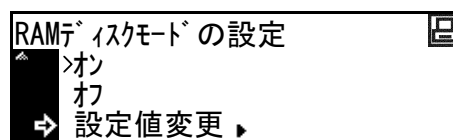
- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「RAM ディスクモード」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「設定値変更」を選択してください。

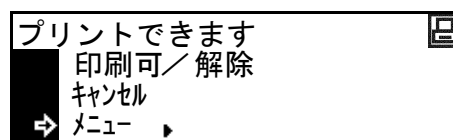


- 7 [OK] キーを押してください。

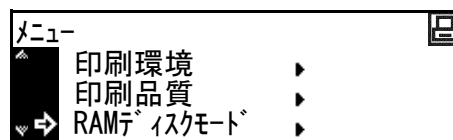
各項目の操作手順はメモリカードの操作手順と同様です。2-41 ページの[メモリカードの操作](#)を参照してください。

## RAM ディスクサイズの設定

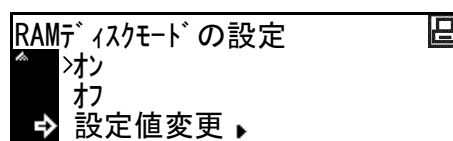
- 1 [プリンタ] キーを押してください。
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「RAM ディスクモード」を選択してください。

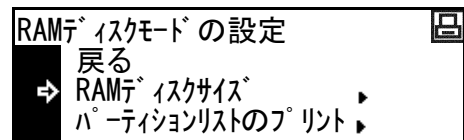


- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「設定値変更」を選択してください。



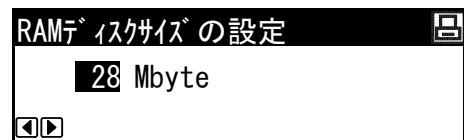
- 7 [OK] キーを押してください。

- 8    [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「RAM  
ディスクサイズ」を選択してください。



- 9    [OK] キーを押してください。

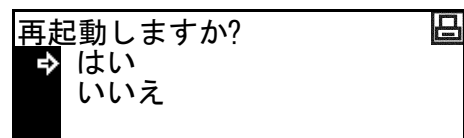
- 10   [＜] キーまたは [＞] キーを押して、RAM  
ディスクサイズを入力してください。1 ～  
1024 MByte の範囲で設定できます。



- 11   [OK] キーを押してください。

- 12   [リセット] キーを押してください。

- 13   [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「はい」  
を選択してください。



- 14   [OK] キーを押してください。再起動を行います。

## 用紙の設定

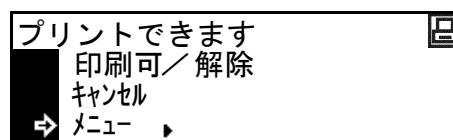
用紙の設定では次の項目が設定できます。

- 手差しモードの設定
- 給紙元の設定
- 両面印刷モードの設定
- 排紙先の設定
- A4/Letter 共通使用の設定

### 「用紙の設定」画面の表示方法

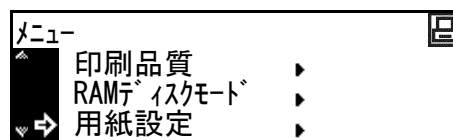
1 「プリンタ」キーを押してください。

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「用紙設定」を選択してください。



5 [OK] キーを押してください。「用紙の設定」画面が表示されます。

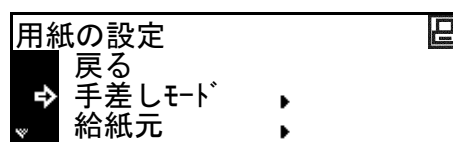
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

## 手差しモードの設定

「優先」を選択した場合、手差しに用紙がセットされているときは、手差しから給紙します。

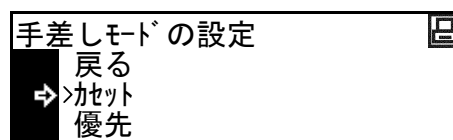
1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(2-51 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「手差しモード」を選択してください。



3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「カセット」または「優先」を選択してください。



5 [OK] キーを押してください。

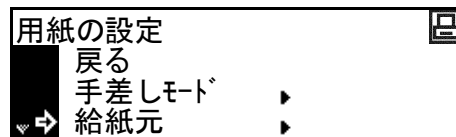
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 給紙元の設定

最初に選択されている給紙元を設定します。

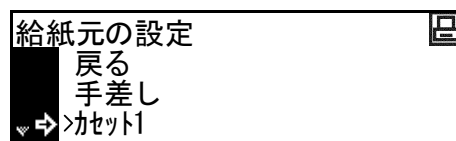
- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(2-51 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「給紙元」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、給紙元を選択してください。



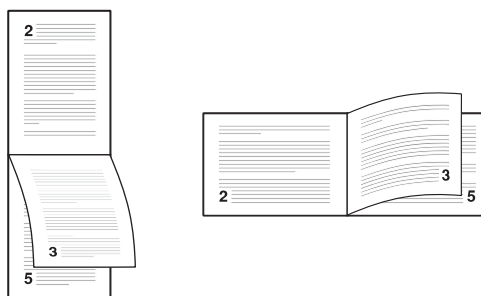
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

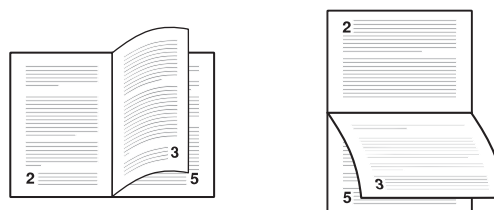
## 両面印刷モードの設定

両面印刷時の、仕上がりのとじ方向を設定します。

設定	とじ方向
短辺とじ	縁の短い側をとじます。

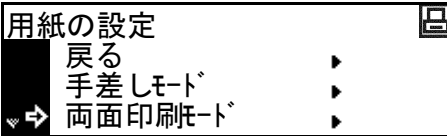
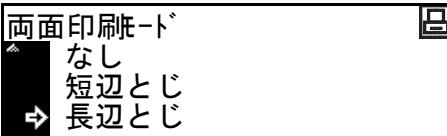


長辺とじ	縁の長い側をとじます。
------	-------------



参考 オプションの両面ユニットを装着している場合に表示されます。



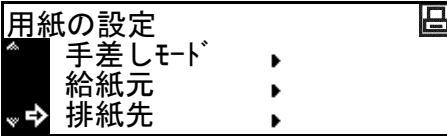
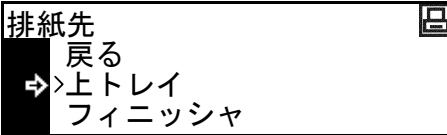
- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(2-51 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「両面印刷モード」を選択してください。
 
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「長辺とじ」または「短辺とじ」を選択してください。
 
- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 排紙先の設定

用紙の排紙先を設定します。

設定	排出先
上トレイ	本体の排紙トレイ
フィニッシャ	オプションのフィニッシャ
ジョブセパレータ	オプションのジョブセパレータ

参考 この設定は、オプションのフィニッシャまたはジョブセパレータを装着しているときに表示されます。

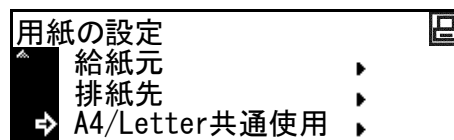
- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(2-51 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「排紙先」を選択してください。
 
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、排紙先を選択してください。
 
- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## A4/Letter 共通使用の設定

A4 と 8 1/2" × 11" (Letter) を共通使用可能なサイズとして設定することができます。

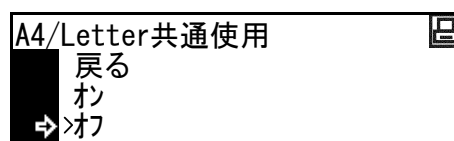
- 1 「用紙の設定」画面を表示させてください。(2-51 ページの「用紙の設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「A4/Letter 共通使用」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## その他の設定

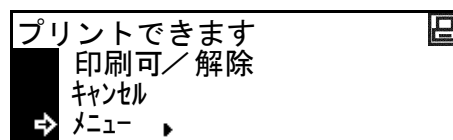
その他の設定では、次の設定ができます。

- 改ページ待ち時間の設定
- 受信データダンプ設定
- プリンタ機能のリセット
- リソース保護モードの設定
- 自動継続印刷の設定
- 両面印刷時のエラー検知設定
- ステープル時のエラー検知設定
- 印刷範囲の補正
- サービスステータスページの印刷

### 「その他の設定」画面の表示方法

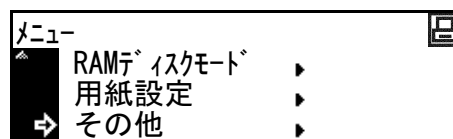
- 1 [プリンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「その他」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。「その他の設定」画面が表示されます。

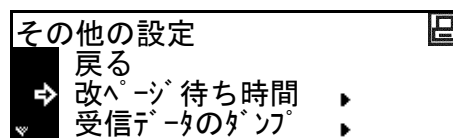
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

## 改ページ待ち時間の設定

本機はコンピュータから最後のデータを受け取ったあと、コンピュータからデータを終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページを行います。0 に設定すると、手動で「印刷可 / 解除」を選択するまで改ページを行いません。

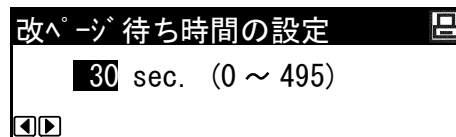
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。(2-55 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「改ページ待ち時間」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 【<】キーまたは【>】キーを押して、時間を設定してください。0～495秒（5秒単位）の範囲で設定できます。



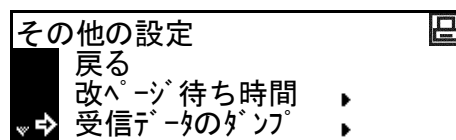
- 5 【OK】キーを押してください。
- 6 【リセット】キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 受信データダンプ設定

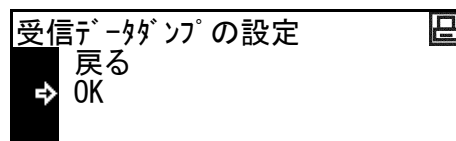
プログラムやファイルのデバックのために、本機が受け取ったデータを16進コード化して印刷します。

- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。（2-55ページの「その他の設定」画面の表示方法参照）

- 2 【▲】キーまたは【▼】キーを押して、「受信データのダンプ」を選択してください。

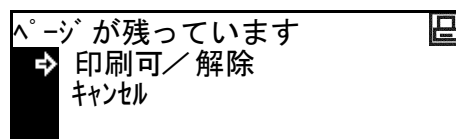


- 3 【OK】キーを押してください。
- 4 【▲】キーまたは【▼】キーを押して、「OK」を選択してください。



- 5 【OK】キーを押してください。「ページが残っています」が表示されます。
- 6 この状態で、本機へデータを送信してください。ダンプページが印刷されます。

- 7 印刷が終了したら【▲】キーまたは【▼】キーを押して、「印刷可/解除」を選択してください。



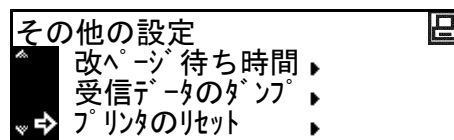
- 8 【OK】キーを押してください。
- 9 【リセット】キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## プリンタ機能のリセット

プリンタの一時的な設定（たとえば印刷方向やフォントなど）をリセットし、初期設定に戻します。

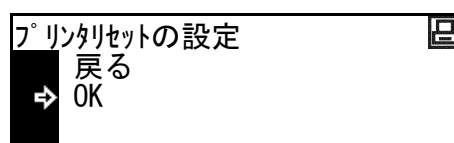
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。（2-55 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「プリンタのリセット」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「OK」を選択してください。



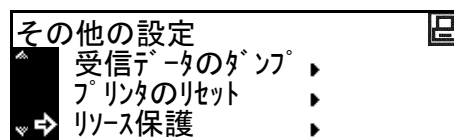
- 5 [OK] キーを押してください。プリンタ機能がリセットされます。

## リソース保護モードの設定

ダウンロードされているフォントやマクロなどのリソースデータを保護し、エミュレーションを切り替えても PCL リソースをメモリします。「保護」では、一時リソースは保護されませんが、「自動」では一時リソースも保護されます。

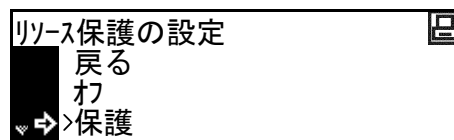
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。（2-55 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「リソース保護」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オフ」、「保護」または「自動」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 自動継続印刷の設定

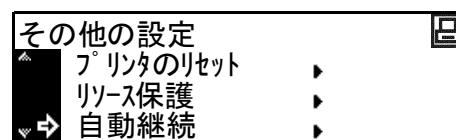
以下のエラーメッセージが表示された場合、復帰時間後にエラーを解除し印刷を継続することができます。(自動継続)

- ・ メモリオーバーフロー 解除を押して下さい
- ・ プリントオーバーラン GO を押して下さい
- ・ KPDL エラー / 解除を押して下さい
- ・ ファイルエラー / 解除を押して下さい
- ・ ハードディスクエラー 解除を押して下さい
- ・ RAM ディスクエラー 解除を押して下さい
- ・ メモリカードエラー 解除を押して下さい
- ・ 部門指定が違います GO を押して下さい
- ・ 印刷制限を超えました GO を押して下さい
- ・ アカウントエラー GO を押して下さい
- ・ 両面印刷できません GO を押して下さい
- ・ ステープルの針をセットし GO を押して下さい
- ・ e-MPS を保存できません GO を押して下さい

また、自動継続するまでの時間を設定することができます。

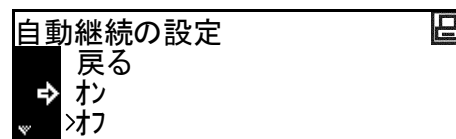
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。(2-55 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動継続」を選択してください。



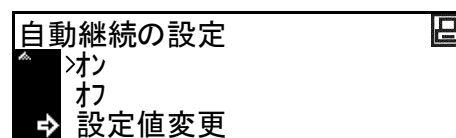
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。



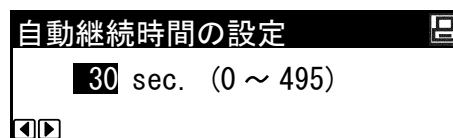
- 5 [OK] キーを押してください。「オン」を選択した場合は、「設定値変更」が表示されます。

- 6 自動継続するまでの時間を設定する場合は、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「設定値変更」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。「自動継続時間の設定」画面が表示されます。

- 8 [＜] キーまたは [＞] キーを押して、時間を入力してください。0 ～ 495 秒（5 秒単位）の範囲で設定できます。



- 9 [OK] キーを押してください。

- 10 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

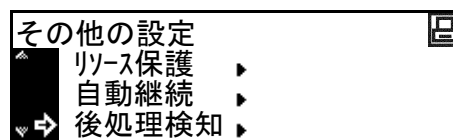
## 両面印刷時のエラー検知設定

この設定は、オプションの両面ユニットを装着している場合に可能です。両面印刷を行う際、両面印刷できないラベルなどの用紙種類を指定した場合に、「両面印刷できません GO を押して下さい」のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

設定	処理
オン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「印刷可 / 解除」を選択すると、片面印刷を行います。</li> <li>・ 「キャンセル」を選択すると、印刷そのものをキャンセルします。</li> </ul>
オフ	片面印刷を行います。

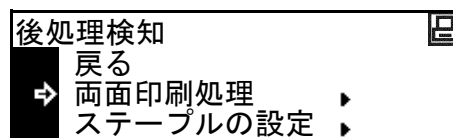
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。（2-55 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「後処理検知」を選択してください。



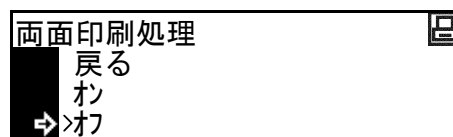
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「両面印刷処理」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

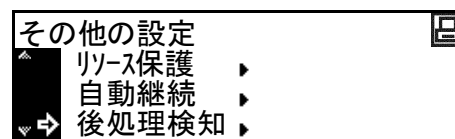
## ステープル時のエラー検知設定

この設定は、オプションのフィニッシャを装着している場合に可能です。ステープルを行う際、ステープルの針がなくなった場合に、「ステープルの針をセットし GO を押して下さい」のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

設定	処理
オン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「印刷可 / 解除」を選択すると、ステープルしないで印刷を行います。</li> <li>・ 「キャンセル」を選択すると、印刷そのものをキャンセルします。</li> </ul>
オフ	ステープルしないで印刷を行います。

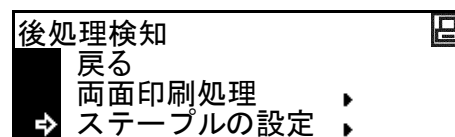
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。(2-55 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「後処理検知」を選択してください。



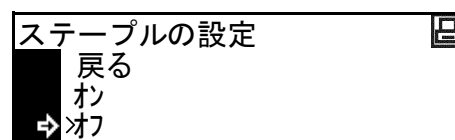
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ステープルの設定」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オン」または「オフ」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

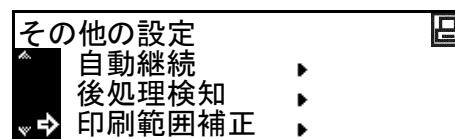
- 8 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 印刷範囲の補正

印刷位置を縦横方向 -76.0 mm ~ +76.0 mm の範囲でずらして印刷することができます。パンチ穴をあけるためにマージンを作る場合にも利用できます。

- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。(2-55 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)

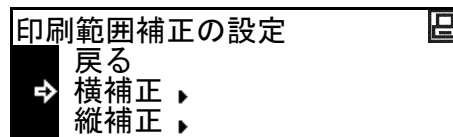
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「印刷範囲補正」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

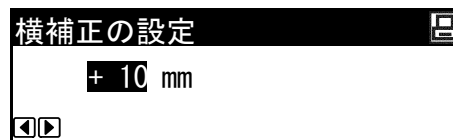


- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「横補正」を選択してください。



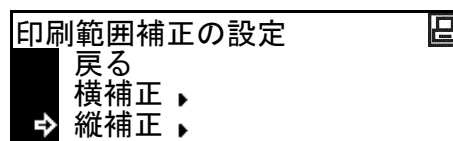
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、横方向の補正値を設定してください。-76 ~ +76 mm (0.1 mm 単位) の範囲で設定できます。

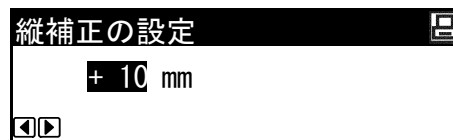


- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「縦補正」を選択してください。



- 9 [<] キーまたは [>] キーを押して、縦方向の補正値を設定してください。-76 ~ +76 mm (0.1 mm 単位) の範囲で設定できます。



- 10 [OK] キーを押してください。

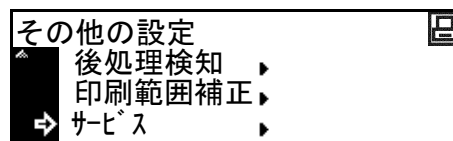
- 11 [リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## サービスステータスページの印刷

サービスステータスページは、通常のスータスページよりも詳細なプリンタ設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて以下の手順で印刷することができます。

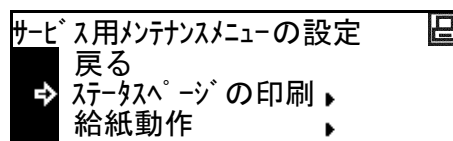
- 1 「その他の設定」画面を表示させてください。(2-55 ページの「その他の設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「サービス」を選択してください。



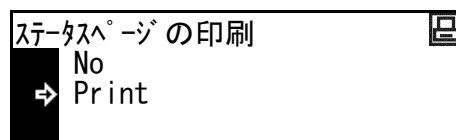
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ステータスページの印刷」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6   【▲】キーまたは【▼】キーを押して、「Print」を選択してください。



- 7   【OK】キーを押してください。サービスステータスページが印刷されます。
- 8   【リセット】キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。

## 3 システムメニュー

この章では、本機の動作全般に関わるシステムの設定を行います。

設定できる主な内容は次のとおりです。

- 初期設定モード
- 手差し設定
- トータルカウンタの参照と印刷
- レポート出力
- 言語設定
- ユーザ調整

## 初期設定モード

本機では、ウォームアップが終了した後や【リセット】キーを押した後の状態を初期モードといいます。初期モードのときに自動的に設定される機械の内容を初期設定と呼びます。初期設定は**コピー初期設定**と**マシン初期設定**に分かれます。使用のしかたに応じてこれらの設定は自由に変更できます。

### コピー初期設定

コピー初期設定では次の項目を設定できます。

- ・ 濃度モード設定
- ・ 原稿の画質
- ・ エコプリント設定
- ・ 地色調整
- ・ 用紙選択
- ・ 自動用紙用紙種類の設定
- ・ 優先カセット設定
- ・ 優先倍率設定
- ・ 自動濃度調整
- ・ 自動 OCR 濃度調整
- ・ 文字 + 写真原稿濃度調整
- ・ 文字原稿濃度調整
- ・ 写真原稿濃度調整
- ・ ソートコピー設定
- ・ 仕分けコピー設定
- ・ 自動回転コピー設定
- ・ とじしろ幅初期値の設定
- ・ 枠消し幅初期値の設定
- ・ コピー部数制限
- ・ 黒筋軽減処理

#### 「コピー初期設定」画面の表示方法

次の手順にしたがって、「コピー初期設定」画面を表示させてください。

**1** 【システムメニュー/カウンタ】キーを押してください。

**2** 【▲】キーまたは【▼】キーを押して、「コピー初期設定」を選択してください。

システムメニュー/カウンタ:	
▲	レポート出力 ▶
	部門管理 ▶
▼➡	コピー初期設定 ▶

**3** 【OK】キーを押してください。

- 4 テンキーで4桁の暗証番号を入力してください。  
工場出荷時は16枚機は「1600」、20枚機は「2000」、25枚機は「2500」となっています。

暗証番号を  
入力してください



参考 4桁の暗証番号は変更することができます。(3-24ページの[管理者暗証番号変更](#)参照)

- 5 暗証番号が合致すれば、「コピー初期設定」画面が表示されます。  
以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

コピー初期設定：  
終了  
→ 濃度モード : 手動  
▼ 原稿の画質 : 文字写真

参考 各設定画面で表示される「\*」（アスタリスク）は現在の設定を示します。

#### 濃度モード設定

初期モードでの濃度が自動か手動かを設定します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2ページの「[コピー初期設定](#)」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「濃度モード」を選択してください。

コピー初期設定：  
終了  
→ 濃度モード : 手動  
▼ 原稿の画質 : 文字写真

- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動」または「手動」を選択してください。

濃度モード：  
① 自動  
→ \* ② 手動

- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 原稿の画質

初期モードでの原稿の画質を設定します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2ページの「[コピー初期設定](#)」画面の表示方法参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「原稿の画質」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。

コピー初期設定：  
終了  
濃度モード : 手動  
▼ → 原稿の画質 : 文字写真

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「文字 + 写真」、「文字」または「写真」を選択してください。

原稿の画質：  
→\*① 文字+写真  
② 文字  
③ 写真

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### エコプリント設定

初期モードでエコプリントを設定するか、しないかを選択します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「エコプリント」を選択してください。

コピー初期設定：  
濃度モード : 手動  
原稿の画質 : 文字写真  
▼→ エコプリント : しない

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 エコプリントを初期モードで使うときは、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」を選択してください。

エコプリント：  
→\*① しない  
② する

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### 地色調整

仕上がりの地色が濃い場合に薄くします。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「地色調整」を選択してください。

コピー初期設定：  
原稿の画質 : 文字写真  
エコプリント : しない  
▼→ 地色調整 : 3

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、地色を調整してください。右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。

地色調整：  
1 2 \*3 4 5  
◀▶

- 5 [OK] キーを押してください。

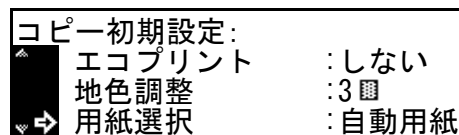
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 用紙選択

原稿をセットしたときに自動的に同じサイズ of 用紙が入ったカセットを選択させるか、あるいは優先カセット（固定）を選択するかを設定します。

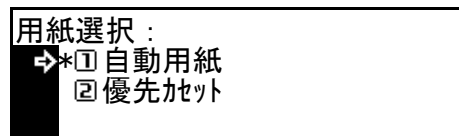
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「用紙選択」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動用紙」または「優先カセット」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 自動用紙用紙種類の設定

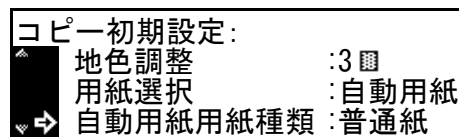
自動用紙選択モードで選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。

設定できる用紙種類：普通紙、OHP フィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム 1 ～ 8

- 参考 現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。(3-15 ページの用紙種類（カセット 1 ～ 4）設定参照)

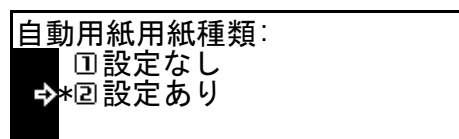
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動用紙用紙種類」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「設定あり」または「設定なし」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 「設定あり」を選択した場合は、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙種類を選択してください。

自動用紙用紙種類:  
 ➡ 普通紙  
 再生紙

- 7 [OK] キーを押してください。
- 8 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 優先カセット設定

自動的に優先して使用するカセット（1～4）を選択します。

- 参考
- 16 枚機では、この設定はオプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。
  - 16 枚機ではカセット 2～4 が、20 枚機 /25 枚機ではカセット 3、4 がオプションのペーパーフィーダのカセットです。オプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。
  - 手差しは優先カセットとして設定することはできません。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「優先カセット」を選択してください。

コピー初期設定 :  
 ▲ 用紙選択 : 自動用紙  
 自動用紙用紙種類 : 普通紙  
 ▼➡ 優先カセット : カセット1

- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、優先して使用するカセットを選択してください。

優先カセット :  
 ➡ \*①カセット1  
 ②カセット2  
 ▼ ③カセット3

- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 優先倍率設定

任意の給紙段の選択時に自動倍率させるかどうかを設定します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照）



- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「優先倍率」を選択してください。

コピー初期設定：  
 ▲ 自動用紙用紙種類 : 普通紙  
 ▼ 優先カセット : カセット1  
 ▼→ 優先倍率 : 等倍

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「等倍」または「自動倍率」を選択してください。

優先倍率：  
 ▼→ \*① 等倍  
 ② 自動倍率

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### 自動濃度調整

自動濃度モード使用時の全体的な濃淡を調整します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動濃度調整」を選択してください。

コピー初期設定：  
 ▲ 優先カセット : カセット1  
 ▼ 優先倍率 : 等倍  
 ▼→ 自動濃度調整 : 4 ■

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、濃度を調整してください。右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。

自動濃度調整：  
 1 □ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■  
 ◀ ▶

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### 自動 OCR 濃度調整

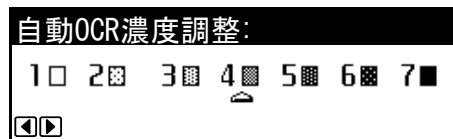
オプションのスキヤナ機能で OCR を使ってスキャンをするときの全体的な濃淡を調整します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動 OCR 濃度」を選択してください。

コピー初期設定：  
 ▲ 優先倍率 : 100%  
 ▼ 自動濃度調整 : 4 ■  
 ▼→ 自動OCR濃度 : 4 ■

- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、濃度を調整してください。右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。

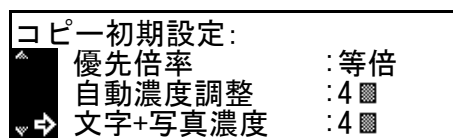


- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

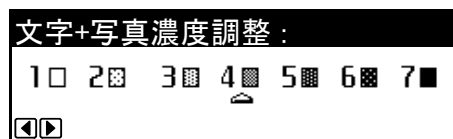
### 文字 + 写真原稿濃度調整

濃度の手動濃度（文字 + 写真）の濃度中央値の濃淡を調整します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照）
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「文字 + 写真濃度」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、濃度を調整してください。右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。

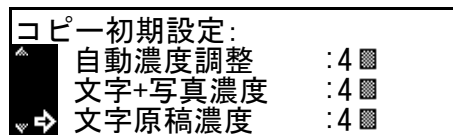


- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

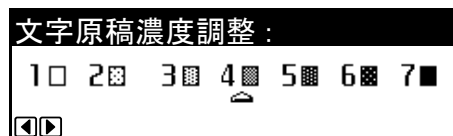
### 文字原稿濃度調整

濃度の手動濃度（文字）の濃度中央値の濃淡を調整します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照）
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「文字原稿濃度」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、濃度を調整してください。右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。



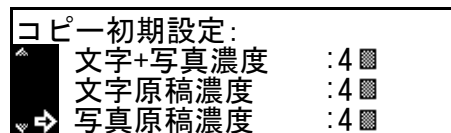
- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### 写真原稿濃度調整

濃度の手動濃度（写真）の濃度中央値の濃淡を調整します。

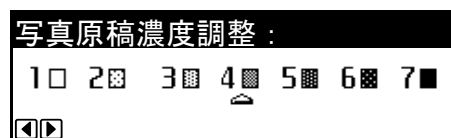
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「写真原稿濃度」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、濃度を調整してください。右に移動させると濃く、左に移動させると薄くなります。



- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

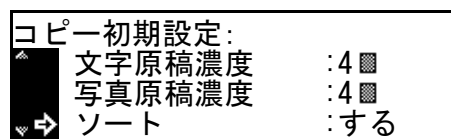
### ソートコピー設定

オプションの原稿送り装置を装着している場合は、初期モードでソートコピーを設定するか、しないかを変更できます。

**参考** この設定はオプションの原稿送り装置を装着しているときに表示されます。

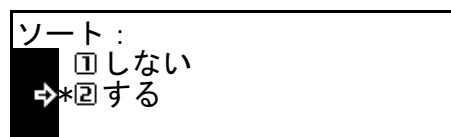
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ソート」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。



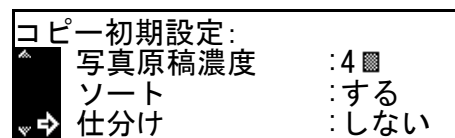
- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 仕分けコピー設定

初期モードで仕分けコピーを設定するか、しないかを変更できます。

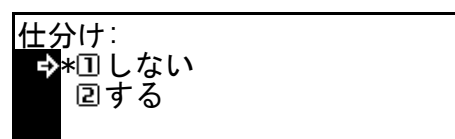
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「[コピー初期設定](#)」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「仕分け」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

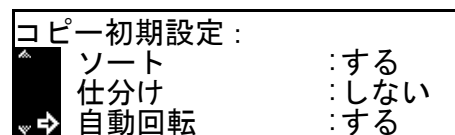
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 自動回転コピー設定

初期モードで自動回転コピーを設定するか、しないかを変更できます。

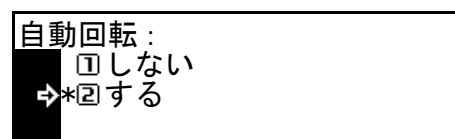
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「[コピー初期設定](#)」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動回転」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

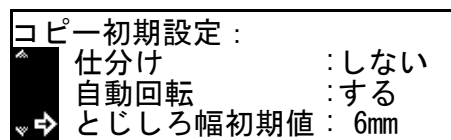
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## とじしろ幅初期値の設定

とじしろ幅の初期値を設定します。

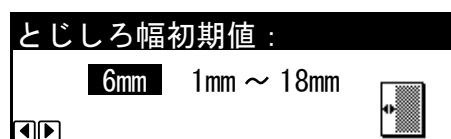
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「とじしろ幅初期値」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、とじしろ幅を設定してください。1 mm ~ 18 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。



- 5 [OK] キーを押してください。

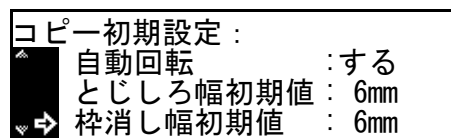
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 枠消し幅初期値の設定

枠消し幅の初期値を設定します。

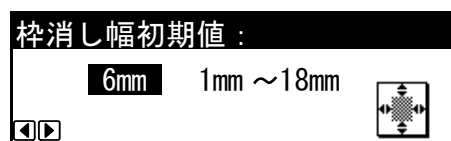
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「枠消し幅初期値」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、枠消し幅の初期値を設定してください。1 mm ~ 18 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## コピー部数制限

1 回のコピーで設定できる部数を制限します。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照)

- 2 【▲】キーまたは【▼】キーを押して、「コピー部数制限」を選択してください。

コピー初期設定：  
 とじしろ幅初期値 : 6mm  
 枠消し幅初期値 : 6mm  
 コピー部数制限 : 999部

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 テンキーを使って、コピー部数制限値（1 ～ 999）を設定してください。

コピー部数制限：  
 999 部  
 テンキー入力

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### 黒筋軽減処理

オプションの原稿送り装置を使用したコピーに黒筋（原稿にない筋状の汚れ）が発生した場合に、黒筋をめだたなくすることができます。黒筋軽減処理を行うと細かい文字の再現性が低下しますので、通常は工場出荷時のままでお使いになることをお勧めします。

- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（3-2 ページの「コピー初期設定」画面の表示方法参照）

- 2 【▲】キーまたは【▼】キーを押して、「黒筋軽減処理」を選択してください。

コピー初期設定：  
 枠消し幅初期値 : 6mm  
 コピー部数制限 : 999部  
 黒筋軽減処理 : なし

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 【▲】キーまたは【▼】キーを押して、「なし」、「弱」または「強」を選択してください。

黒筋軽減処理：  
 \*①なし  
 ②弱  
 ③強

参考 黒筋軽減処理を行うときは、まず「弱」を設定してください。それでも黒筋が軽減されない場合は「強」を設定してください。

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## マシン初期設定

マシン初期設定では次の項目を設定できます。

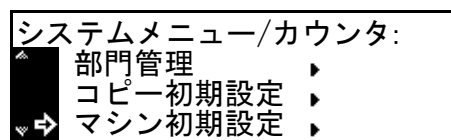
- オートカセットチェンジ設定
- 用紙サイズ（カセット 1～4）設定
- 用紙種類（カセット 1～4）設定
- 手差し確認表示の設定
- 用紙種属性（重さ）設定
- 用紙種属性（両面）設定
- 特定用紙種類の設定
- 原稿セット向きの設定
- スリープモード移行時間設定
- 低電力モード移行時間設定
- コピー排出先設定
- ファクス排出先設定
- 電源投入時モードの設定
- キー音設定
- 日付 / 時刻の設定
- 液晶コントラスト調整
- 管理者暗証番号変更
- オートスリープ設定
- オートクリア設定
- オートクリア時間設定
- 静音モード

## マシン初期設定画面の表示方法

次の手順にしたがって、マシン初期設定画面を表示させてください。

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「マシン初期設定」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 テンキーで 4 桁の暗証番号を入力してください。  
工場出荷時は 16 枚機は「1600」、20 枚機は「2000」、25 枚機は「2500」となっています。

参考 4 桁の暗証番号は変更することができます。（3-24 ページの[管理者暗証番号変更](#)参照）

- 5 暗証番号が合致すれば、「マシン初期設定」画面が表示されます。
- 以降の各設定項目を参照して設定を行ってください。

マシン初期設定：  
 終了  
 → オートカセットチェンジ : する  
 ▼ 用紙サイズ\* (カセット1) : 自動センチ

参考 各設定画面で表示される「\*」（アスタリスク）は現在の設定を示します。

#### オートカセットチェンジ設定

使用中の給紙カセットの用紙がなくなったときに、自動的に同一サイズ / 同一向きの他のカセットから給紙するように切り替えて出力を続けます。また、違う用紙種類を設定しているカセットには切り替えない場合は、「する（用紙種別区別する）」に設定してください。

参考 16 枚機では、オプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オートカセットチェンジ」を選択してください。

マシン初期設定：  
 終了  
 → オートカセットチェンジ : する  
 ▼ 用紙サイズ\* (カセット1) : 自動センチ

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する（用紙種別区別しない）」、「する（用紙種別区別する）」または「しない」を選択してください。

オートカセットチェンジ:  
 ① しない  
 → \*② する(用紙種別区別しない)  
 ③ する(用紙種別区別する)

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 用紙サイズ（カセット 1～4）設定

カセット 1～4 の用紙サイズを設定できます。用紙サイズの検知を自動で行うときは「自動検知センチ」または「自動検知インチ」に設定します。

設定きるサイズ：8 1/2" × 13"、8K、16K

参考 16 枚機ではカセット 2～4 が、20 枚機 / 25 枚機ではカセット 3、4 がオプションのペーパーフィーダのカセットです。オプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)



- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「用紙サイズ（カセット 1～4）」から用紙サイズを設定するカセットを選択してください。

マシン初期設定：  
終了  
オートカセットチェンジ : する  
用紙サイズ（カセット1） : 自動センチ

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「自動検知センチ」、「自動検知インチ」または用紙サイズを選択してください。

用紙サイズ（カセット1）：  
⇒\*自動検知センチ  
自動検知インチ  
8½×13

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 用紙種類（カセット 1～4）設定

カセット 1～4 の用紙の種類を設定できます。

設定できる用紙の種類：普通紙、プレプリント、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、上質紙、カスタム 1～8

参考 16 枚機ではカセット 2～4 が、20 枚機 /25 枚機ではカセット 3、4 がオプションのペーパーフィーダのカセットです。オプションのペーパーフィーダを設置しているときに表示されます。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。（3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「用紙種類（カセット 1～4）」から用紙種類を設定するカセットを選択してください。

マシン初期設定：  
用紙サイズ（カセット1） : 自動センチ  
用紙サイズ（カセット2） : 自動センチ  
⇒\*用紙種類（カセット1） : 普通紙

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙の種類を選択してください。

用紙種類（カセット1）：  
⇒\*普通紙  
プレプリント  
ボンド紙

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 手差し確認表示の設定

「用紙選択」キーを押して手差しを選択したときに、「手差し用紙サイズ」画面を表示するか、しないかを設定します。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 「▲」キーまたは「▼」キーを押して、「手差し確認表示」を選択してください。

マシン初期設定：  
 ▲ 用紙種類(セット1) : 普通紙  
 ▼ 用紙種類(セット2) : 普通紙  
 ▼→ 手差し確認表示 : しない

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 「▲」キーまたは「▼」キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。

手差し確認表示：  
 →\*① しない  
 ② する

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 用紙種属性（重さ）設定

各用紙種類に対して重さ（用紙の厚さ）の設定を行います。

設定できる重さ：超重い、重い3、重い2、重い1、普通3、普通2、普通1、軽い

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 「▲」キーまたは「▼」キーを押して、「用紙種属性（重さ）」を選択してください。

マシン初期設定：  
 ▲ 用紙種類(セット2) : 普通紙  
 ▼ 手差し確認表示 : しない  
 ▼→ 用紙種属性(重さ) ▶

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 「▲」キーまたは「▼」キーを押して、重さを設定する用紙種類を選択してください。

用紙種類の属性(重さ)：  
 → 終了  
 ▼ 普通紙 : 普通2  
 OHP : 超重い

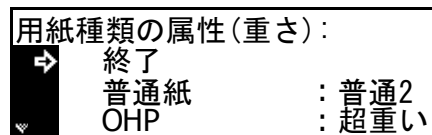
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 「▲」キーまたは「▼」キーを押して、重さを選択してください。

普通紙：  
 ▲ ④ 重い1  
 ▼ ⑤ 普通3  
 ▼→\*⑥ 普通2

- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 すべての設定が完了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。



- 9 [OK] キーを押してください。

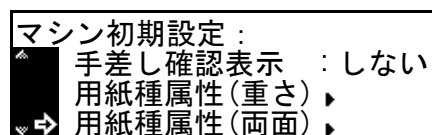
- 10 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 用紙種属性（両面）設定

用紙種類のカスタム 1 ～ 8 をそれぞれ両面印刷に使用するか、しないかを設定します。

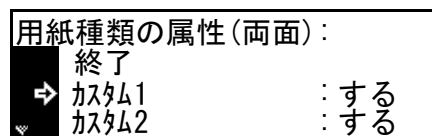
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの[マシン初期設定画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「用紙種属性（両面）」を選択してください。



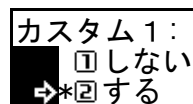
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「カスタム 1」～「カスタム 8」から設定する用紙種類を選択してください。



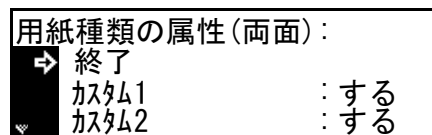
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 すべての設定が完了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。



- 9 [OK] キーを押してください。





- 10 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### 特定用紙種類の設定

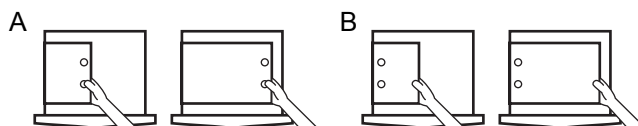
穴あき用紙、プレプリント、レターヘッドに印刷する際、片面印刷と両面印刷を同じ給紙段から印刷すると、穴の位置が揃わなくなったり、両面印刷の表裏が逆に印刷されることがあります。「印刷方向を合わせる」を設定すると、片面印刷と両面印刷が同じ向きに印刷されます。

例：イラストのように用紙をセットした場合



設定	片面印刷	両面印刷
印刷方向を合わせる		
速度優先		

- 参考
- 「印刷方向を合わせる」を設定すると、片面印刷の速度がやや遅くなります。
  - 「印刷方向を合わせる」を設定する場合、用紙は1ページ目を印刷する面が下になるように、イラストAのようにセットしてください。（オプションのフィニッシャを装着しているときは、用紙は1ページ目を印刷する面が下になるように、イラストBのようにセットしてください。）



- オプションのフィニッシャを装着しているときに、ステープルを設定すると、ステープル位置によっては、印刷の向きが合わない場合があります。

1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。（3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照）

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「特定用紙種類」を選択してください。

マシン初期設定：  
 ▲ 用紙種属性(重さ) ▶  
 用紙種属性(両面) ▶  
 ▼⇒ 特定用紙種類 : 速度優先

3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「印刷方向を合わせる」または「速度優先」を選択してください。

特定用紙種類：  
 ① 印刷方向を合わせる  
 ⇒\*② 速度優先

5 [OK] キーを押してください。

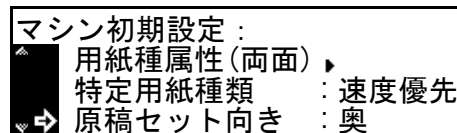
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### 原稿セット向きの設定

原稿の向きの初期値を設定します。

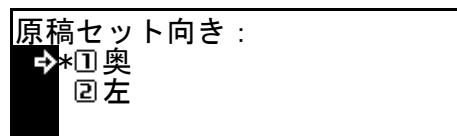
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「原稿セット向き」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「奥」または「左」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

#### スリープモード移行時間設定

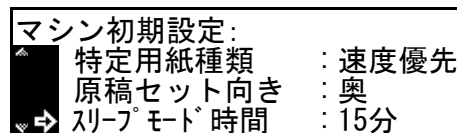
オートスリープ (3-25 ページ参照) で「する」を選択したときに、自動的にオートスリープが働くまでの時間を設定できます。

設定できる時間：1 ～ 240 分 (1 分単位)

- 参考
- 本機を頻繁に使用する場合は、オートスリープ機能が働くまでの時間を長めに、使用しない時間が長い場合は短めに設定することをお勧めします。
  - 本機の操作においてオートスリープ機能が使用上の不便さを与える場合には、オートスリープを使用しない設定にしてください。オートスリープを使用しない設定にする前に、まずオートスリープが働くまでの時間を長めに設定することをお勧めします。
  - オートスリープを「しない」に設定している場合は表示されません。

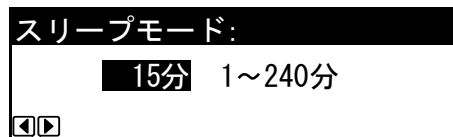
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「スリープモード時間」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [＜] キーまたは [＞] キーを押して、1 分から 240 分までの時間を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

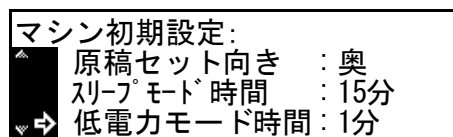
### 低電力モード移行時間設定

自動的に低電力モードが働くまでの時間を設定できます。

設定できる時間：1 ～ 240 分（1 分単位）

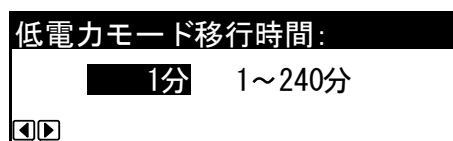
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。（3-13 ページの[マシン初期設定画面の表示方法](#)参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「低電力モード時間」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [＜] キーまたは [＞] キーを押して、1 分から 240 分までの時間を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### コピー排出先設定




コピー出力時に優先される排出先を設定できます。

設定項目	排出先
上トレイ	本体の排紙トレイ
フィニッシュャトレイ	オプションのフィニッシュャ
ジョブセパレータ	オプションのジョブセパレータ

参考 この設定は、オプションのフィニッシュャまたはジョブセパレータを装着しているときに表示されます。


- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。（3-13 ページの[マシン初期設定画面の表示方法](#)参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「コピー  
排出先」を選択してください。

マシン初期設定:  
 スリープモード時間 : 15分  
 低電力モード時間 : 1分  
 コピー排出先 : 上トレイ

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、排出先を  
選択してください。

コピー排出先:  
 \*① 上トレイ  
 ② フィニッシュトレイ

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### ファクス排出先設定



ファクスで受信した原稿、各種レポートの出力時に優先される排出先を設定できます。

設定項目	排出先
上トレイ	本体の排紙トレイ
フィニッシュトレイ	オプションのフィニッシュ
ジョブセパレータ	オプションのジョブセパレータ

参考 この設定は、オプションのファクスキットと、フィニッシュまたはジョブセパレータを装着しているときに表示されます。


- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ファクス  
排出先」を選択してください。

マシン初期設定:  
 ファクス排出先 : 上トレイ  
 電源投入時モード : コピー  
 キー音 : あり

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、排出先を  
選択してください。

ファクス排出先:  
 \*① 上トレイ  
 ② フィニッシュトレイ

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 電源投入時モードの設定

電源を入れたときに初期の状態が表示される画面を、コピー画面かファクス画面か設定します。

参考 この設定は、オプションのファクスキットを装着しているときに表示されます。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの[マシン初期設定画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「電源投入時モード」を選択してください。

マシン初期設定:	
▲	ファクス排出先 : 上トレイ
→	電源投入時モード : コピー
▼	キー音 : あり

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「コピー画面」または「ファクス画面」を選択してください。

電源投入時モード:	
→	*① コピー画面
	② ファクス画面

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## キー音設定

操作パネルのキーを押したときに鳴る「ピッ」という音を出すか出さないか設定できます。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの[マシン初期設定画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「キー音」を選択してください。

マシン初期設定:	
▲	スリープモード時間 : 15分
	低電力モード時間 : 1分
→	キー音 : あり

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「なし」または「あり」を選択してください。

キー音:	
①	なし
→	*② あり

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。



## 日付 / 時刻の設定

現在の日付、時刻、世界標準時間（GMT）との時差、サマータイムを設定します。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「日付 / 時刻」を選択してください。

マシン初期設定:	
低電力モード時間	: 1分
キー音	: あり
日付/時刻	: 14:26

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「時差」を選択してください。

日付/時刻	
時刻	: 14:26
サマータイム	: Off
時差	: GMT+00:00 ◀▶

- 5 [<] キーまたは [>] キーを押して、時差を設定してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「時刻」を選択してください。

日付/時刻	
終了	
時刻	: 14:26 ◀▶
サマータイム	: Off

- 7 [<] キーまたは [>] キーを押して、現在の時刻を設定してください。

- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「サマータイム」を選択してください。

日付/時刻	
終了	
時刻	: 14:26 ◀▶
サマータイム	: Off

- 9 [<] キーまたは [>] キーを押して、「On」または「Off」を選択してください。

- 10 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「年」を選択してください。

日付/時刻	
サマータイム	: Off
時差	: GMT+00:00
年	: 7 ◀▶

- 11 [<] キーまたは [>] キーを押して、現在の年を設定してください。

- 12 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「月」を選択してください。

日付/時刻	
時差	: GMT+00:00
年	: 7
月	: 11 ◀▶

- 13 [<] キーまたは [>] キーを押して、現在の月を設定してください。

- 14 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「日」を選択してください。

日付/時刻	
年	: 7
月	: 11
日	: 28

- 15 [<] キーまたは [>] キーを押して、現在の日を設定してください。

- 16 すべての設定が完了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。

日付/時刻	
終了	
時刻	: 14:26
サマタイム	: Off

- 17 [OK] キーを押してください。

- 18 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### 液晶コントラスト調整

メッセージ表示の内容が見にくいとき、液晶のコントラストを変更してください。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「液晶コントラスト調整」を選択してください。

マシン初期設定:	
キー音	: あり
日付/時刻	: 14:26
液晶コントラスト調整	: 4

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、コントラストを調整してください。左に移動させると暗く、右に移動させると明るくなります。

液晶コントラスト調整:						
1	2	3	4	5	6	7

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### 管理者暗証番号変更

本機管理者の暗証番号（4桁）を変更できます。

- ご注意
- 暗証番号を変更したときは必ずメモを取るようになしてください。万一忘れたときは、サービス担当者に連絡してください。
  - 工場出荷時は16枚機は「1600」、20枚機は「2000」、25枚機は「2500」となっています。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「管理者番号変更」を選択してください。

マシン初期設定：  
 ▲ 日付/時刻 : 14:26  
 ▼→ 液晶コントラスト調整 : 4 [H]  
 ▼→ 管理者番号変更 ▶

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 テンキーを使って、新しい管理者暗証番号を入力してください。

暗証コード変更：

1600

テンキー入力

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### オートスリープ設定

この設定を「する」にした場合、本機は一定時間操作がないと自動的にスリープモードになります。

**参考** 本機の操作においてオートスリープ機能が使用上の不便さを与える場合には、オートスリープを使用しない設定にしてください。オートスリープを使用しない設定にする前に、まずオートスリープが働くまでの時間（スリープモード移行時間）を長めに設定することをお勧めします。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの [マシン初期設定画面の表示方法](#) 参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オートスリープ」を選択してください。

マシン初期設定：  
 ▲ 液晶コントラスト調整 : 4 [H]  
 ▼→ 管理者番号変更 ▶  
 ▼→ オートスリープ : する

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。

オートスリープ：

[H] しない

→\* [H] する

- 5 [OK] キーを押してください。

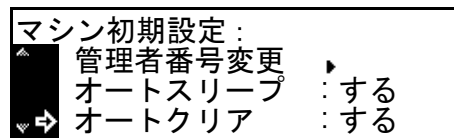
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## オートクリア設定

コピー終了後、一定時間経過すると自動的にオートクリア（[使用説明書 基本編の1章、オートクリア機能について](#)参照）することができます。

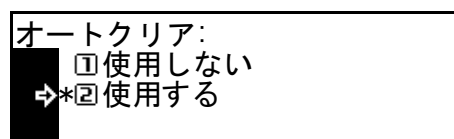
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。（3-13 ページの[マシン初期設定画面の表示方法](#)参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オートクリア」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「使用する」または「使用しない」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## オートクリア時間設定

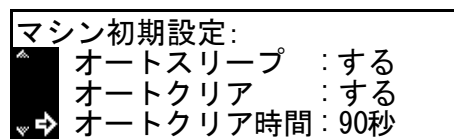
オートクリア（3-26 ページ参照）で「使用する」を選択したときに、コピー作業終了後に自動的にオートクリアが働くまでの時間を設定できます。

設定できる時間：10 ～ 270 秒（10 秒単位）

参考 オートクリアを「しない」に設定している場合は表示されません。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。（3-13 ページの[マシン初期設定画面の表示方法](#)参照）

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「オートクリア時間」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [<] キーまたは [>] キーを押して、10 秒から 270 秒までの時間を選択してください。

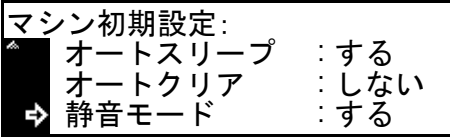
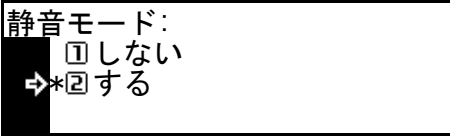


- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 静音モード

機械の動作音を低減します。機械の動作音が気になる場合に使用してください。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(3-13 ページの[マシン初期設定画面の表示方法](#)参照)
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「静音モード」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。
- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 手差し設定

手差しから給紙する場合は、次の設定を行ってください。

### 用紙サイズの設定

手差しで使用する用紙のサイズを設定します。用紙サイズを入力すると、不定形サイズの用紙を使用することもできます。

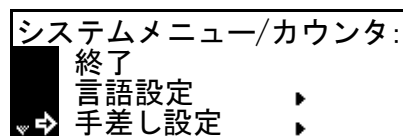
**参考** 用紙サイズが不明な場合、または特に用紙サイズを設定しない場合は、「ユニバーサルサイズ」を設定してください。

#### 定形サイズから選択する場合

設定できる用紙サイズ：A3、B4、A4R、A4、B5R、B5、A5R、B6R、8 1/2" × 11"、11" × 8 1/2"、はがき

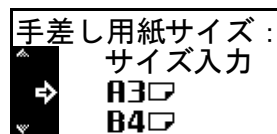
1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「手差し設定」を選択してください。



3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙サイズを選択してください。



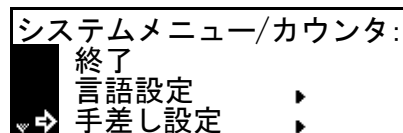
5 [OK] キーを押してください。「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の[用紙種類の設定](#)に進んでください。

#### その他の定形サイズから選択する場合

設定できる用紙サイズ：11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13"、5 1/2" × 8 1/2"、Folio、A6R、Executive、ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm. #10、Comm. #9、Comm. #6-3/4、Monarch、往復はがき、洋形 2 号、洋形 4 号、8K、16KR、16K

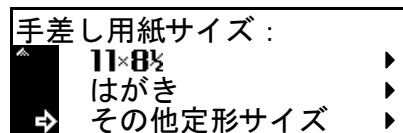
1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「手差し設定」を選択してください。

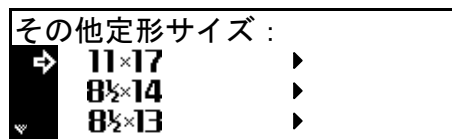


3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「その他定形サイズ」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。
- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙サイズを選択してください。

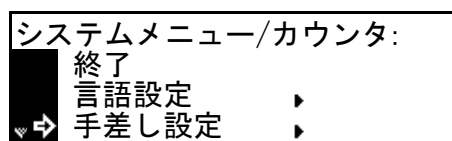


- 7 [OK] キーを押してください。「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

#### 用紙サイズを入力する場合

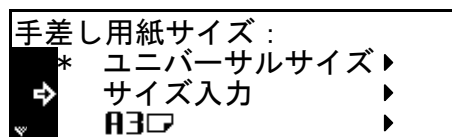
- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「手差し設定」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「サイズ入力」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、縦のサイズを設定してください。98 ~ 297 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。



- 7 [▼] キーを押して、横のサイズを選択してください。

- 8 [<] キーまたは [>] キーを押して、横のサイズを設定してください。148 ~ 432 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。



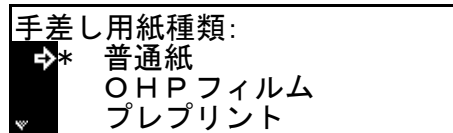
- 9 [OK] キーを押してください。「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

## 用紙種類の設定

**用紙サイズの設定**の続きから、手差しで使用する用紙の種類を設定します。

設定できる用紙種類：普通紙、OHP フィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム 1（～ 8）

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙種類を選択してください。



- 2 [OK] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。



## トータルカウンタの参照と印刷

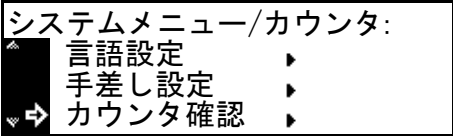
操作パネルでトータルカウンタを参照することができます。またカウンタレポートとして出力することができます。

### トータルカウンタの参照

**参考** 出力カウンタと読み取りカウンタを参照することができます。

1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

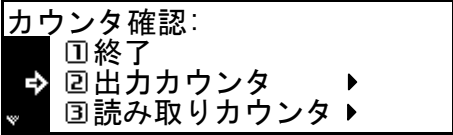
2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「カウンタ確認」を選択してください。



システムメニュー/カウンタ:  
▲ 言語設定 ▶  
手差し設定 ▶  
▼⇒ カウンタ確認 ▶

3 [OK] キーを押してください。

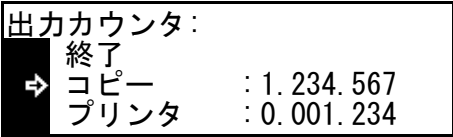
4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「出力カウンタ」または「読み取りカウンタ」を選択してください。



カウンタ確認:  
① 終了  
⇒ ② 出力カウンタ ▶  
③ 読み取りカウンタ ▶

5 [OK] キーを押してください。

6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、カウンタを確認してください。



出力カウンタ:  
終了  
⇒ コピー : 1. 234. 567  
プリンタ : 0. 001. 234

7 確認が終了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。

8 [OK] キーを押してください。

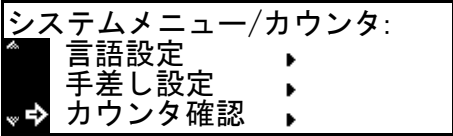
9 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

### カウンタレポートの出力

**参考** カウンタレポートを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

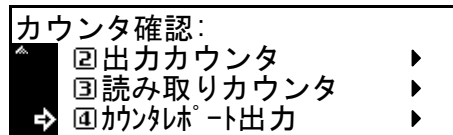
2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「カウンタ確認」を選択してください。



システムメニュー/カウンタ:  
▲ 言語設定 ▶  
手差し設定 ▶  
▼⇒ カウンタ確認 ▶

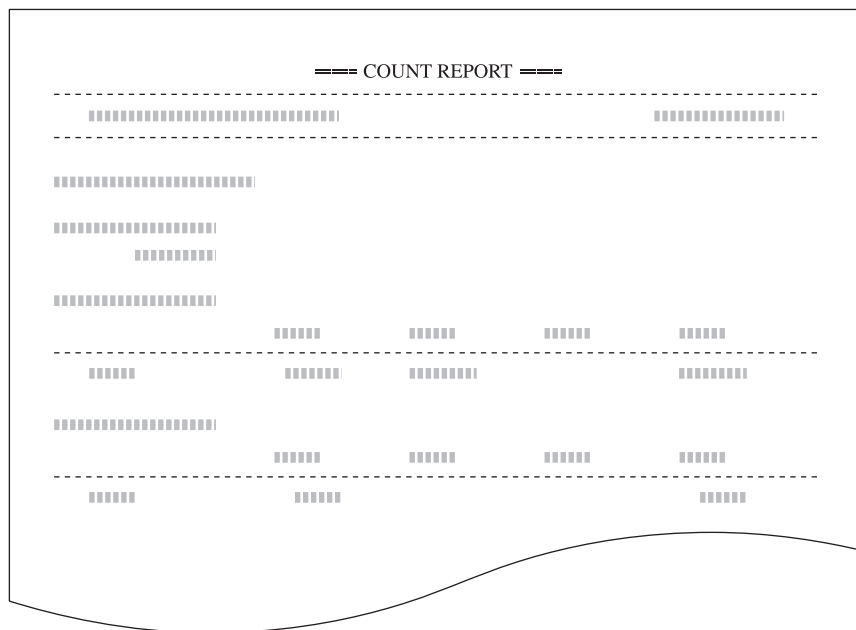
3 [OK] キーを押してください。

- 4    [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「カウンタレポート出力」を選択してください。



- 5    [OK] キーを押してください。カウンタレポートが出力されます。
- 6    [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

サンプル：カウンタレポート



## レポート出力

操作パネルから次のレポートの出力ができます。

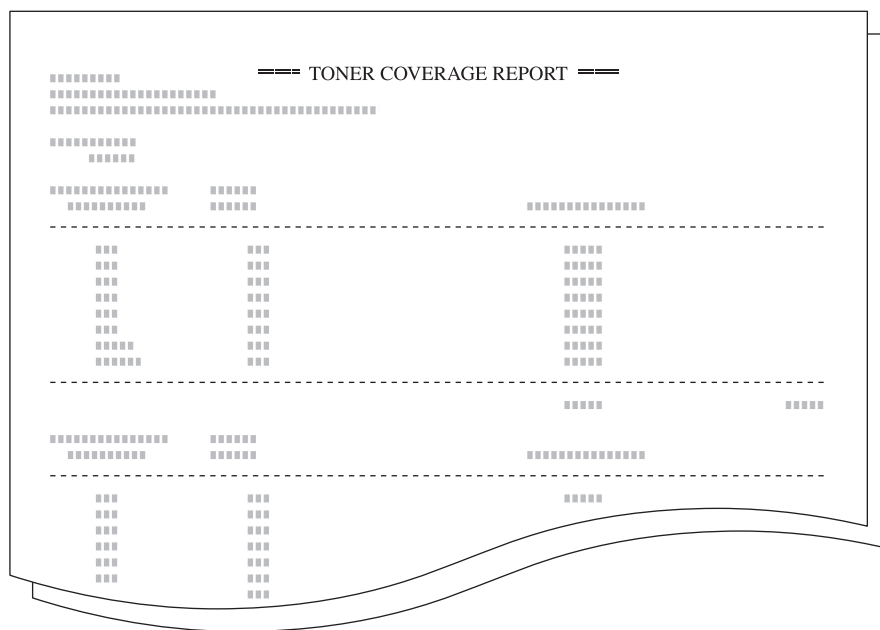
## コピーステータスレポート

[illegible]

## マシンステータスレポート

[illegible]

## カバレッジレポート



- 参考
- ・ レポートを出力するときは、カセットに A4 の用紙がセットされていることを確認してください。
  - ・ カバレッジレポートは、用紙サイズごとに出力枚数と黒比率の平均値を記載したレポートです。次の 4 種類の内容が含まれています。

トータルトナーカバレッジレポート  
 コピートナーカバレッジレポート  
 プリントトナーカバレッジレポート  
 ファクストナーカバレッジレポート

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「レポート出力」を選択してください。

システムメニュー/カウンタ:	
▲	手差し設定 ▶
	カウンタ確認 ▶
▼→	レポート出力 ▶

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、出力するレポートを選択してください。

レポート出力:	
	① 終了 ▶
→	② コピーステータスレポート ▶
▼	③ マシンステータスレポート ▶

- 5 [OK] キーを押してください。レポートが出力されます。

- 6 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

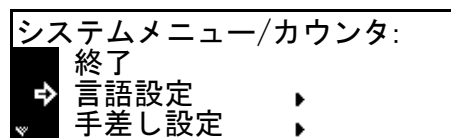
## 言語設定

メッセージ表示の言語を選択できます。

選択できる言語：日本語、英語（English）、フランス語（Français）、スペイン語（Español）

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「言語設定」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、使用する言語を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。コピー基本画面に戻り、メッセージ表示の言語が変更されます。

## ユーザ調整

参考 この設定は 25 枚機のみ表示されます。

## ドラムリフレッシュ

出力物の画像が流れたり、原稿にない白点が現れたりした場合はドラムのリフレッシュを行ってください。約 2 分かかります。

参考 手差しに A3 または A4 の用紙がセットされていることを確認してください。

1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ユーザ調整」を選択してください。

システムメニュー/カウンタ:  
マシン初期設定 ▶  
プリンタ初期設定 ▶  
⇒ ユーザ調整 ▶

3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ドラムリフレッシュ」を選択してください。

ユーザ調整:  
① 終了  
⇒ ② ドラムリフレッシュ

5 [OK] キーを押してください。

6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「はい」を選択してください。

ドラムリフレッシュしますか?  
⇒ はい  
いいえ

7 [OK] キーを押してください。ドラムリフレッシュが開始されます。

ドラムリフレッシュ中です  
A4 1

8 ドラムリフレッシュが終了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。

ユーザ調整:  
⇒ ① 終了  
② ドラムリフレッシュ

9 [OK] キーを押してください。

10 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。

## 4 部門管理

この章では、本機の部門管理モードについて説明します。

設定できる主な内容は次のとおりです。

- 部門管理モードについて
- 部門編集
- 全部門集計
- 部門別集計
- 部門管理の設定
- 部門管理初期設定
- 部門管理時の操作

## 部門管理モードについて

部門管理モードは、部門別に部門コードを設定することにより部門別のトータルコピー枚数・印刷枚数を管理することができます。

本機の部門管理モードは、次の特長を備えています。

- 同じ部門コードで、コピー機能、プリンタ機能やオプションのスキヤナ / ファクス機能を一括管理することができます。
- 最大 100 部門の管理ができます。
- 部門コードは 1 ～ 8 桁で設定できます。
- 全部門または部門別で枚数を集計することができます。
- 制限枚数を 1 枚単位で 999,999 枚まで設定することができます。
- カウンタのクリアは全部門でも各部門ごとでもできます。

### ご注意

部門編集で使用制限の設定を行う場合は、部門管理初期設定のコピー部門管理とプリンタ部門管理で「しない」を「する」に変更しておく必要があります。また、オプションのネットワークスキヤナまたはファクスキットを装着している場合は、部門管理初期設定のスキヤナ部門管理またはファクス部門管理で部門管理を行う機能を「する」に設定してください。（4-15 ページの[部門管理初期設定](#)参照）

部門管理モードで設定できる内容は次のとおりです。

部門管理モード	説明	参照ページ
部門編集	新規登録－部門コードと使用制限の登録を行います。 部門コードは、100 部門まで登録することができます。  削除－登録された部門を抹消します。  使用制限変更－各部門の使用制限の変更を行います。	4-4 ページ
全部門集計	全部門のトータル枚数の参照、部門管理レポート出力と、カウンタのクリアができます。	4-11 ページ
部門別集計	部門別のトータル枚数の集計と、カウンタのクリアができます。	4-13 ページ
部門管理 ON/OFF	部門管理を行うときは「ON」に、部門管理を行わないときは「OFF」に設定します。	4-14 ページ
部門管理初期設定	部門管理モードの初期設定を変更します。	4-15 ページ

### 参考

- プリンタ機能で部門管理を使用する際に必要なコンピュータからの設定は、[KX プリンタドライバ操作手順書](#)を参照してください。
- この他に、コンピュータから設定できる部門管理モードがあります。詳細は [KM-NET for Accounting 操作手順書](#)を参照してください。
- KM-NET for Accounting を使用する場合は部門管理者コードは、16 枚機は「1650000000000000」（15 桁）、20 枚機は「2050000000000000」（15 桁）、25 枚機は「2550000000000000」（15 桁）です。

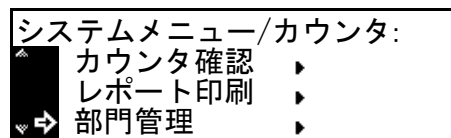


## 部門管理画面の表示方法

次の手順にしたがって「部門管理」画面を表示させてください。

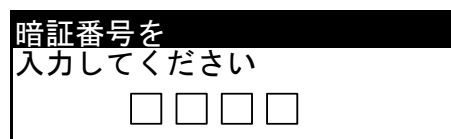
- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門管理」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

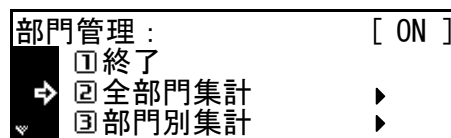
- 4 テンキーで4桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は16枚機は「1600」、20枚機は「2000」、25枚機は「2500」となっています。



**参考** 4桁の暗証番号は変更することができます。(3-24ページの[管理者暗証番号変更](#)参照)

- 5 暗証番号が合致すれば、「部門管理」画面が表示されます。

以降の各モードの設定方法を参照して設定を行ってください。



## 部門編集

### 新規部門登録

1 ～ 8 桁の部門コードとその使用制限の登録を行います。

- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門編集」を選択してください。

部門管理 :	[ ON ]
③ 部門別集計	▶
④ 部門編集	▶
⑤ 部門管理初期設定	▶

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「新規登録」を選択してください。

部門編集:	
終了	
→ 新規登録	▶
▼ 削除	▶

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 テンキーを使って、1 ～ 8 桁の部門コードを入力してください。0 ～ 99999999 まで入力できます。

新規登録
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; background-color: black;"></div> 部門コード

参考 すでに登録している部門コードで登録しようとするとエラーとなります。別の部門コードに変更してください。

- 7 [OK] キーを押してください。

参考 部門コードを登録したあと、数秒間「しばらくお待ち下さい」が表示されます。

しばらくお待ち下さい
------------

- 8 使用制限の設定を行ってください。

参考 使用制限の設定方法は 4-5 ページの[使用制限の設定](#)を参照してください。

- 9 使用制限の設定が完了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。

使用制限:	
→ 終了	
コピー	: 使用可
▼ プリンタ	: 使用可

- 10 [OK] キーを押してください。

## 使用制限の設定

登録された部門ごとに使用制限を設定できます。

設定できる項目は次のとおりです。

項目	制限内容	参照ページ
コピー制限設定	コピーの使用を許可するか、禁止するか設定できます。 使用可－コピーの使用を許可します。 使用不可－コピーの使用を禁止します。	4-5 ページ
プリンタ制限設定	プリンタの使用を許可するか、禁止するか設定できます。 使用可－プリンタの使用を許可します。 使用不可－プリンタの使用を禁止します。	4-6 ページ
出力制限設定	コピーとプリンタで使用する合計の制限枚数を設定できます。 制限なし－制限枚数を設定しません。 カウンタ制限－制限枚数を設定します。(0 ～ 999,999 枚)	4-6 ページ
スキャナ送信制限設定	オプションのネットワークスキャナを装着しているとき、スキャナ送信の制限枚数を設定できます。 制限なし－スキャナ送信の制限枚数を設定しません。 カウンタ制限－スキャナ送信の制限枚数を設定します。(0 ～ 999,999 枚) 使用不可－スキャナ送信の使用を禁止します。	4-7 ページ
ファクス送信制限設定	オプションのファクスキットを装着しているとき、ファクス送信の制限枚数を設定できます。 制限なし－ファクス送信の制限枚数を設定しません。 カウンタ制限－ファクス送信の制限枚数を設定します。(0 ～ 999,999 枚) 使用不可－ファクス送信の使用を禁止します。	4-7 ページ

**参考** コピーとプリンタにそれぞれ個別の制限枚数を設定するように、管理方法を変更することができます。詳細は [KM-NET for Accounting 操作手順書](#)を参照してください。

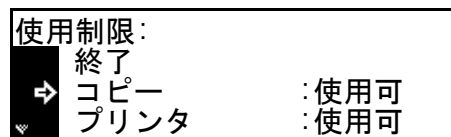
## コピー制限設定

コピーの使用を許可するか、禁止するか設定できます。

**参考** 部門管理初期設定の[コピー部門管理設定](#)で「する」を設定している場合に、この項目は表示されます。(4-15 ページ参照)

**1** [新規部門登録](#)の手順 1 ～ 7 を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。

**2** [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「コピー」を選択してください。



**3** [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「使用可」または「使用不可」を選択してください。

コピー:  
→\*① 使用可  
② 使用不可

- 5 [OK] キーを押してください。「使用制限」画面に戻ります。

### プリンタ制限設定

プリンタの使用を許可するか、禁止するか設定できます。

参考 部門管理初期設定の**プリンタ部門管理設定**で「する」を設定している場合に、この項目は表示されます。(4-16 ページ参照)

- 1 **新規部門登録**の手順 1 ～ 7 を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「プリンタ」を選択してください。

使用制限:  
終了 : 使用可  
コピー : 使用可  
▼→ プリンタ : 使用可

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「使用可」または「使用不可」を選択してください。

プリンタ:  
→\*① 使用可  
② 使用不可

- 5 [OK] キーを押してください。「使用制限」画面に戻ります。

### 出力制限設定

コピーとプリンタで使用する合計の制限枚数を設定できます。

参考 **コピー制限設定**と**プリンタ制限設定**の設定を両方とも「使用不可」に設定している場合は、この項目は表示されません。

- 1 **新規部門登録**の手順 1 ～ 7 を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「出力制限」を選択してください。

使用制限:  
▲ コピー : 使用可  
プリンタ : 使用可  
▼→ 出力制限 : 制限なし

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「制限なし」または「カウンタ制限」を選択してください。

出力制限  
→\*① 制限なし  
② カウンタ制限

- 5 [OK] キーを押してください。「カウンタ制限」を選択した場合は、「カウンタ制限」画面が表示されます。次の手順に進んでください。

- 6 テンキーを使って、制限枚数を入力してください。制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

カウンタ制限:

999.999 制限枚数

- 7 [OK] キーを押してください。「使用制限」画面に戻ります。

#### スキャナ送信制限設定

オプションのネットワークスキャナを装着しているとき、スキャナ送信の制限枚数を設定できます。

参考 部門管理初期設定の[スキャナ部門管理設定](#)で「する」を設定している場合に、この項目は表示されます。(4-16 ページ参照)

- 1 [新規部門登録](#)の手順1～7を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「スキャナ送信」を選択してください。

使用制限:

プリンタ	: 使用可
出力制限	: 制限なし
スキャナ送信	: 制限なし

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「制限なし」、「カウンタ制限」または「使用不可」を選択してください。

スキャナ送信

→ \*1 制限なし  
2 カウンタ制限  
3 使用不可

- 5 [OK] キーを押してください。「カウンタ制限」を選択した場合は、「カウンタ制限」画面が表示されます。次の手順に進んでください。

- 6 テンキーを使って、制限枚数を入力してください。制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

カウンタ制限:

999.999 制限枚数

- 7 [OK] キーを押してください。「使用制限」画面に戻ります。

#### ファクス送信制限設定

オプションのファクスキットを装着しているとき、ファクス送信の制限枚数を設定できます。

参考 部門管理初期設定の[ファクス部門管理設定](#)で「する」を設定している場合に、この項目は表示されます。(4-17 ページ参照)

- 1 [新規部門登録](#)の手順1～7を参照して、「使用制限」画面を表示させてください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ファクス送信」を選択してください。

使用制限	
出力制限	: 制限なし
スキャナ送信	: 制限なし
ファクス送信	: 制限なし

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「制限なし」、「カウンタ制限」または「使用不可」を選択してください。

ファクス送信	
*① 制限なし	
② カウンタ制限	
③ 使用不可	

- 5 [OK] キーを押してください。「カウンタ制限」を選択した場合は、「カウンタ制限」画面が表示されます。次の手順に進んでください。

- 6 テンキーを使って、制限枚数を入力してください。制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

カウンタ制限:	
999.999	制限枚数

- 7 [OK] キーを押してください。「使用制限」画面に戻ります。

## 部門削除

登録された部門を削除します。

- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門編集」を選択してください。

部門管理:		[ ON ]
③ 部門別集計		▶
④ 部門編集		▶
⑤ 部門管理初期設定		▶

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「削除」を選択してください。

部門編集:	
終了	
新規登録	▶
削除	▶

- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、削除する部門コードを選択してください。

削除:	
終了	
⇒ 1111	: 123.456
2222	: 000.234

- 7 [OK] キーを押してください。確認画面が表示されます。

削除しますか?	
はい	
⇒ いいえ	

8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「はい」を選択してください。

9 [OK] キーを押してください。

参考 他の部門を削除するときは手順 6 ～ 9 を繰り返してください。

10 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。

削除 :		
→ 終了		
2222	:	000. 234
3333	:	006. 101

11 [OK] キーを押してください。

## 使用制限の変更

部門ごとに設定された使用制限を変更します。

ご注意 部門編集で使用制限の設定を行う場合は、部門管理初期設定のコピー部門管理、プリンタ部門管理で「しない」を「する」に変更しておく必要があります。また、オプションのネットワークスキャナまたはファクスキットを装着している場合は、部門管理初期設定のスキャナ部門管理またはファクス部門管理で部門管理を行う機能を「する」に設定してください。(4-15 ページの[部門管理初期設定](#)参照)

1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門編集」を選択してください。

部門管理 :	[ ON ]
③ 部門別集計	▶
→ ④ 部門編集	▶
⑤ 部門管理初期設定	▶

3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「使用制限変更」を選択してください。

部門編集 :	
新規登録	▶
削除	▶
→ 使用制限変更	

5 [OK] キーを押してください。

6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、変更する部門コードを選択してください。

使用制限変更:		
終了		
⇒	1111	: 123.456
	2222	: 000.234

7 [OK] キーを押してください。

8 使用制限を変更してください。

参考 使用制限の設定方法は 4-5 ページの[使用制限の設定](#)を参照してください。

- 9 すべての変更が完了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選んでください。

使用制限変更:

→	終了		
	1111	:	123.456
	2222	:	000.234

- 10 [OK] キーを押してください。



## 全部門集計

全部門のトータル出力枚数の参照、部門管理レポート出力と、カウンタのクリアができます。

- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「全部門集計」を選択してください。

部門管理 :	[ ON ]
➡ ① 終了	
➡ ② 全部門集計	▶
➡ ③ 部門別集計	▶

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 全部門の出力枚数が表示されますので確認してください。部門管理レポートを出力する場合は、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「レポート印刷」を選択してください。

全部門集計 :	1. 234. 567
➡ 終了	
➡ レポート印刷	▶
➡ カウンタクリア	▶

- 5 [OK] キーを押してください。レポートが出力されます。

サンプル：部門管理レポート

- 6 カウンタのクリアを行う場合は、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「カウンタクリア」を選択してください。

全部門集計 :	1. 234. 567
➡ 終了	
➡ レポート印刷	▶
➡ カウンタクリア	▶

- 7 [OK] キーを押してください。確認画面が表示されます。

カウンタをクリアしますか?
➡ はい
➡ いいえ

- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「はい」を選択してください。

- 9 [OK] キーを押してください。

- 10    [▲] キーまたは[▼] キーを押して、「終了」を選択してください。

全部門集計:		1. 234. 567
→	終了	
	レポート印刷	▶
	カウンタクリア	▶

- 11    [OK] キーを押してください。

## 部門別集計

部門別の出力枚数の集計と、カウンタのクリアができます。

- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門別集計」を選択してください。

部門管理 :	[ ON ]
① 終了	
② 全部門集計	▶
③ 部門別集計	▶

- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 各部門の出力枚数が表示されますので確認してください。

部門別集計/カウンタクリア :	
終了	
⇒ 1111	: 123.456
2222	: 000.234

- 5 カウンタのクリアを行う場合は、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、部門コードを選択してください。

- 6 [OK] キーを押してください。確認画面が表示されます。

カウンタをクリアしますか?
はい
⇒ いいえ

- 7 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「はい」を選択してください。

- 8 [OK] キーを押してください。

- 9 すべての確認が終了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。

部門別集計/カウンタクリア :	
終了	
⇒ 1111	: 000.000
2222	: 000.234

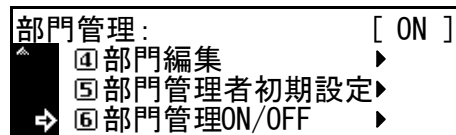
- 10 [OK] キーを押してください。

## 部門管理の設定

部門管理を有効または無効に設定します。

- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門管理 ON/OFF」を選択してください。



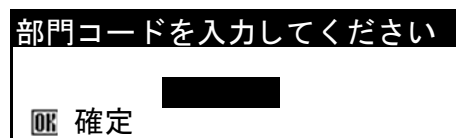
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ON」または「OFF」を選択してください。



- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [リセット] キーを押してください。「ON」を選択した場合は部門コード入力画面が表示されます。



## 部門管理初期設定

部門管理の初期設定を変更します。

部門管理初期設定では次の項目が設定できます。

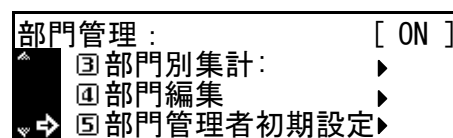
- コピー部門管理設定 (4-15 ページ)
- プリンタ部門管理設定 (4-16 ページ)
- スキャナ部門管理設定 (4-16 ページ)
- ファクス部門管理設定 (4-17 ページ)
- 制限超過時設定 (4-18 ページ)

### コピー部門管理設定

コピー機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。

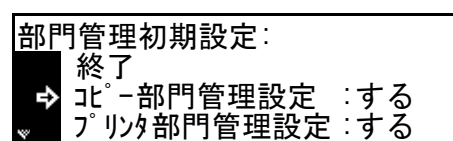
- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門管理者初期設定」を選択してください。



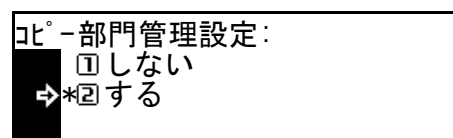
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「コピー部門管理設定」を選択してください。



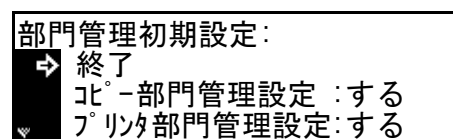
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。



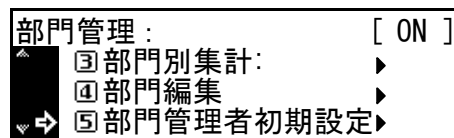
- 9 [OK] キーを押してください。

## プリンタ部門管理設定

プリンタ機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。

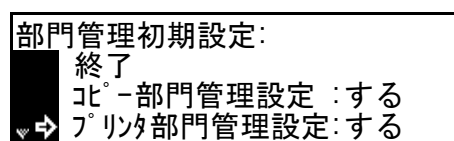
- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門管理者初期設定」を選択してください。



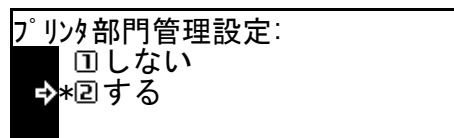
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「プリンタ部門管理設定」を選択してください。



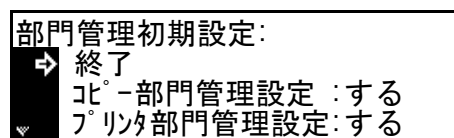
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。



- 9 [OK] キーを押してください。

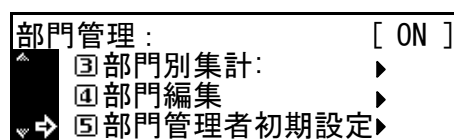
## スキャナ部門管理設定

スキャナ機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。

参考 この設定は、オプションのネットワークスキャナを装着したときに表示されます。

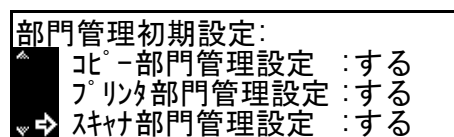
- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門管理者初期設定」を選択してください。



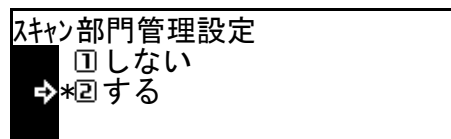
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「スキャナ部門管理設定」を選択してください。



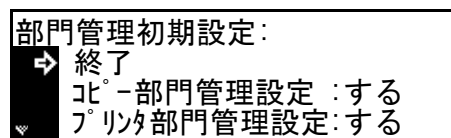
5 [OK] キーを押してください。

6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。



7 [OK] キーを押してください。

8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。



9 [OK] キーを押してください。

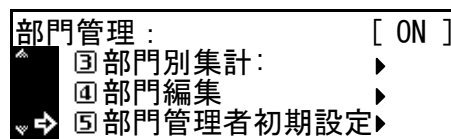
## ファクス部門管理設定

ファクス機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。

参考 この設定は、オプションのファクスキットを装着したときに表示されます。

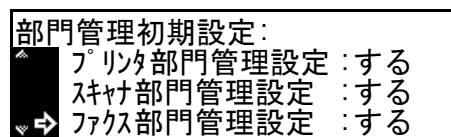
1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門管理者初期設定」を選択してください。



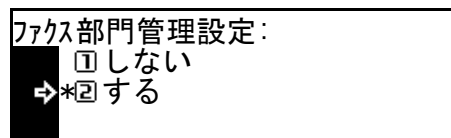
3 [OK] キーを押してください。

4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ファクス部門管理設定」を選択してください。



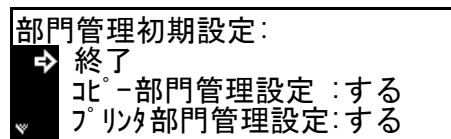
5 [OK] キーを押してください。

6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「する」または「しない」を選択してください。



7 [OK] キーを押してください。

8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。



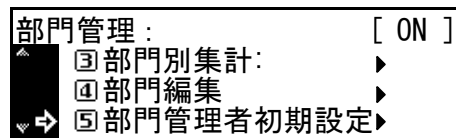
9 [OK] キーを押してください。

## 制限超過時設定

使用制限で設定されている制限枚数を超えたときに、即時使用禁止にして出力を停止するか、次のジョブから使用禁止にするか、警告メッセージの表示のみを行うか選択できます。

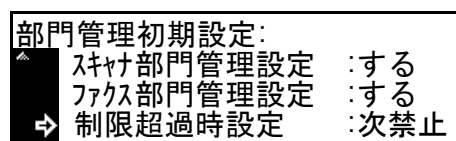
- 1 「部門管理」画面を表示させてください。(4-3 ページの[部門管理画面の表示方法](#)参照)

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「部門管理者初期設定」を選択してください。



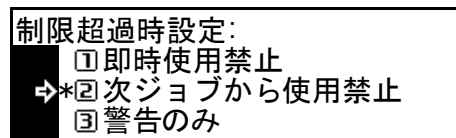
- 3 [OK] キーを押してください。

- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「制限超過時設定」を選択してください。



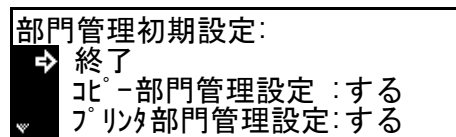
- 5 [OK] キーを押してください。

- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「即時使用禁止」「次ジョブから使用禁止」または「警告のみ」を選択してください。



- 7 [OK] キーを押してください。

- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。



- 9 [OK] キーを押してください。



## 部門管理時の操作

### コピー操作

部門管理を行っているときは、所属する部門コードをテンキー入力することによってのみコピー操作ができます。

**ご注意** コピー終了後は、必ず「部門管理」キーを押してください。部門コード入力画面が表示されません。



- 1 部門コードをテンキー入力して「OK」キーを押してください。コピー基本画面が表示されます。



- 参考**
- ・ 入力を間違えたときは、「ストップ/クリア」キーを押して入力しなおしてください。
  - ・ 入力された部門コードが登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴ります。正しい部門コードを入力してください。
- 2 通常のコピー操作を行ってください。
  - 3 コピー終了後、「部門管理」キーを押してください。



### プリント操作

部門管理を行っているときは、印刷の際にコンピュータでの操作が必要です。詳細は [KX プリントドライバ操作手順書](#) を参照してください。



# 付録

この付録では、以下の内容について説明します。

- 用紙について
- 仕様
- コピー機能組み合わせ表
- 用語集

## 用紙について

### 用紙の基本仕様

本機は、乾式複写機およびページプリンタ用の用紙（普通紙）に印刷できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印刷することができます。

本機に適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

OHP シート、ラベル紙、封筒などの用紙は、手差しから給紙してください。

- 参考
- 再生紙は下表に示した基本仕様のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプルコピーを行ってください。印刷結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。
  - 規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

### 使用できる用紙

通常の乾式複写機またはページプリンタ用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。用紙の品質は、印刷品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと満足のできる結果が得られません。

### 用紙の基本仕様

次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以下のページで説明します。

項目	仕様
重さ	カセット : 60 ~ 105 g/m <sup>2</sup> 手差し : 45 ~ 160 g/m <sup>2</sup>
厚さ	0.086 ~ 0.110 mm
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°
保水度	4 ~ 6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

## 適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

### 紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、製品の寿命を縮めることになりかねません。用紙表面が滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工や、その他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

### 用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20 % を超えないものをご使用ください。

### 用紙サイズ

次の表に記載したサイズの内紙がカセットまたは手差しで使用できます。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに  $\pm 0.7 \text{ mm}$  です。用紙四隅の角度は、 $90^\circ \pm 0.2^\circ$  のものを使用してください。

手差し	カセットまたは手差し
B6R (128 × 182 mm)	A3 (297 × 420 mm)
A6R (105 × 148 mm)	B4 (257 × 364 mm)
はがき (100 × 148 mm)	A4 (297 × 210 mm)
往復はがき (148 × 200 mm)	A4R (210 × 297 mm)
Executive (7 1/4" × 10 1/2")	B5 (257 × 182 mm)
Envelope DL (110 × 220 mm)	B5R (182 × 257 mm)
Envelope C5 (162 × 229 mm)	A5R (148 × 210 mm)
Envelope C4 (229 × 324 mm)	Folio (210 × 330 mm)
ISO B5 (176 × 250 mm)	11" × 17"
Comm.#10 (4 1/8" × 9 1/2")	8 1/2" × 14"
Comm.#9 (3 7/8" × 8 7/8")	11" × 8 1/2"
Comm.#6-3/4 (3 5/8" × 6 1/2")	8 1/2" × 11"
Monarch (3 7/8" × 7 1/2")	5 1/2" × 8 1/2"
YOUKEI 2 (114 × 162 mm)	8 1/2" × 13"
YOUKEI 4 (105 × 235 mm)	8K (273 × 394 mm)
サイズ入力 (98 × 148 ~ 297 × 432 mm)	16K (197 × 273 mm)

### 滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因になります。

### 基本重量

基本重量とは、用紙 1 枚を 1 m<sup>2</sup> の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、製品の消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がぼやけるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。

用紙の適正な重さはカセットで 60 ～ 105 g/m<sup>2</sup>、手差しで 45 ～ 160 g/m<sup>2</sup> の範囲です。

### 厚さ

本機で使用する用紙は極端に厚いものや、または薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは 0.086 ～ 0.110 mm の範囲です。

### 保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は 4 ～ 6 % の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- ・ 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- ・ 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- ・ 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- ・ 長時間放置した用紙は、少なくとも 48 時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- ・ 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

### 繊維の方向

用紙が製造されるとき、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起す原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

### その他の仕様

**多孔性：**紙の繊維の密度を表します。

**硬さ：**柔らかすぎる紙は、本体内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

**カール：**ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これを利用して、カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

**静電気：**トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

**用紙の白さ：**印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷がえられます。

**品質について：**サイズの不揃い、角がきちんとはとれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因で製品が正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

**梱包について：**きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

**特殊処理：**次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

## 特殊な用紙

ここでは、普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用することができます。

- OHP シート
- プレプリント
- ラベル
- ボンド紙
- 再生紙
- 薄紙 (45 ～ 64 g/m<sup>2</sup>)
- レターヘッド
- カラー紙
- 穴あき用紙
- 封筒
- はがき
- 厚紙 (90 ～ 160 g/m<sup>2</sup>)
- 上質紙

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、OHP シート、ラベル、薄紙、封筒、はがき、厚紙は手差しから給紙してください。

### 特殊な用紙の選択

特殊用紙は次ページ以降で示す条件を満たすものであれば本機で 사용할 ことが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙を本機で印刷して見て、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意について次ページより説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。



## OHP シート

OHP シートは、印刷中の定着熱に耐えるものである必要があります。次の製品をお勧めします。

3M CG3700 (Letter, A4)

次の表は、本機で利用できる OHP シートの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 °C までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 ~ 0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°

トラブルを避けるために、OHP シートは手差しから給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向を本機に向けて）セットしてください。

OHP シートが頻繁に紙づまりを起こす場合は、排紙される際に OHP シートの先を慎重に少しだけ手で引いてみてください。

## ラベル用紙

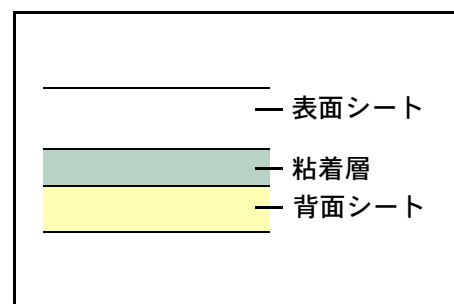
ラベル用紙は、必ず手差しから給紙してください。

ラベル用紙を選択する際は、糊が本機のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルが本機内部に残ると故障の原因になります。

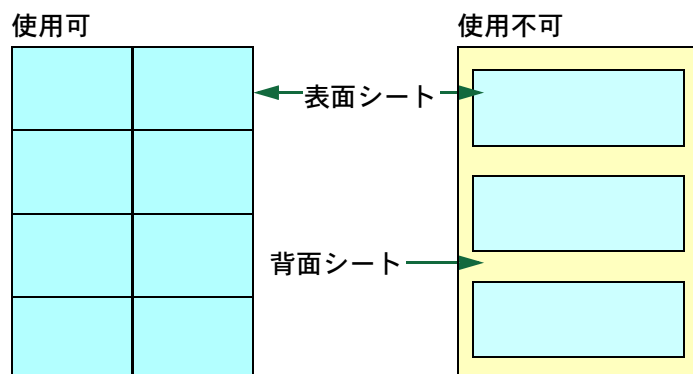
ラベル紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル用紙は、図のような 3 層からなる構造をしています。粘着層は本機内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル用紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル用紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。



ラベル用紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、出力が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



以下の仕様に合ったラベル用紙を選んでください。

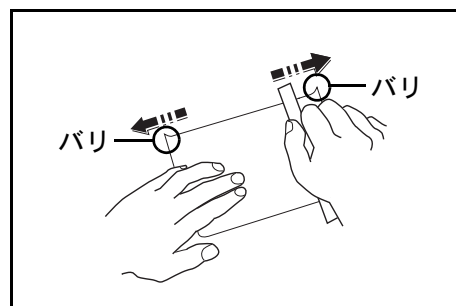
項目	仕様
表面シートの重さ	44 ～ 74 g/m <sup>2</sup>
基本重量（用紙全体の重さ）	104 ～ 151 g/m <sup>2</sup>
表面シートの厚さ	0.086 ～ 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 ～ 0.145 mm
保水度	4 ～ 6 %（混合）

### ハガキ

ハガキは、さばいて端を揃えてから、手差しにセットしてください。ハガキに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷を行うと、紙づまりの原因になります。

往復ハガキに印刷する場合は、折り目のないものを使用してください。

また、ハガキによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、ハガキを平らなところに置き、定規のようなもので軽く1～2回こするようにして、バリを取り除いてください。



## 封筒

封筒は必ず手差しから給紙してください。

封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、本機を通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

封筒は長時間放置しておくとしワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、以下の点に留意してください。

糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、本機内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。

封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。

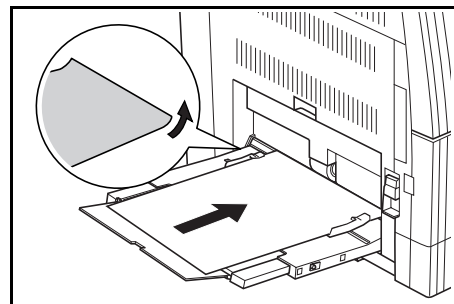
紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてみてください。

複数の封筒を印刷する際は、紙づまりを避けるため排紙トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

## 厚紙

厚紙はさばいて端を揃えてから、手差しにセットしてください。用紙によっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）がある場合があります。その場合は用紙を平らなところに置き、**ハガキ**と同様に定規のようなもので軽く 1～2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。

**参考** バリを取り除いても給紙されない場合は、図のように用紙の先端を数ミリ上にそらせてから手差しにセットしてください。



## カラー紙

カラー紙は**付録 -2** ページの表を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱（最高 200 °C）に耐えるものでなければなりません。

## プレプリント

プレプリント用紙は**付録 -2** ページの表を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクは印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

### 再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が付録 -2 ページの表を満たすものでなければなりません。

参考 再生紙を購入する前に、仕上がりが満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

## 仕様

参考 仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

## 機械本体

名称	16 枚機      KM-1650 20 枚機      KM-2050 25 枚機      KM-2550
複写方式	間接静電方式
原稿の種類	シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3）
複写サイズ	
カセット	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11" × 17"、 8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、8 1/2" × 11"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、 16K
手差し	A3 ～ A6R、はがき、Folio、11" × 17" ～ 5 1/2" × 8 1/2"、8K、16K
欠け幅	0.5 ～ 5.5 mm
使用用紙	<a href="#">付録 -2 ページの用紙について</a> を参照してください。
給紙元容量	
カセット	300 枚（80 g/m <sup>2</sup> ）、100 枚（90 ～ 105 g/m <sup>2</sup> ）
手差し	50 枚（80 g/m <sup>2</sup> ） （A3、B4、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13"、8K サイズの 用紙では 25 枚）
排紙トレイ容量	250 枚（80 g/m <sup>2</sup> ）
ウォームアップタイム	20 秒以内 低電力モードからの復帰時間：10 秒 スリープモードからの復帰時間：20 秒 （室温 23 °C、湿度 50 %）
メモリ	
コピー用	64 MB
プリンタ用	64 MB
増設メモリ	コピー用：16 MB、32 MB、64 MB、128 MB プリンタ用：32 MB、64 MB、128 MB、256 MB
設置環境	
温度	10 ～ 32.5 °C
湿度	15 ～ 80 %RH
海拔	2,000 m 以下
照度	1,500 lux 以下
電源	AC 100 V 50/60 Hz 11 A
機械寸法 （W）×（D）×（H）	574 mm × 603 mm × 545 mm
質量	約 40.7 kg
機械占有寸法 （W）×（D）	827 mm × 603 mm

コピー機能

複写速度		
コンタクトガラス (1 : 1)	16 枚機	A3/11" × 17" : 8 枚 / 分
		B4/8 1/2" × 14" : 8 枚 / 分
		A4/11" × 8 1/2" : 16 枚 / 分
		A4R/8 1/2" × 11" : 13 枚 / 分
		B5 : 16 枚 / 分
		B5R : 13 枚 / 分
		A5R : 10 枚 / 分
		A6R : 10 枚 / 分
	20 枚機	A3/11" × 17" : 10 枚 / 分
		B4/8 1/2" × 14" : 11 枚 / 分
		A4/11" × 8 1/2" : 20 枚 / 分
		A4R/8 1/2" × 11" : 13 枚 / 分
		B5 : 20 枚 / 分
原稿送り装置 (1 : 1)	25 枚機	B5R : 13 枚 / 分
		A5R : 10 枚 / 分
		A6R : 10 枚 / 分
		A3/11" × 17" : 13 枚 / 分
		B4/8 1/2" × 14" : 13 枚 / 分
		A4/11" × 8 1/2" : 25 枚 / 分
		A4R/8 1/2" × 11" : 15 枚 / 分
	16 枚機	B5 : 25 枚 / 分
		B5R : 15 枚 / 分
		A5R : 12 枚 / 分
		A6R : 11 枚 / 分
		A4/11" × 8 1/2" : 16 枚 / 分
ファーストコピータイム	20 枚機	A4/11" × 8 1/2" : 20 枚 / 分
	25 枚機	A4/11" × 8 1/2" : 25 枚 / 分
	16 枚機 / 20 枚機	5.9 秒以下 (1 : 1、A4)
解像度	25 枚機	5.0 秒以下 (1 : 1、A4)
	読み取り : 600 × 600 dpi 書き込み : 600 × 600 dpi	
連続複写	1 ~ 999 枚	
複写倍率	25 ~ 200 % (1 % 毎) の任意倍率および固定倍率	

## プリンタ機能

印刷速度	複写速度と同じ
ファーストプリントタイム	16 枚機 / 約 5.5 秒 (1 : 1、A4) 20 枚機 25 枚機 約 4.9 秒 (1 : 1、A4)
解像度	300 dpi、600 dpi、Fast 1200 mode
対応 OS	Microsoft Windows 95/98/Me Microsoft Windows NT4.x/2000/XP Apple Macintosh OS 9.x/OS X 10.x UNIX/Linux
インタフェース	パラレルインタフェース : 1 (IEEE1284 準拠) ネットワークインタフェース : 1 USB 2.0 : 1 (USB Hi-Speed) ネットワークインタフェースカード (オプション) : 1

## 原稿送り装置 (オプション)

原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大 : A3 最小 : A5R
原稿の厚さ	片面原稿 : 45 ~ 160 g/m <sup>2</sup> 両面原稿 : 50 ~ 120 g/m <sup>2</sup>
原稿セット枚数	50 枚以下 (50 ~ 80 g/m <sup>2</sup> )
機械寸法 (W) × (D) × (H)	552 mm × 483 mm × 120 mm
質量	約 6 kg

## ペーパーフィーダ (オプション)

給紙方式	カセット自動給紙 (収納枚数 300 枚 [80 g/m <sup>2</sup> ])
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11" × 17"、 8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、8 1/2" × 11"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、 16K
使用ペーパー	紙厚 : 64 ~ 105 g/m <sup>2</sup> 用紙種類 : 普通紙、再生紙、カラーペーパー
機械寸法 (W) × (D) × (H)	570 mm × 538 mm × 135 mm
質量	約 7 kg

## 両面ユニット（オプション）

形式	内蔵タイプ
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11" × 17"、 8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、8 1/2" × 11"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、 16KR、16K
使用ペーパー	紙厚：64 ～ 90 g/m <sup>2</sup> 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー
機械寸法 (W) × (D) × (H)	368 mm × 53 mm × 180 mm
質量	約 0.65 kg

## フィニッシャ（オプション）

トレイ数	1 トレイ
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、 8 1/2" × 11"、8 1/2" × 13"
使用ペーパー	紙厚：60 ～ 105 g/m <sup>2</sup> 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー、薄紙、厚紙、レター ヘッド
機械寸法 (W) × (D) × (H)	325 mm × 450 mm × 165 mm
質量	約 8.0 kg

## ジョブセパレータ（オプション）

トレイ数	1 トレイ
収納制限枚数	100 枚 (80 g/m <sup>2</sup> )
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11" × 17"、 8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、8 1/2" × 11"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"
使用ペーパー	紙厚：45 ～ 160 g/m <sup>2</sup> 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー、薄紙、厚紙、レター ヘッド、第 2 原図
機械寸法 (W) × (D) × (H)	545 mm × 450 mm × 70 mm
質量	約 1.5 kg

## 環境仕様

低電力モードからの復帰時間	10 秒
低電力モード移行時間（出荷時設定）	1 分
スリープモード移行時間（出荷時設定）	15 分
両面機能	オプション
給紙搬送性	古紙 100 % 配合紙使用可能

参考 推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。



## コピー機能組み合わせ表

本機にはさまざまな機能がありますが、いろいろな機能を組み合わせてさらに効率的にコピーを行うことができます。

機能の組み合わせは下の一覧表をご参照ください。

	後から設定する機能	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
先に設定する機能		画質 (文字+写真)	画質 (写真)	画質 (文字)	自動濃度モード	手動濃度モード	エコプリント	原稿サイズ選択 (サイズ選択)	原稿サイズ選択 (サイズ入力)	原稿サイズ選択 (自動検知)	等倍コピー	自動倍率選択モード	手動倍率モード (ズームコピー・固定変倍)	用紙選択	手差し設定 (ユニバーサルサイズ・サイズ入力)	原稿セット向き	連続読み込みコピー	自動回転コピー	原稿サイズ混載コピー	ソートコピー	仕分けコピー	ステープルコピー	両面コピー (片面→両面)	両面コピー (両面→両面)	両面コピー (見開き→両面)	分割コピー (両面→片面)	分割コピー (見開き→片面)	とじしろコピー	枠消しコピー (シート枠消し)	枠消しコピー (ブック枠消し)	集約コピー	割り込みモード		
	1	画質 (文字+写真)	-	1	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	
	2	画質 (写真)	N	-	1	21	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	
	3	画質 (文字)	1	N	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	
	4	自動濃度モード	Y	2	Y	-	1	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	
	5	手動濃度モード	Y	Y	Y	43	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	
	6	エコプリント	Y	Y	Y	Y	Y	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	
	7	原稿サイズ選択 (サイズ選択)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	22	Y	Y	Y	Y	Y	41	Y	41	Y	Y	Y	Y	Y	
	8	原稿サイズ選択 (サイズ入力)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	-	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	22	Y	Y	Y	Y	Y	6	Y	6	Y	34	34	36	Y	Y
	9	原稿サイズ選択 (自動検知)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	10	等倍コピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	3	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	7	Y	Y
	11	自動倍率選択モード	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	-	N	Y	9	Y	Y	Y	3	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	12	手動倍率モード (ズームコピー・固定変倍)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	-	Y	Y	Y	Y	Y	3	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	7	Y	Y
	13	用紙選択	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	Y	Y	Y	Y	3	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	14	手差し設定 (ユニバーサルサイズ・サイズ入力)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	39	Y	Y	-	Y	Y	Y	3	Y	48	46	46	46	10	47	10	49	Y	10	10	Y	Y
	15	原稿セット向き	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	4	Y	4	Y	Y	5	Y	Y	Y
	16	連続読み込みコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	17	自動回転コピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	18	原稿サイズ混載コピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	22	22	Y	27	27	27	23	23	Y	Y	Y	-	Y	Y	24	25	Y	26	Y	26	Y	28	28	29	Y	Y
	19	ソートコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	20	仕分けコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	48	Y	Y	Y	Y	Y	-	8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	21	ステープルコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	46	Y	Y	44	24	45	38	-	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
	22	両面コピー (片面→両面)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	46	Y	Y	Y	25	Y	Y	Y	-	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	
	23	両面コピー (両面→両面)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	46	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	-	N	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	
	24	両面コピー (見開き→両面)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	42	31	Y	Y	Y	Y	Y	39	32	Y	Y	26	Y	Y	Y	N	N	-	N	N	Y	Y	Y	30	Y	
	25	分割コピー (両面→片面)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	47	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	-	N	Y	Y	Y	Y	Y	
	26	分割コピー (見開き→片面)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	42	31	Y	Y	Y	Y	Y	39	32	Y	Y	26	Y	Y	Y	N	N	N	N	-	Y	Y	Y	30	Y	
	27	とじしろコピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	49	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	Y	Y	33	Y
	28	枠消しコピー (シート枠消し)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	34	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	28	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	-	N	Y	Y	
	29	枠消しコピー (ブック枠消し)	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	34	Y	Y	Y	Y	Y	39	35	Y	Y	28	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	-	Y	Y
	30	集約コピー	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	36	Y	37	Y	37	Y	39	Y	Y	Y	29	Y	Y	Y	Y	Y	30	Y	30	33	Y	Y	-	Y	Y
	31	割り込みモード	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

- Y: 組み合わせできます。  
N: 組み合わせできません。

#### 後から設定する機能優先

- 1 先に設定する機能を解除し、後から設定する機能を有効にする。
- 2 画質（写真）のときは自動濃度モードが使用できないため、手動濃度モードを設定する。
- 3 原稿サイズ混載コピーは自動用紙選択モードのみのため、コピー倍率を 100 %、自動用紙選択モードに変更する。
- 4 見開き原稿のときは原稿セット向きが奥固定のため、原稿セット向きを奥に設定する。
- 5 枠消しコピー（ブック枠消し）は原稿セット向きが奥固定のため、原稿セット向きを奥に設定する。
- 6 見開き原稿のときは原稿サイズ選択（サイズ入力）不可のため、原稿サイズを自動検知に設定する。
- 7 集約コピーは自動倍率選択モード固定のため、自動倍率選択モードに設定する。
- 8 ステープルコピーでは仕分けコピー不可のため、仕分けコピーを解除する。
- 9 自動倍率選択モードを解除し、手動倍率モードに変更する。
- 10 組み合わせ不可のため、給紙段を変更する。

#### 組み合わせ不可（後から設定する機能は設定不可）

- 21 画質（写真）のときは、自動濃度モードは設定不可。
- 22 原稿サイズ混載コピーでは、原稿サイズ選択は自動検知のみ。
- 23 原稿サイズ混載コピーでは、用紙選択は自動のみ。
- 24 原稿サイズ混載コピーでは、ステープルコピー不可。
- 25 原稿サイズ混載コピーでは、両面コピー（片面→両面）不可。
- 26 原稿サイズ混載コピーでは、見開き原稿不可。
- 27 原稿サイズ混載コピーでは、コピー倍率は 100 % 固定。
- 28 原稿サイズ混載コピーでは、枠消しコピー不可。
- 29 原稿サイズ混載コピーでは、集約コピー不可。
- 30 見開き原稿は集約コピー不可。
- 31 見開き原稿は原稿サイズ選択（サイズ入力）不可。
- 32 見開き原稿は原稿セット向きが奥固定。
- 33 とじしろコピーと集約コピーの組み合わせは不可。
- 34 原稿サイズ選択（サイズ入力）は枠消しコピー不可。
- 35 枠消しコピー（ブック枠消し）は原稿セット向きが奥固定。
- 36 原稿サイズ選択（サイズ入力）は集約コピー不可。
- 37 集約コピーは自動倍率選択モード固定。
- 38 ステープルコピーでは仕分けコピー不可。
- 39 手差し設定（ユニバーサルサイズ・サイズ入力）との組み合わせ不可。

## 組み合わせ条件有り ■

- 41 原稿サイズが A3、A4R、A5R、B4、B5R、11"×17"、8 1/2"×11"、8K 以外の場合は、原稿サイズ選択を自動検知に変更して見開き原稿を設定する。
- 42 原稿サイズが A3、A4R、A5R、B4、B5R、11"×17"、8 1/2"×11"、8K の場合は設定可能。その他のサイズは設定不可。
- 43 画質が写真の場合は設定不可。その他のモードは手動濃度モードを解除して自動濃度モードを設定する。
- 44 自動回転コピーを「しない」に設定した場合、ステープルコピーを解除する。(ステープルコピー解除メッセージ表示) 自動回転コピーを「する」に設定した場合は、ステープルコピーの設定は変更しない。
- 45 ステープルコピーはソートコピー固定。ソートコピーの解除は不可。
- 46 手差し設定 (ユニバーサルサイズ・サイズ入力) はコピー不可。(エラーメッセージ表示)
- 47 原稿送り装置使用時に、原稿セット向きを「奥」、仕上りを「上とじ」に設定、または原稿セット向きを「左」、仕上りを「左とじ」に設定する場合、手差し設定 (ユニバーサルサイズ) はコピー不可。(エラーメッセージ表示)
- 48 仕分けコピーは他の給紙段に同じサイズの下紙がない場合は無効。(仕分けしないでコピーする) フィニッシャーでの仕分けコピーは不可。(エラーメッセージ表示)
- 49 手差し設定 (ユニバーサルサイズ) はコピー不可。(エラーメッセージ表示)

## 用語集

**AppleTalk**

Apple 社の Mac OS に標準搭載されているネットワーク機能です。また、AppleTalk のネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称です。AppleTalk ではファイル共有やプリンタ共有などのサービスが提供されます。AppleTalk ネットワーク上の別のコンピュータのアプリケーションソフトを起動することもできます。

**Default Gateway**

所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する、コンピュータやルータなどの出入り口の代表となるアドレスです。アクセス先の IP Address について特定のゲートウェイを指定していない場合は、Default Gateway に指定されているホストにデータが送信されます。

**DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)**

DHCP は TCP/IP ネットワーク上で、IP Address や Subnet Mask、Gateway Address を自動的に解決するプロトコルです。特にクライアント数の多いネットワーク環境において、プリンタを含めて個々のクライアントに IP Address を個別に割り当てる必要がないため、ネットワーク管理の負担を軽減できます。

**dpi (dots per inch)**

解像度を表す単位です。1 インチ (25.4 mm) 当たりのドット数を表します。

**IEEE1284**

プリンタとコンピュータを接続する国際標準規格です。この規格は IEEE (Institute of Electrical and Electronic Engineers) で、1994 年に制定されました。

**IP Access control**

許可されていない IP Address を持ったホストから本機へのアクセスを禁止する機能です。

**IP Address**

ネットワークに接続されたコンピュータ 1 台ずつに割り振られた識別番号です。「192.168.110.171」などのように、0 から 255 までの数字を 4 つ並べて表現します。

**IPP (Internet Print Protocol)**

プリンタドライバから IPP(インターネット・プリンティング・プロトコル)ポートを経由して、インターネットまたはイントラネットを通じてプリンタに出力します。Web を介して遠距離のプリンタに印刷出力することが可能になります。

**KIR モード**

京セラミタ独自のスムージング機能です。この機能はプリンタの解像度をソフト的に向上させ、高品質な印刷を実現します。初期設定では「オン」に設定されています。

## KPDL

Adobe PostScript Level 3 と互換の京セラのページ記述言語です。

## Logical Printer

Windows と、Windows に接続されたプリンタとの間に存在するソフトウェアインタフェースです。

プリンタは実際に印刷を行う装置を指し、Logical Printer はプリントサーバー上のソフトウェアインタフェースを指します。このソフトウェアインタフェースによって、印刷ジョブの処理方法と宛先（ローカルポート、ネットワークポート、ファイル、またはリモート印刷共有）への送信方法が決定されます。ドキュメントを印刷すると、ドキュメントは、Logical Printer にいったんスプール（格納）されてからプリンタへ送信されます。

## NetBEUI (NetBIOS Extended User Interface) 設定

1985 年に IBM 社が開発したネットワークプロトコルです。NetBIOS をベースに拡張したもので、小規模なネットワークでは TCP/IP などのほかのプロトコルよりも高い性能を発揮できます。ただし、複数の経路の中から最適な経路を選択するルーティング機能は持っていないため、大規模なネットワーク構築には向きません。IBM 社の OS/2 や Microsoft 社の Windows シリーズの標準プロトコルで、NetBEUI を利用したファイル共有サービスやプリントサービスなどが提供されています。

## PostScript

Adobe Systems 社が開発したページ記述言語です。柔軟なフォント機能および高性能のグラフィックスを提供し、高品質な印刷が可能です。現在 Level 1 と呼ばれている最初のバージョンは 1985 年に登場しました。1990 年にはカラー印刷や日本語などの 2 バイト言語に対応した Level 2 が、1996 年にはインターネットへの対応や実装水準の段階化、PDF 形式への対応などを追加した Level 3 が発表されています。

## PPM (prints per minute)

A4 用紙を 1 分間当りに印刷（プリント）できる枚数を示します。

## SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールのやり取りや、クライアントがサーバーにメールを送信する際に用いられます。

## SNMP (Simple Network Management Protocol)

TCP/IP ネットワークにおいて、ルータやコンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

## Subnet Mask

ネットワークの識別するためのネットワークアドレスに、IP Address の何ビットを使用するかを定義する 32 ビットの数値です。

### TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

コンピュータ同士やその他のデバイスとの間で、データ通信の規約を定めたネットワークプロトコルのひとつです。

### USB (Universal Serial Bus)

Hi-Speed USB 2.0 に準拠した USB インタフェースを装備しています。最大通信速度は 480 Mbps で、データ転送を高速に行います。

### アウトラインフォント

アウトラインフォントではフォントの輪郭を数式によって記録しており、この数式の値を変更することで文字の拡大、縮小などを行います。フォントの輪郭が数式で記録されているため、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは 0.25 ポイント単位で最大 999.75 ポイントまで設定することができます。

### エコプリント

トナーを節約するための印刷モードです。エコプリントでの印刷は通常モードでの印刷よりも薄くなります。

### エミュレーション

他のプリンタのページ言語を解釈し、実行する機能です。本プリンタは PCL 6、KPDL、KC-GL、FMPR-359F1、EPSON VP-1000、IBM-5577、PC-PR201/65A のエミュレーションを備えています。

### 自動改ページ待ち時間

データをプリンタへ送信している間に、時間的な切れ目が発生する場合があります。このときプリンタは、データが途切れても改ページせずに、次にある程度途切れた後のデータが送信される場合に備えます。自動改ページ待ち時間とは、この自動改ページを発行するまでの間、あらかじめ設定されている改ページ時間だけ待機する機能です。待機を始めてから設定された改ページ時間を越えた時点で、プリンタは自動的に排紙処理を行います。ただし、最終ページに印刷データがなにもない場合は、プリンタは排紙処理を行いません。

### 自動用紙選択機能

コピー時に、原稿サイズと同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

### ステータスページ

ステータスページを印刷すると、搭載メモリ容量、コピーや印刷の総枚数、給紙元の設定など本機に関する様々な情報を確認することができます。ステータスページは本体操作パネルから出力できます。

## スリープモード

省電力のために設けられているモードで、本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないとスリープモードに移行します。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。スリープモードへの移行時間は初期設定で 15 分に設定されていますが、操作パネルから設定を変更することができます。

## 増設メモリ

本機のメモリ容量を増やすための増設用のメモリ（オプション）です。本機はコピー用、プリンタ用にそれぞれメモリを増設することができます。（コピー用：16 MB、32 MB、64 MB、128 MB/ プリンタ用：32 MB、64 MB、128 MB、256 MB）本機で利用できる DIMM については弊社製品取り扱い店等にお問い合わせください。

## 低電力モード

省電力のために設けられているモードで、本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないと低電力モードに移行します。低電力モード時は待機状態より消費電力が少なくなります。低電力モードへの移行時間は初期設定で 1 分に設定されていますが、操作パネルから設定を変更することができます。

## 手差し

本体左側にある給紙トレイです。封筒、ハガキ、OHP シート、ラベル用紙などを使用するときは、カセットではなく手差しにセットしてください。

## パラレルインタフェース

パラレルインタフェースを使用した場合、本機とコンピュータ間のデータ転送は 8 ビットで行われます。本機は、IEEE1284 準拠の双方向通信に対応しています。

## プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。プリンタドライバは、付属の CD-ROM に収録されています。本機に接続したコンピュータにインストールしてください。





# 索引

## 数字

2in1 コピー .....	1-22
4in1 (左→下) コピー .....	1-24
4in1 (左→右) コピー .....	1-23

## A

A4/Letter 共通使用 .....	2-54
ANK フォント .....	2-26, 2-27
AppleTalk .....	付録 -18

## C

Courier/Letter Gothic フォント .....	2-27, 2-28
CR (復帰) 動作 .....	2-36

## D

Default Gateway .....	2-21, 付録 -18
DHCP .....	2-19, 付録 -18
dpi .....	付録 -18

## E

e-MPS 機能 .....	2-8
e-MPS 詳細設定 .....	2-13
EtherTalk .....	2-18

## I

IEEE1284 .....	付録 -18
IP Access control .....	付録 -18
IP Address .....	2-19, 付録 -18
IPP .....	付録 -18

## K

KIR モード .....	2-38, 付録 -18
KPDL .....	付録 -19
KPDL エラー .....	2-24
KPDL (自動) の代替エミュレーション .....	2-24

## L

LF (改行) 動作 .....	2-36
Logical Printer .....	付録 -19

## N

NetBEUI .....	付録 -19
NetWare .....	2-17

## O

OHP シート .....	付録 -7
---------------	-------

## P

PostScript .....	付録 -19
PPM .....	付録 -19

R	
RAM ディスク .....	2-48
RAM ディスクサイズ .....	2-49
S	
SMTP .....	付録 -19
SNMP .....	付録 -19
Subnet Mask .....	2-20, 付録 -19
T	
TCP/IP .....	2-18, 付録 -20
U	
USB .....	付録 -20
あ	
アウトラインフォント .....	付録 -20
厚紙 .....	付録 -9
い	
一時コードジョブ .....	2-14
印刷環境 .....	2-33
印刷濃度 .....	2-40
印刷の向き .....	2-35
印刷範囲の補正 .....	2-60
印刷品質 .....	2-38
インタフェース .....	2-16
え	
液晶コントラスト .....	3-24
エコプリント .....	1-31, 2-39, 3-4, 付録 -20
エミュレーション .....	2-22, 付録 -20
お	
オートカセットチェンジ .....	3-14
オートクリア .....	3-26
オートクリア時間 .....	3-26
オートスリープ .....	3-25
か	
解像度 .....	2-39, 付録 -12
改ページ待ち時間 .....	2-55, 付録 -20
カウンタレポート .....	3-31
画質の選択 .....	1-5
カバレッジレポート .....	3-34
カラー紙 .....	付録 -9
環境仕様 .....	付録 -14
漢字フォント .....	2-29, 2-30
管理者暗証番号 .....	3-24
き	
キー音 .....	3-22
給紙元 .....	1-2, 2-52
境界線 .....	1-25

## く

クイックコピー .....	2-9, 2-13
黒筋軽減処理 .....	3-12

## け

原稿送り装置 .....	付録 -13
原稿サイズ混載コピー .....	1-32
原稿サイズ選択 .....	1-3
原稿セット向き .....	1-10, 3-19
原稿の画質 .....	3-3
言語設定 .....	3-35

## こ

コードジョブリスト .....	2-12
コードセット .....	2-31
固定変倍モード .....	1-9
コピー機能 .....	付録 -12
コピー機能組み合わせ表 .....	付録 -15
コピー初期設定 .....	3-2
コピーステータスレポート .....	3-33
コピー制限 .....	4-5
コピー排出先 .....	3-20
コピー部数制限 .....	3-11
コピー部門管理 .....	4-15
コピー枚数 .....	1-7, 2-34

## さ

サービスステータスページ .....	2-61
再生紙 .....	付録 -10
サマータイム .....	3-23

## し

シート枠消し .....	1-28
地色調整 .....	3-4
時差 .....	3-23
自動 OCR 濃度調整 .....	3-7
自動回転コピー .....	1-30, 3-10
自動継続印刷 .....	2-58
自動濃度調整 .....	3-7
自動濃度モード .....	1-6
自動倍率選択モード .....	1-8
自動用紙選択機能 .....	付録 -20
自動用紙用紙種類 .....	3-5
写真 .....	1-5
写真原稿濃度調整 .....	3-9
集約コピー .....	1-21
縮小 / 拡大コピー .....	1-8
縮小印刷 .....	2-34
受信データダンプ .....	2-56
出力制限 .....	4-6
手動濃度モード .....	1-6

仕様 .....	付録 -11
使用制限 .....	4-5, 4-9
初期設定 .....	3-2
ジョブセパレータ .....	付録 -14
仕分けコピー .....	1-19, 3-10
新規部門登録 .....	4-4
<b>す</b>	
ズームコピーモード .....	1-9
スキャナ送信制限 .....	4-7
スキャナ部門管理 .....	4-16
ステータスページ .....	2-7, 付録 -20
ステープルコピー .....	1-20
ステープル時のエラー検知 .....	2-60
スリープモード .....	付録 -21
スリープモード移行時間 .....	3-19
<b>せ</b>	
静音モード .....	3-27
制限超過時設定 .....	4-18
全部門集計 .....	4-11
<b>そ</b>	
増設メモリ .....	付録 -21
ソートコピー .....	1-18, 3-9
その他 .....	2-55
その他の定形サイズ .....	1-3, 3-28
<b>た</b>	
試し刷後、保留 .....	2-9
<b>て</b>	
低電力モード .....	付録 -21
低電力モード移行時間 .....	3-20
適正な用紙の選択 .....	付録 -3
手差し .....	付録 -21
手差し確認表示 .....	3-16
手差し設定 .....	3-28
手差しモード .....	2-51
電源投入時モード .....	3-22
<b>と</b>	
トータルカウンタ .....	3-31
特殊な用紙 .....	付録 -6
特定用紙種類 .....	3-18
とじしろコピー .....	1-27
とじしろ幅初期値 .....	3-11
ドラムリフレッシュ .....	3-36
<b>ね</b>	
ネットワークステータスページ .....	2-21

## の

濃度調整 .....	1-6
濃度モード .....	3-3

## は

バーチャルメールボックス .....	2-11, 2-12, 2-15
ハードディスク .....	2-47
排紙先 .....	2-53
ハガキ .....	付録 -8
パラレルインタフェース .....	2-16, 付録 -21

## ひ

日付 / 時刻 .....	3-23
---------------	------

## ふ

ファクス送信制限 .....	4-7
ファクス排出先 .....	3-21
ファクス部門管理 .....	4-17
フィニッシャ .....	付録 -14
封筒 .....	付録 -9
フォント .....	2-25
フォントリスト .....	2-31
ブック枠消し .....	1-28
部門管理 .....	4-2
部門管理時の操作 .....	4-19
部門管理初期設定 .....	4-15
部門管理の設定 .....	4-14
部門管理レポート .....	4-11
部門削除 .....	4-8
部門別集計 .....	4-13
部門編集 .....	4-4
プライベートプリント / ジョブ保留 .....	2-10, 2-11
プリンタ機能 .....	付録 -13
プリンタ制限 .....	4-6
プリンタドライバ .....	付録 -21
プリンタ部門管理 .....	4-16
プレプリント .....	付録 -9
プログラムコピー .....	1-33
プログラム登録 .....	1-33
分割コピー .....	1-16

## へ

ページ保護モード .....	2-35
ペーパーフィーダ .....	付録 -13
ペンの太さ .....	2-23

## ほ

保存コードジョブ .....	2-14
----------------	------

## ま

マシン初期設定 .....	3-13
マシンステータスレポート .....	3-33

め	
メニュー階層図 .....	2-3
メモリカード .....	2-41
も	
文字 .....	1-5
文字 + 写真 .....	1-5
文字 + 写真原稿濃度調整 .....	3-8
文字原稿濃度調整 .....	3-8
ゆ	
優先カセット .....	3-6
優先倍率 .....	3-6
よ	
用紙 .....	2-51, 付録 -2
用紙サイズ (カセット) .....	3-14
用紙サイズ (手差し) .....	3-28
用紙種属性 (重さ) .....	3-16
用紙種属性 (両面) .....	3-17
用紙種類 (カセット) .....	3-15
用紙種類 (手差し) .....	3-30
用紙選択 .....	3-5
用紙の基本仕様 .....	付録 -2
ら	
ラベル用紙 .....	付録 -7
り	
リセット .....	2-57
リソース保護モード .....	2-57
両面印刷時のエラー検知 .....	2-59
両面印刷モード .....	2-52
両面コピー .....	1-13
両面ユニット .....	付録 -14
れ	
レポート .....	3-33
連続読み込みコピー .....	1-29
わ	
ワイド A4 .....	2-37
枠消しコピー .....	1-28
枠消し幅初期値 .....	3-11
割り込みモード .....	1-11

## MEMO





**QUALITY  
CERTIFICATE**

この製品はすべての品  
質管理および最終検査  
に合格しました。

## KYOCERA お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

### 京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 TEL 03-3279-2112

お客様  
相談窓口



# 0570-046562

受付時間  
● 9:00～17:00  
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。

札幌	011-862-2631	富山	0764-24-3531
仙台	022-232-3225	大阪	06-6764-3210
さいたま	048-666-4515	神戸	078-651-7500
東京	03-3279-2050	高松	087-861-3861
横浜	045-471-0248	広島	082-295-2001
名古屋	052-582-7413	福岡	092-441-2721

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。 <http://www.kyoceramita.co.jp/support/>

2002.6